

Master Modelers

マスターモデラーズ

Vol.45



AFV

ニューキット・レビュー

- ドラゴンモデル1/35 パンターA後期型 "プレミアムエディション"
- ドラゴンモデル1/35 M4A3シャーマン 105mm砲搭載型
- ドラゴンモデル1/35 38(t)偵察戦車 2cm KwK38搭載型
- ホビーボス1/35 スウェーデン主力戦車Strv.122
- ニューコネクション1/35 38D偵察戦車 2cm砲搭載型
- タミヤ1/48 VWタイプ82E & クルップ・プロツェ
- イタレリ1/72 Marines UH-1Nツインヒューイ
- フロントコム1/35 パイパーカブL-4グラスホッパー
- コデシ1/32 WWI RAF S.E.5a w/Wolsley Viper
- タミヤ1/48 リパブリックF-84Gサンダー・ジェット
- シーライオン1/700 J.M.S.D.F. ふんご
- レール1/72 RF-4Eタイガーメイト
- 飛行模型 モンテックコリ



中島キ-84 四式戦闘機

疾風

諸君の以て何形式轉載至貴
雑誌商業用途

FAIREY SWORDFISH Mk.II



写真の完成品には別売のエッチング張紙セットを使用しています。

全長=230.5mm

船団護衛での勇戦も伝わる

タラント軍港夜襲や戦艦ビスマルク追撃戦で大きな戦果を挙げたイギリス海軍航空隊の傑作雷撃機ソードフィッシュ。中でも大戦中盤以降、大きな搭載能力と優れた運用性を活かして対潜哨戒任務に活躍したMk.IIが1/48傑作機シリーズに加わります。エンジンを出力向上型に換装し、対艦ロケット弾を搭載した力強い姿を、複葉で固定脚のクラシカルなスタイルから機体表面の羽布張り表現まで高い質感でモデル化。金属張りとなった下翼下面や大型化されたオイルクーラー、消火排気管やレーダーアンテナなど、先に発売されたMk.Iとの違いを細部まで忠実に再現しています。またアクセサリとして増加燃料タンクをセット。胴体下面に照明弾投下装置を装着した機体も選べます。マーキングは白を基調とし対潜哨戒任務に就いた機体など3種類をセット。小型の商船改造空母であるMACシップや護衛空母で運用され、大戦終了までに20隻近くのUボートを撃沈したソードフィッシュMk.II。開放式のコクピットに乗り込んで戦いに挑んだ搭乗員達の激しい闘志とジャンブル魂をモデルから感じ取ってください。



コクピット内部は鋼管フレームまで再現された構造。あらゆる仕上がり、機銃を操るポーズなど搭乗員の人物3体付き。計器盤などの繊細な表現も見所です。



1/48 傑作機シリーズ No.99 フェアリー ソードフィッシュ Mk.II
ディスプレイモデル相立てキット **【新発売】** 4,830円(本体価格4,600円)

クラシカルな機体のディテールを引き締める

機体には欠かせない張紙に加え、金属や機銃用の細部などもセット。ソードフィッシュのクラシカルなスタイルを引き締め、効果の高いディテールアップが行えます。

ソードフィッシュ用 エッチング張紙セット

【新発売】 1,050円(本体価格1,000円)



●価格はすべてメーカー希望小売価格です。●掲載されているモデルはキットを組立て、塗装したものです。●写真は実際の機体と仕様が異なる場合があります。

タミヤ・カスタマーサービス タミヤ製品についてのお問い合わせなど、お気軽にご相談ください。また、お近くの模型取扱店にもご案内しています。

TEL054-283-0003【静岡】 03-3899-3765【東京】 郵便・電話 営業時間：平日・8:00~20:00 土、日、祝祭日・8:00~17:00

株式会社タミヤ 〒422-8610 静岡県駿河区豊田3-7 ●最新情報をタミヤのホームページで www.tamiya.com



MISSION MODELS

GREAT TOOLS BUILD GREAT MODELS

NEW!
ETCH MATE 3C



New Lower
Suggested Retail Price!
\$59.99

ETCH MATE 3C

- New 3 Clamp system for additional gripping pressure when you need it!
- New high tech composite material replaces low-tech aluminum
- Exclusive folding channel
- 360-degree reversible spring-loaded folding head
- Non-reflective surface
- 6 1/2 x 3 1/2 unobstructed work surface
- Pre-assembled, with folding blade and instructions
- Create straight square foolproof folds each and every time
- Quick efficient photo etch alignment
- All surfaces utilized for folding
- Excellent for all aspects of scale modeling
- Works with all scales
- 90 day guarantee against manufacturing defects!
- 100% made in the USA**

MICRO CHISEL

- Machined stainless steel handle with rubber grip
- Razor sharp machined stainless steel 2mm chisel tip
- Removes seam lines, flash, and details without marring surface
- Sculpt in wood, plaster, or modeling putty
- Cuts through plastics, resins, epoxies, white metal, and much more!
- Additional interchangeable tips sets available:
- MIO-10: 1mm tip set
- MIO-11: 2mm tip set
- MIO-12: Panel scribing tip set for square panel lines



GRAB HANDLER

- Constructed from machined carbon steel
- Black Oxide anodized finish
- Laser marked in both inches and millimeters
- Quick and easy to use
- Bends brass, music wire, flat stock, and more
- Create consistent perfect sized grab handles, grab irons, and Z bends every time
- Ideal for all aspects of scale modeling:
- Military, Railroad, Automotive, Ship Railings, and much more!



請勿以任何形式轉載至商業用途



WWW.MISSION MODELS.COM

LOG-ON TODAY AND START BUILDING YOUR NEXT PROJECT TOMMORROW

AVAILABLE IN JAPAN FROM: **WWW.MSMODELS.JP**

M.S.MODELS

email: msmodels@soleil.ocn.ne.jp
Phone: 029-276-7858
Fax: 029-276-7858

WE STOCK:

ACCURATE ARMOUR • MODEL
VICTORIA • IWATA AIRBRUSH
VALLEJO • MINIARM • MASTER
PRODUCTIONS • DRAGON •
TAMIYA • BRACH MODEL • PAN-
ZER-SHOP • CROMWELL MODELS
ALL AT COMPETITIVE PRICES!

最高の筆だけが、 最高の作品を作る。

W&N シリーズ7筆 ミニチュア(短毛)——

通常の丸筆よりも根元をやや太く、穂先を短くすることにより、筆先の精密なコントロールをよりしやすくしたシリーズです。

① No.0 短毛タイプ

短毛独特の鋭くエッジの効いた描き心地と、たっぷりした含みの良さを両立させたスタンダード。短毛の個性を知るには、こちらからお薦め。

② No.00 短毛タイプ

通常タイプのNo.000と似たタイプながら、ややしなりの少ない、鋭角的なエッジが描きやすい番手です。No.000 短毛よりも含みがよく、人気を二分。

③ No.000 短毛タイプ

シリーズ7筆の中でも最も細かい作業がこなせる「超細筆」。1/35スケール以下のフィギュアの顔など、ディテールの描き込みに効果を発揮します。

④ No.2 短毛タイプ

No.1 短毛よりもさらに余裕の含みを持ち、鋭いエッジを描きながらある程度の面積を塗りつぶすのに威力を発揮。筆オニリーの仕上げには必須。

⑤ No.1 短毛タイプ

余裕の含みと鋭い穂先。しなりの少なさでシャープな塗り分け線のフリーハンド描画が可能。航空機モデルのキャノピーなどに好適です。

W&N シリーズ7筆 スタンダード(通常毛)——

潤沢な塗料の含み、しなやかなコシと柔軟性、針のような穂先の描いを兼ね備えた最高品質の標準シリーズです。

① No.2

筆塗りオニリーでの仕上げには欠かせない番手です。半端な平筆などが必要なくなる、潤沢な含みとタッチの絶妙さでファンの多い逸品。

② No.1

さらに含みの良いスタンダード。塗装のみならず、このへんの番手を接着作業に転用すると創作的精密作業が可能になります。毛も耐久性抜群。

③ No.0

穂先はあくまで鋭く、太さもちょうど良いスタンダード番手。シリーズ7の入門には、これがNo.1が最もお薦めです。

④ No.00

No.000や短毛タイプよりも含みとしなやかさに秀で、やわらかなラインが描ける。細筆の黄金定番。あらゆる「細かい仕事」に適します。

⑤ No.000

「点」の描写を短毛タイプの仕事とすれば、こちらは「線」を最も繊細に描く「超細筆」。フィギュアに髪の一本一本が描き分けられる番手です。

ウィンザー&ニュートン シリーズ7 筆

好評発売中

① No.2 (短毛タイプ)	軸径: 1.8mm・全長: 178mm	¥1,375(税別)
② No.1 (短毛タイプ)	軸径: 1.5mm・全長: 174mm	¥1,302(税別)
③ No.0 (短毛タイプ)	軸径: 1.2mm・全長: 172mm	¥1,260(税別)
④ No.00 (短毛タイプ)	軸径: 0.7mm・全長: 175mm	¥1,228(税別)
⑤ No.000 (短毛タイプ)	軸径: 0.4mm・全長: 175mm	¥1,197(税別)
① No.2 (通常毛)	軸径: 1.6mm・全長: 184mm	¥1,869(税別)
② No.1 (通常毛)	軸径: 1.1mm・全長: 180mm	¥1,459(税別)
③ No.0 (通常毛)	軸径: 0.8mm・全長: 177mm	¥1,333(税別)
④ No.00 (通常毛)	軸径: 0.4mm・全長: 177mm	¥1,270(税別)
⑤ No.000 (通常毛)	軸径: 0.2mm・全長: 177mm	¥1,218(税別)

英ウィンザー&ニュートン代理店
有限会社 トライスタージャパン

ウィンザー&ニュートン シリーズ7 筆は全国の模型店などでお求めください。

〒101-0051
東京都千代田区神田神保町1-1 三善堂書店ビル9F
TEL/FAX: 03-3233-0045
URL: <http://www.tristarj.sakura.ne.jp/>
E-MAIL: tristar-japan@blwakwak.com

請勿以任
廠禁商業
資禁大陸

このスタンドが目印。

"Choi" Mode New Kits Review!!

251&38(t)シリーズ目白押し! 扶桑、九七戦、日本海軍搭乗員、そしてフェンダーギターの「ちょい」モード・キットレビュー!!

WWIIドイツの秘密兵器、闇夜を照らす梟の目! AFVクラブ1/35

Sd.Kfz.251/20 Ausf.D暗視装置搭載車「ウーファー」



積極的に251のバリエーションを展開するAFVクラブより、大型の赤外線サーチライトを搭載したタイプが登場。同社の251シリーズは出来もよく組みやすい秀作キットなので、本作もオスメの一品となっている。

■AFVクラブ1/35 Sd.Kfz.251/20 Ausf.D 暗視装置搭載車「ウーファー」

■インジェクションキット ■価格3780円 ○GSIクレオス

車体は既存のキットにパーツを追加した内容となっている。251本体は非常によくできていてバテもいないが、暗視装置の時に隙間ができないよう、仮組みはしっかり行っておこう。サーチライトは収納状態と展開状態のどちらかを選んで組むことが可能。細かい部品も多いが組みにくいということはない。また、手すりやネジなど細かいパーツを処理する時には、ランナーに付いた状態でやるといいだろう。別項で紹介されている「ドイツ軍夜間戦闘車3台セット」と組み合わせれば夜戦部隊を再現することができる。夜戦マニアならどっちも買いたい! [MSQ]



▶ディテール感たっぷりの大型の赤外線サーチライトは可動する。
▶ドライバー用の赤外線ライトと暗視装置ももちろんセット。



Sd.Kfz.251ファルケ&バックワゲン、Pak40の豪華3点セット! AFVクラブ1/35 ドイツ軍夜間戦闘車両3台セット

Sd.Kfz.251/20ウーファーに合わせて発売となった限定キット。Sd.Kfz.251/1ファルケと赤外線暗視装置付きのPak40は少数造られた実績に使用されている。一方、暗視装置を装備したSd.Kfz.251/22バックワゲンは実車写真はなく、またそういった車両が造られたという資料はないが、ファルケとPak40の仕様に基づいているのでそれらしいスタイルになっている。このキットは限定品なので、欲しい方は早めにゲットしておこう。

キットは、既に発売されている251/1、251/22バックワゲン、Pak40のパーツに新たに赤外線暗視装置の新規パーツを追加。AFVクラブのSd.Kfz.251シリーズとPak40はよく出来たキットなので、説明書通りに組んでいけばほとんど問題なく組み立てることができる。説明書に誤記があるので、要注意。(251/22の工程2のパーツH13は正しくはH18、工程12のS16はTA-2)。キットには同社別売りアイテムのプラ製連結式履帯「251用最終期タイプ」がセットされているが、ファルケは実車写真を見るとラバーパッド付き後期型履帯を装着している。また、ファルケの車体側面に付くプラットフォーム(ウーファーと同型)のパーツが付属していないので、要自作。説明書ではファルケ、バックワゲンともに操縦手用後部クラップを閉じた状態に図示しているが、暗視スコープ装着時はクラップは開けた状態が正しい。ディテールアップしたい方は、暗視装置のコード・配線類の追加を。なお、赤外線暗視装置用のパーツがかなり余ってしまうので、それらを使ってマダー&バンターGの夜戦型を作ってみてはどうだろうか。同

部を装着している。また、ファルケの車体側面に付くプラットフォーム(ウーファーと同型)のパーツが付属していないので、要自作。説明書ではファルケ、バックワゲンともに操縦手用後部クラップを閉じた状態に図示しているが、暗視スコープ装着時はクラップは開けた状態が正しい。ディテールアップしたい方は、暗視装置のコード・配線類の追加を。なお、赤外線暗視装置用のパーツがかなり余ってしまうので、それらを使ってマダー&バンターGの夜戦型を作ってみてはどうだろうか。同



▲車体前面とMG42機銃型に装着された赤外線暗視装置&ライト。



▶Pak40には赤外線投射ライトと暗視スコープが新たに付く。



ドイツ軍夜間戦闘車3台セット
■インジェクションキット
■価格7560円 ○GSIクレオス



▼Sd.Kfz.251/1ファルケと暗視装置付きのSd.Kfz.251/22とPak40の戦車3台セット。



"Choi" Mode New Kits Review!!

請の以何形式轉載至大陸

スケールダウンにとどまらない最新コンテンツ! タミヤ1/48 ロッキードマーチンF-16CJ[ブロック50]ファイティングファルコン



タミヤからは量産先行型のF-16が1/48でリリースされていたが、傑作1/32シリーズのスケールダウンという形で最新型のF-16CJが登場。しかし単なる1/48化ではなく付属兵装などで一歩先を行く進化をみせている。

- タミヤ1/48 ロッキードマーチンF-16CJ[ブロック50]
- ファイティングファルコン
- インジェクションキット
- 価格3780円 ©タミヤ



キットはエンジンレスであることを除けば基本的には1/32と同様の内容。しかし多くのF-16キットが派生型としてリリースされているのとは違い、最初からC型として開発されているのでパネルラインなども正しく、またインテイクダクトも奥まで再現されているのもうれしい。キャノピーは実機同様に薄く黄色がかった色で成型、スライド金型によりO型の断面も再現されている。兵装はJDAMがなくなった代わりにAIM-9X、空対空ミサイルが新たに付属し今後のアップデートにも対応。パイロットはヘルメット照準装置(JHMCS)をつけたヘッドも選択可能。マーキングは日本人に馴染み深い三沢基地所属機の色、在欧米軍機とタイガーマット参加機の色が再現。今後のバリエーション展開も待ちどおしいキット。[MY]



3社の先陣を切って登場の8輪装甲車! トランベッター1/35 アメリカ陸軍 M1126歩兵戦闘車ストライカー

昨年のプラザショーで3社から発表されていたストライカー装甲車だが、サンプルを展示していたトランベッターが先陣を切ってリリース。イラク戦争など近年露出の多い車両だけに期待していた方も多いのでは?

- トランベッター1/35 アメリカ陸軍 M1126歩兵戦闘車ストライカー
- インジェクションキット ■価格3675円 ©インターアライド



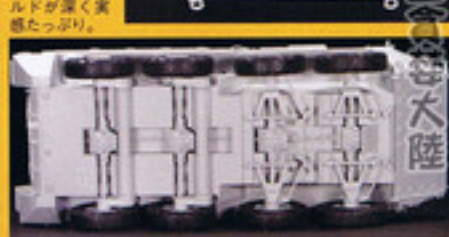
キットは車体上部の主要部分を一体で成型している他はビックリするような面白い分割はなく、いつものトランベッターとは違う雰囲気でもちょっと懐かしい感じがする。とはいえ、このパーツ割りでディテール再現度は十分、ストレスを感じることもないのでサクサク組みあがる。エッチングも同梱されているが、ブラパーツとの選択式なので金属が苦手な人への配慮もあり。でも彼をいえばライトくらいはクリアパーツにして欲しかったかな? 派生車種も多いだけにバリエーションも期待したい。イラク戦バージョンもぜひ! [MSK]



▼車体裏側のディテール。タイヤのモールドが深く実感がたっぷり。



▲各種車載搭載具もきっちり再現。この他シートベルトなどのパーツも同梱。
▶車外APCはカバー付きだが内部もしっかり再現。



請の以性可形式轉載至のて大

イタリアのキット以来、十数年ぶりの新キット！ドラゴンモデル1/35 38(t)7.5cm対戦車自走砲マードーIII Ausf.H



偵察戦車型から始まったドラゴンの38(t)シリーズの第2弾としてマードーIII H型が登場。スマートキット仕様となっているが、前作の偵察戦車同様、その他のスマートキットとは違った切り口となっている。

- ドラゴンモデル1/35 38(t)7.5cm対戦車自走砲マードーIII Ausf.H (スマートキット)
- インジェクションキット
- 価格4148円 ○ハセガワ



キット自体は最近のドラゴンの技術を使っている、組みやすい部類といえるが、エッチングパーツの取り付けに関しては注意を要する。またそのまま組むと銃室のペリスコープと無線機が干渉してしまうので、無線機の接着位置やラックの高さを工夫する必要がある。とはいえそれ以外の部分は組みやすい部類に入る。これからトライスターからもマードーIII H型が発売されるが、ぜひ比較してみたいキットだ。[MSK]

ウォーターラインシリーズ最後の2戦艦がリニューアル！ アオシマ1/700 戦艦 扶桑1944/山城1944

大正時代に竣工、連合艦隊の中心戦力だったが太平洋戦争では旧式戦艦としてレイテ沖海戦で悲劇的な最後を遂げた扶桑と山城。以前のアオシマのキットは厳しい出来だったが、ついに最新キットでリニューアル！



キット内容は最新のもののだけに、リニューアルされた他艦艇と比べても遜色ない出来で、以前のキットで砲塔が干渉する問題も当然解決。船体はバスタブ方式の左右一体成型ながら、ディテールは必要十分だ。艦橋は各艦で専用パーツが用意されているが、扶桑は複雑な艦橋を再現するために細かく分割されており、パーツを開通しないよう注意。砲塔はボリキャップを使っているが、軸が太いので削っておく。甲板前部と後部リノリウム張り部分は別パーツとなっており合わせ目が生じるが、パテ塗りし生乾きのうちにふき取ってやれば簡単に処理できる。[MSK]

▼扶桑の特徴でもある艦橋の“バゴダマスト”もみごとに再現。



- アオシマ1/700 戦艦 扶桑1944/山城1944
- インジェクションキット
- 価格各2730円 ○アオシマ



251シリーズにマニアックな空軍型登場！AFVクラブ1/35 Sd.Kfz.251/17対空戦闘車ルフトヴァッフェVer.

Sd.Kfz.251装甲車のバリエーション展開を続けるAFVクラブから、空軍に配備された対空自走砲が登場。HG部品のいく少数が配備されたというマニアックな車両だが、トライスターとの提携によってキット化されたものだ。

Sd.Kfz.251/17は車体後部にFlak38を搭載し空軍の対空車両としたもので、量産数は少なかったものの左右に開放できる銃室など、なかなかの存在感を持っている。搭載されるFlak38 2cm対空砲はトライスターから発売されていたもので、これをAFVクラブの251に装備するという寸法だ。251の車体の方はプラットフォーム部を新規ランナーとして入れているが、車体上部はそのまま。後部を切り取る作業が必要であり、やや慎重さを要するが、それ以外は組みやすく、全体としても悪くないレベル。どちらのキットもすでに評価は高く、ファンには嬉しいキットと言えるだろう。[MSK]



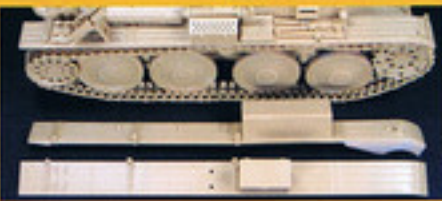
請勿以任何形式轉載至商業用途

電撃戦の主役となったチェコスロバキアの傑作戦車！ トライスター1/35 ドイツ38(t)戦車B型

WWII開戦前にチェコスロバキア併合がなければドイツは電撃戦に成功することはなかった、と言われるほどの高性能を持った38(t)戦車。今回リリースのB型はフランス戦に参加した“本命”。既発モデル以上の傑作！



▲オプションの発煙筒。この他指揮型用の大型アンテナも付属。
▲燃料箱が増設されたタイプのフェンダーも用意。



▲砲塔および車体前面の装甲板は実車通り薄く成型。



■トライスター1/35 ドイツ38(t)戦車B型
■インジェクションキット
■価格3360円 ○トライスタージャパン

これまでリリースされてきたB型、G型はフラットな前面装甲を持つタイプ。これに対しフランス電撃戦などでドイツ戦車軍団の名を一度に高めた時期の38(t)は、湾曲した前面装甲を持つB型で、持っていたファンも多いはず。キット内容は砲塔、車体各部のパーツが新規に起こされた型より薄い装甲板を持つB型がうまく再現されている。製作もこれまでと変わらずストレスなく組める。B型用の新規エッチングも使える内容。オマケパーツは指揮戦車型用の大型アンテナと銃座フタ、フェンダーの発煙筒、燃料箱が増設されたフェンダーなど至れり尽せり。ここまで来れば、足りないのはベルト式履帯くらいしかない？ さらに期待のマダガーIII H自走砲もリリース間近だ。[7]

まるで戦争映画のワンシーンのようなフィギュアセット ICM 1/35 ドイツ兵パトロール1939-1942



フィギュアモデラーに人気のICMの新キットは、憲兵2体と将校、戦場での少年の4体セット。ICMのフィギュアはまるで映画の1シーンや1枚の戦中写真をそのまま立体化したような雰囲気、実に模型映えするおすすめ品。タミヤやドラゴンモデルなどのフィギュアとはまたひと味違ったICMテストを実際に手にして感じてほしい。

ICM社の他フィギュアキット同様、本キットも非常に良くできている。顔の表情、ポーズの付け方、服や靴、小物のモールド（パナソニック・シーズのベルトループ裏面の縫い目まで再現！）など文句なしの仕上がり。組み立て説明書に従って組めば問題なし。製作上の注意点やポイントを強いて挙げれば、上下半身、腕のパーツ合わせをしっかりと行うこととKar98kのスリングやプロットポイント（ブレードバック、銃筒）のベルトループを自作するくらい。戦場さながら片足を乗せた将校は、他の構図にも使用できそうなほど良い感じ。[8]



■ICM 1/35 ドイツ歩兵と市民（少年戦場）パトロール1939-1942
■インジェクションキット
■価格1470円 ○バウマン



■ユニモデル1/72 ヘッファー指揮型駆逐戦車
■インジェクションキット
■価格2005円 ○バウマン



▲プラパーツにエッチングが効果的に使用されている。▼分割式履帯のたるみも自然。フェンダーで覆うのがもったいない！



簡単お手軽、時間がない人にもオススメ！ ユニモデル1/72 ヘッファー指揮型駆逐戦車



38(t)バリエーションの一部なので不要パーツもあるが、細かい部分は深く省略しつつ、細部表現にエッチングも同様にされているのがこのメーカーの面白いところ。ミニスケールということでパーツも少なく、合点もよく時間がない人にもオススメ。というこのメーカーのキットはだいたいそんな感じなので、細かいことは気にせずサクッと組みたい人にはオススメのメーカーなのです。履帯は分割式で精度の心配もなかったが、組んでみたらアウズ不慮、ピッタリ合いますよ！[MSK]

ユニモデルは1/72ミニスケールのAFVキットをせっせと作り出しているウクライナのメーカー。今回紹介するヘッファーの他にも38(t)系も出しているが、いずれもお手軽に完成できるオススメキットなのだ。



フランスを代表するWWIエース機をコレクション！エデュアルド1/72 スパッドXIII初期型 コンボキット



■エデュアルド1/72
スパッドXIII初期型 コンボキット
■インジェクションキット
■価格3727円
○ビーバーコーポレーション

ドイツのフォッカーD.VIIIなどと並ぶ第一次世界大戦最優秀機、フランスのスパッドXIII。1/72で後期型をリリースしていたエデュアルドから初期型が登場、これでギヌメルなどのエース機が作り放題！

キットは2セット入りの“コンボキット”、エッチングパーツとマスキングも同梱。WWI機には珍しくクリアーパーツも付属。モールドは非常にシャープかつ繊細。コクピット内部の再現度も高い。風防、プロペラ、上翼配管などは2種類を用意。小さな機体なので組み立ては容易。実機の真実を忠実に再現するので取り付け簡単。エッチング部分にはプラパーツも選択できるので金属パーツが苦手でも安心。デカールは4種。55機型並の伝統的エース、G.ギヌメル機に加え“黒い馬”マークのイタリア空軍エース、F.バラッカ機も用意されフェラーリファンにも見逃せない。限定版なので購入はお早めに。[7]



▼カウリングやプロペラなどのモールドは非常にシャープ。側面スリットや機体線はエッチング。



▲主翼端が丸くなっているのがスパッドXIII初期型の特徴。リブ表現もバッチリ。
▲フェラーリのエンブレムの元となったF.バラッカ機を含めデカールは4種類を用意。

九七戦キットの最高傑作がウクライナから飛来！ICM 1/72 中島Ki-27a 九七式戦闘機



▶エンジンは本体の他、キャブエアインテイクなども再現。



■ICM 1/72 中島Ki-27a 九七式戦闘機
■インジェクションキット
■価格2100円 ○バウマン

キットの仕様は後部風防のクリア部分が小さい甲型。まずは繊細なモールドに驚く。特に機体表面はヒンジ跡みや外板の重なりまで表現され、見ているだけでため息が出るような素晴らしい。エンジンも後部の排気管、排気管はもちろんエンジン室やキャブレターエアインテイクまで再現。オプションとして低圧タイヤ、主翼ガンカメラが付属。なおインストには書いていないが乙型用の後部風防も入っている。製作は特に問題ないが、胴体機体は脱身が難しいので少し削っておく。全スケールを通して九七戦キットの最高傑作といっても過言ではない。持っているだけでうれしいキット。[7]



独立したタンデム式キャノピーがカッコ良かあ〜。コンドル1/72 MiG-25U複座練習機

あのMG-25強襲強行着陸事件から30年、事件直後に緊急発売された当時の飛行ファンを喜ばせてくれたハセガワの傑作キットを筆頭に今や巷にはいくつものMG-25のキットが出回っている。そんなMG-25のプラキットだが、複座練習機バージョンはコンドルの製品が初のキットである。Mi-24のような独立したキャノピー配置なんて、さすがSFっぽいデザインの多いソ連機！現用ソ連/ロシア機の中でも個性的なスタイルのMiG-25Uはコレクション映えるぞ〜。



▲キャノピー配置はMi-24ハインドタイプのような独立した形式。前後が教官機で後座が訓練生用。



■コンドル1/72 MiG-25U複座練習機
■インジェクションキット
■価格3065円 ○バウマン

キットは最近の東欧製キットのスタンダードといえる仕上がりに。全体形は機体が若干細いような感じ（測ったわけではない。個人的な主観）があるが、雰囲気は良く、実機のスリムな印象がよく再現されている。パーツ点数は標準並でパーツの合いも良好。巧みなパーツ分割により、主・尾翼の取り付け角度はピッタリと決まる。さらにこのキットの良いところは、主・尾翼が薄く整形されていること。各翼の前縁・後縁ともに削り込む必要がないほどシャープに仕上がっている。パネルラインは凹モールドで再現されているが、かなり浅いので、パテ盛りやペーパー掛けで簡単に消えてしまう。気になる方はP

カッターや専用工具でキットの凹モールドをなぞってラインを深くすると良い。さらにリアルに仕上げたい方は省略されている機首周り、翼後縁などの細かなアンテナ類を自作・追加。兵装パーツはR-40空対空ミサイル×4発（同誘導型とセミアクティブ・レーダー誘導型が各2発）付属。ちなみにMG-25Uには戦闘機パイロット訓練用のPU型と偵察機パイロット訓練用のRU型があるが、外観は全く同一。唯一の相違点はPU型はパイロンを装着できること（という点は未装備の場合はRU型と同じ）。デカールはロシア空軍、ウクライナ空軍、インド空軍の3機種セット。[8]



▲兵装パーツはR-40空対空ミサイル×4発。デカールはロシア空軍、ウクライナ空軍、インド空軍の3機種セット。

グッドサイズの日本海軍パイロットフィギュア登場! インダモデルズ1/16 大日本帝国海軍搭乗員



新興フィギュアメーカー、インダモデルズが“大東亜戦争シリーズ”と銘打って1/16日本海軍パイロットをリリース。キットに加えブロンズと完全彩色の完成品も発売される。心に響く凄々しいポーズと表情が良い!

■インダモデルズ1/16
大日本帝国海軍搭乗員
■レジンキット/完成品
■価格4200円(キット)、
1万5750円(ブロンズ)、
2万790円(塗装済)
○インダモデルズ



フィギュアはお手で軍刀を立てた一般的な日本海軍搭乗員をモデル化。プロポーションや表情は十分に味を重ね、ヘッドは満足いく顔になるまで2回作り直したという。レジン組立キットのほか、ブロンズ調と完全彩色の2種類の完成品も同時にリリース。組立キットの内容はシンプルで、パーツは本体、右腕、軍刀、ベースの4点のみなので、小さな溝口やパーティングラインの処理が終われば簡単に完成できる。あとはボックスアートなどを参考に塗装に腕をふるおう。モールドが明確、大型で塗りやすいので、ミリタリーフィギュア塗装の入門にも最適。今後の予定は陸軍航空兵、自衛隊員などとのことで、大いに期待したい。[7]



▲ボックスアートはミリタリーイラストで有名な上田信彦氏が担当!

憧れの“オールド”ギターをコレクション! エフトイズ1/8 フェンダー ギターコレクション



“フェンダー”はあらゆる音楽アーティストから愛されてきた名ブランド。エフトイズからリリースの“フェンダーギターコレクション”は現代ポピュラー音楽の歴史そのもの。往年のギター少年少女なら全部買い必至!

フェンダー社の代表的なギターベースのストラトキャスター、テレキャスター、ジャズベースをモデル化。ガム1粒が同様のいわゆる“食玩”だが内容は超・本格的。価格は1本1本しっかりと張られ、ペグ、コントロールノブ、アームなどは別パーツ再現。さらに塗装バリエーションはもちろん、製造年代によって異なっているヘッドの形状、メーカーロゴ、ネックジョイントプレート、ピスの位置・個数なども細部にわたってキッチリと作り分けられている。モデラーなら塗装変え、パーツ改造などで好みのアーティストモデルに仕上げたい。バリエーションは全8モデル13種+シークレット。発売時期は東日本(中部・北陸以西)で3月末予定、関西以西では5月予定。[7]

■エフトイズ1/8
フェンダーギターコレクション
■完成品 ■価格3990円
○エフトイズ・エフェクト



▲ストラトキャスター
⑧は'57、'62、'70の3
タイプ6種類



▲テレキャスター
⑧は'52、'60、
'72の3タイプの3
タイプ4種類
▲ジャズベース
⑧は'52、'75の2
タイプ3種類

フランスのベストセラー装甲車をキット化! ACE 1/72 フランスERC-90 F4装甲車



Sagaie

ACEの1/72キットは、現用AFVファンにおすす
め。現用ソ連・ロシアの最新車両や試作車をは
じめ1/35でキット化されていない珍しいアイテ
ムが多数ラインナップされている。新製品の
ERC-90 F4サゲも初のインジェクションキット。
単品でも良いが、1/72というスケールを透
かしてレベルの新製品1/72 C-160ト
ランザール輸送機と組み合わ
せてジオラマにしても面白そう。

- ACE 1/72 ERC-90 F4装甲車
- インジェクションキット
- 価格245円○パウマン



ERC-90 F4サゲは1980年後半にフランス陸軍が
制式採用した6輪装甲車で、主に緊急展開部隊や
平和維持軍で使用されている。ERCシリーズはフ
ランスのみならず、多くの国で使用されているベ
ストセラー装甲車でもある。ACEのキットは箱を
開けてパッと見た感じは、簡易インジェクション
キットのようなが、よく見るとモールドはかなり
細かく、また機銃や小物はスケール感を損なわ
ないように極細仕上げになっている。またフェン

ダーミラーや牽引フック、排気グリル、テールラ
イトはエッチングパーツで再現するなど出来は良
好。決して組み立てやすいとは言えないが、バリ
取り整形やパーツのすり合わせ、パテ埋め、ペー
パーがけなど模型工作の基本作業をちゃんと行え
ば、なかなか良い感じに仕上がる。デカールはフ
ランス軍3種（象牙海岸駐留部隊、ジブチ駐留外
人部隊、サラエボ展開UN）、象牙海岸陸軍1種を
セット。[岡]

本誌「DUST」の原作者としてお馴染みP.バレンテ氏が送る新たなSFワールド ラッカム1/48「AT-43」ゲーム用1/48フィギュア

「AT-43」は、「DUST」に続くパオロ・バレンテ氏のオリジナルSFストーリー。U.N.A地球軍と宇宙
生命体テリアンとの戦いを描いたSFワールドで、多種多様な戦闘メカ、歩兵兵器、艦メカが登場す
る。「AT-43」は2006年末にプレイングゲーム（ボードゲーム）としてすでにフランスで販売がしま
っており、1/48スケールに統一したゲーム用フィギュアは単品キット&完成品としても発売される。

「AT-43」は、人間vs宇宙生命体との戦いを描いたもの（わかりやす
く例えると「スターシップ・トルーパーズ」のようなSF戦争物）で、
プレイングゲームとストーリーブックでの商品展開が行われる。ゲーム
は各種フィギュアを使って行うボードゲーム形式のもので、専用の
フィギュアが多数発売される予定だ。ゲームはボードとルールブック、
そして各種フィギュアがセットされており、地球軍U.N.Aが行う各種の
軍事作戦をプレイしていく方式。各ゲーム（つまり軍事作戦）によっ

て付属するフィギュアは異なっており、フィギュアはすべてミリタリ
ースケールの1/48で統一されている。兵器を装備した兵士や装甲車、2
足戦闘兵器などのフィギュアはスケールモデル並みのモールド&ディテ
ールで作られており、ゲーム用としてではなく単品ディスプレイサ
ジオラマにして楽しむことも十分可能だ。塗装済みモデルの他に、組み
立てキットが発売される。「AT-43」に関する情報は、本誌にて随時紹
介していく予定。

- ラッカム1/48 商品各種
- インジェクションキット&
塗装済み完成品
- 価格・発売時期等未定



●原作者のパオロ・バレンテ氏は、SF好きで、SFゲームのイ
タリアン。ヨーロッパのアメリカ
彼の作品を支持するファンは、
「DUST」に続き、「AT-43」もフ
スを皮切りに他のDUSTシリーズ
アメリカで人気を博すことがあ
る。



▼ファイア・トードMk.03は2種の武装を選択できる。

▲U.N.A.が使用す
るメカの一つ、
ファイア・トード
Mk.03。人が
乗り込む小型戦
闘兵器で、設定
高は約2m。写真
は1/48塗装・完
成済み製品。コ
ンテナも付属。



▲こちらは、ファイア・トードMk.03
の1/48キット。コックピット内のモ
ールドも再現されており、市販1/48フ
ィギュアを改造して、パイロットを
乗せることもできる。

▼宇宙生命体テリアンの1種。スケール
はやはり1/48。商品はヘッドや腕な
ど各種パーツ選択式で異なる数種の
体型を再現できる。



問い合わせ先（順不同）
タミヤ (静岡) 054-283-0033
(東京) 03-3899-7765
<http://www.tamiya.com/>
ハセガワ 054-628-8751
<http://www.hasegawa-model.com/>
インターアライド 045-549-3031
<http://www.interallied.com/>
GSIクレオス 03-5211-1144
<http://www.mr-hobby.com/>
アオシマ 054-263-7451
<http://www.aoshima-bk.com/>
トライスタージャパン 03-3233-0045
<http://www.tristar-japan.com/>
ビーバーコーポレーション
お近くの模型店にお問合せ下さい。
パウマン 03-3795-6666
<http://www.baumann.co.jp/>
イシダモデルズ <http://www.ishidamodels.com/>
エフトイズ・コンフェクト 06-6626-6060
<http://www.f-toys.net/>

AFVニューキット特集

- 戦場の水先案内人GRASSHOPPER
ブロンコモデル1/35 バイパーカプル4グラスホッパー連絡機/加藤剛行 011
- 究極の1/35 バンサーA型キット登場!
ドラゴンモデル1/35 バンサーA後期型 プレミアムエディション/石井優二 017
- M4シャーマンの歩兵直協支援型
ドラゴンモデル1/35 M4A3シャーマン 105mm砲搭載型/七星 明 022
- 装甲部隊のバスファインダー
ドラゴンモデル1/35 38D偵察戦車 2cm KwK砲搭載型/徳永達矢 027
- 石井優二の気まぐれAFVモデリング!
ニューコネクション1/35 38D偵察戦車 2cm砲搭載型/石井優二 032
- 北欧の守護神 ODEN
ホビーボス1/35 スウェーデン主力戦車Strv.122/七星 明 036
- ユーロモデラーの超絶モデリング パート1
タミヤ1/48 VWタイプ82E & クルップ・プロツェ/ルチアノ・ロドリゲス 041
- 中島キ-84 四式戦闘機 疾風
- ハセガワ1/32疾風を、内部まで作り込む
ハセガワ1/32 中島キ-84 四式戦闘機 疾風/K2 065
- 大人モケイの疾風
ハセガワ1/48 中島キ-84 四式戦闘機 疾風/前島敏彦 070
- オールド・ビンテージの疾風を「著しく剥がす」
童友社1/32 中島キ-84 四式戦闘機 疾風/大野周作 074
- 1/32WWII機は州平ちゃんの大好物
ローデン1/32 RAF S.E.5a ウーズレー・バイパー搭載型/松本州平 077
- タイガーミート機を大判デカールで製作
レベル1/72 RF-4Eタイガーミート/本橋裕一 085
- 堀越二郎 戦闘機における“美”の追求
ハセガワ1/48 十二試艦戦/竹内規矩夫 088
- 日本の海の安全を担う掃海艦艇
シーラインシリーズ1/700 海上自衛隊 掃海母艦 うらが型/松永富夫 091
- ユーロモデラーの超絶モデリング パート2
イタレリ1/72 UH-1N twinヒューイ/ディエゴ・キハノ 118

- 素組み、無塗装で新製品を紹介
“ちょいモデ”ニューキットレビュー! 003
- AFVクラブ1/35 Sd.Kfz.251/20 Ausf.D 半履帯装甲車ウーファー
- AFVクラブ1/35 ドイツ軍夜間戦闘機3台セット
- タミヤ1/48 ロッキードマーチンF-16CJプロック50ファイティングファルコン
- トランベッター1/35 M1126歩兵戦車ストライカー
- ドラゴンモデル1/35 38D7.5cm対戦車自走砲マーダーIII Ausf.H
- アオシマ1/700 日本戦艦 扶桑1944/山城1944
- AFVクラブ1/35 対空戦闘車ルフトヴァッフェ
- トリスター1/35 ドイツ38D戦車B型
- ICM 1/35 独兵士十市民 (脱走者) 4体バトロールシーン1939-42年
- ユニモデル1/72 ヘッファー指揮型駆逐戦車
- エデュアルド1/72 スパッドXIII初期型コンボキット
- ICM 1/72 中島Ki-27a 97式戦闘機
- コンドル1/72 MiG-25PU 複座戦闘機
- インダモデル1/16 日本海軍乗員
- エフトイズ1/8 フェンダーギターコレクション
- ACE 1/72 ERC 90 F4装甲車
- ジオラマ野郎佐藤太のExplosion
ハセガワ1/72 電戦 vs B-26/佐藤太一 081
- 前島敏彦のヒコキモケイのススメ
タミヤ1/48 リパブリックF-84Gサンダージェット/前島敏彦 095
- 海外イベント・リポート E-DAY 2006 123
- 世界のミリタリー博物館巡り
ミリタリー・アトラクション・センター 047
- My Life a Modeler! モデラー探訪
第12回 菊全 肇さん 097
- イベント・リポートアメリカ海軍200年の歴史を一望!
ミッドウェイ展示会「アメリカ艦隊アメリカ海軍の200年」 116
- 飛行砲艦モンテックコリ
第19回 復元された記録機/今井邦孝 113
- おすすめ新刊・洋書 049
- 新製品情報 052
- 読者のページ 106
- プレゼント 108
- 定期購読のお知らせ 112



請の以任何形式轉載至貪婪大陸
嚴禁商業用途

戦場の水先案内人

■ブロンコモデル1/35 バイパーカブL4グラスホッパー連絡機
 ■AFVクラブ1/35 WC57/WC56 "パットンズ・コマンドカー"
 ■製作・文：加藤剛行 ■協力：バウマン、GSIクレオス
 ■Bronco Models 1/35 U.S. PIPER CUB L-4(O-59) "GRASSHOPPER"
 ■AFV CLUB 1/35 WC57/WC56 "PATTON'S COMMAND CAR"
 ■Modeled & Text by NORIYUKI KATO



GRASSHOPPER

「1/35スケールの飛行機キットがあれば……」「1/72のように1/35でも飛行機と車両、フィギュアを合わせたジオラマを楽しみたい」と思っているAFVモデラーは多いのではないだろうか。かつて30年以上前に1/35日本機キットというものがあったが、現在では1/35飛行機キットはヘリコプターばかり。ところが突然、ブロンコモデルが1/35のバイパーカブを発表。バイパーカブは、飛行機ファンばかりかAFVファンにもよく知られた機体。単体ディスプレイはもちろん、1/35AFVやフィギュアと合わせていろんなシチュエーションを楽しめるキットだ。

請勿以任何形式轉載至台灣大陸
 嚴禁商業用途





パイパーカブL-4は、第二次大戦中の航空機の中では目立たない存在ですが、戦場でもっとも活躍したアメリカ機の一つです。

1930年にC.G.テイラーにより設計され、1938年には40馬力の市販型が登場、大戦勃発後は65馬力にパワーアップされたL-4型がヨーロッパ、太平洋の戦場で多用されました。米東海岸のUボート警戒からはじまり、アメリカが参戦すると連絡、偵察、善悪観測、救護、運搬、時にはバズーカを装備して対地攻撃にも加わりました。まさに空のジープと言ってもよいほど地上軍の直協支援機として活躍しています。

そんな傑作機なのにこれまで模型ではあまり恵まれていませんでした。ところが、突然ブロンコが大スケールのパイパーカブを発売、しかも1/35スケールという飛行機ファンよりもAFVファンに嬉しいサイズです。今回はノルマンディー上陸前に空挺師団独自で降下地点偵察という設定にしました。

■製作

キットの部品点数は少な目ですが、ディテールアップをしたいモデラーのためにエッチングパーツが付属しています。資料がないのでネッ

トで検索しました。海外のパイパーマニアサイトに実機の写真が色々掲載されています。それらを参考にするとよいでしょう。

まずコクピットの製作。ジオラマ用に窓とドアを開けた状態に設定して取りかかりました。パイロットフィギュアは、ジャンク中から5体寄せ集め、エポバテでジャケットとニット帽を制作。コクピット・シートに合わせ切った貼ったで作り直しました。

キャノピーは一体成型だと楽なのですが、クリアパーツの四面箱組みでちょいと面倒です。キャノピーにマスキングをして胴体の合わせ目



請勿以任伺形式轉載至會登大陸
嚴禁商業用途



▲パイパーカブの顔。2階プロペラの木目、エンジンの金属感を表現するとリアル感が出る。
▼コックピットのサイド・パネルを開けた状態に。操縦席に自作フィギュアを乗せた。



を消したら、翼を取り付けます。尾翼の昇降舵は着陸時には下がっているようなので切り込みを入れ曲げました。後輪のサスペンションをエッチングの棒と銅線で作製しています。

塗装はタミヤアクリルのオリーブドラブとオリーブグリーンでやや緑味を強くしています。マーキングはノルマンディー頃の識別ストライプ入りにしましたが、付属のストライプデカールが翼の幅より小さいので、塗装で仕上げています。数字デカールは余白切りをしてマークソフトウェアで密着させ、エナメルでエイジング、機体後部に埃汚れをアクリルで施しました。

塗装後にアンテナ線とフラップのケーブルを装着しました。直線形状記憶金属線を使用し、アンテナ線は0.2mmで、ケーブルは0.3mmのものを使用しています。この金属線は使いやすく、本誌モデラーの佐藤太一氏に教えていただきました。

■WC56

車種はAFVクラブのダッジコマンドカーです。バトン仕様のキットですが、今回は通常のWC56タイプで作っています。タミヤ並みのクオリティーで、大変作りやすいキットです。工具

止めのバンドを鉛板で作ったのみで後はストレートで組んで、タミヤアクリルで塗装しています。

■フィギュア

アメリカ第82空挺師団の設定にしました。将校はマスターボックスの「Europe, 1945」の1体とフランスのメーカーADVのレジン製空挺兵フィギュア（バウマン扱い）を使用。共にヘッドをホーネットに替えています。空挺兵はライフルの代わりに地図とプラ材で作ったカメラを持たせています。

▼モールド良し、パーツの合い良し、そしてパーツ点数も少なく、非常に組みやすいおすすめのキットである。



請勿以任何形式轉載至貪婪大陸
嚴禁商業用途



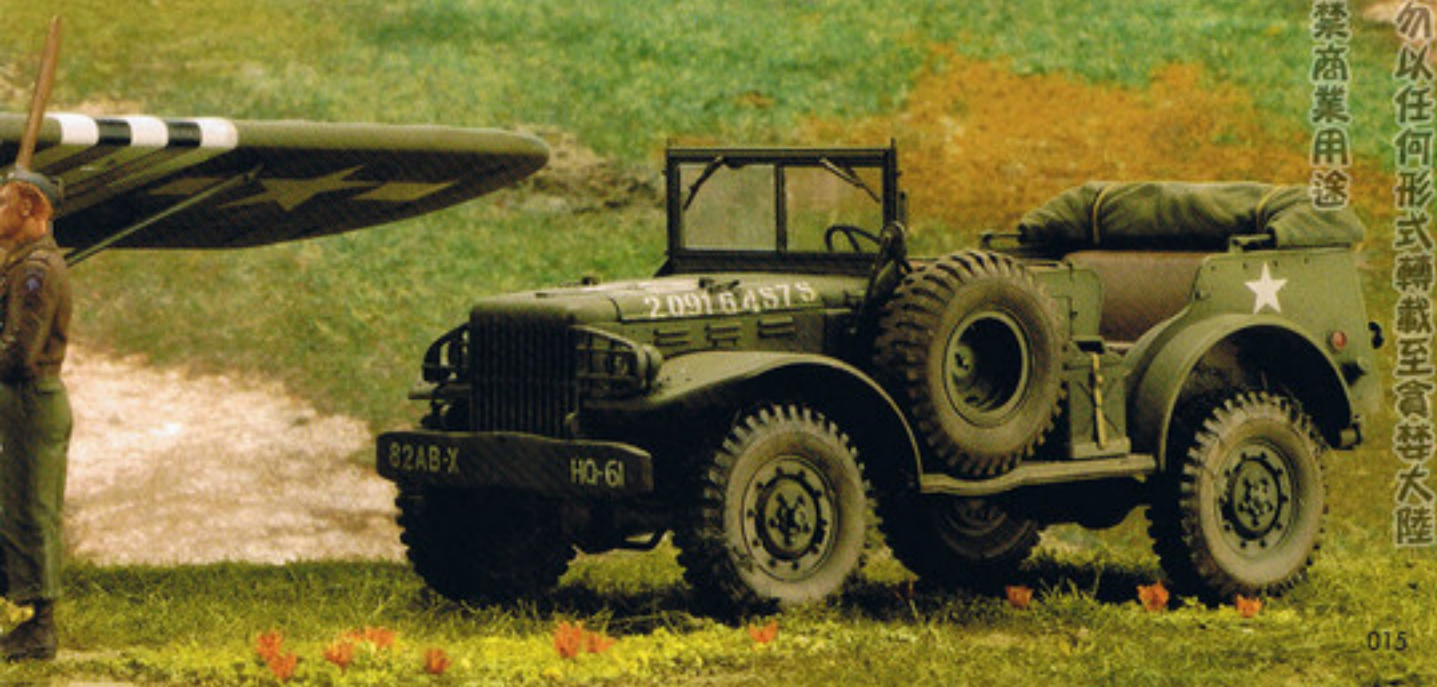
▲パイパーカブのシンプルな簡易装置。
▼尾翼水平安定版の固定支持索も金属線で作製。



▲キット製作上の注意点は、キャンビーを箱組みする際に傷をつけたり汚れないようにすること。
▼右の母松はマスターボックスの「Europe, 1945」の1体。ヘッドはホーネット製に交換。



▲補助翼の作動索は金属線で作製。
▼第82空団降団兵士はADVのレジン製フィギュア（バウマン強い）を使用。こちらもヘッドはホーネットを使用し、ライフルの代わりに地図とブラス材で作ったカメラを持たせた。



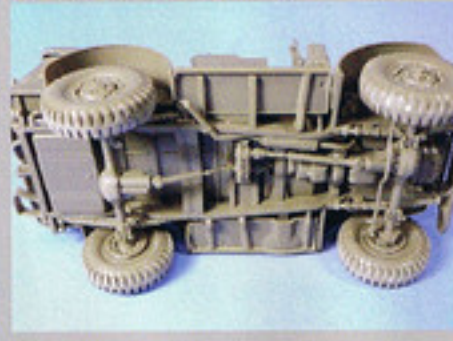
請勿以任何形式轉載至貪婪大陸
嚴禁商業用途



▲パイロットはジャンクパーツの寄せ集めで自作した。
▼WC57/WC56のキットは、ほぼストレートに組んでいる。車体下面シャーシまで細かく再現されている。

▲細かなパーツ類は強度を考え、金属材料で作製。

▲尾輪もディテールアップした。
▼車体後面の車載工具の固定用バンドを鉛板で作製。



請勿以任何形式轉載至商業用途
嚴禁商業用途



究極の1/35 パンターA型キット登場！

■ドラゴンモデル1/35 Sd.Kfz.171/パンサーA後期型 プレミアムエディション
 ■制作・文：石井優二 ■協力：パウマン
 ■Dragon Models 1/35 Sd.Kfz.171 Panther A Late Production Premium Edition
 ■Modelled & Text by YUJI ISHII



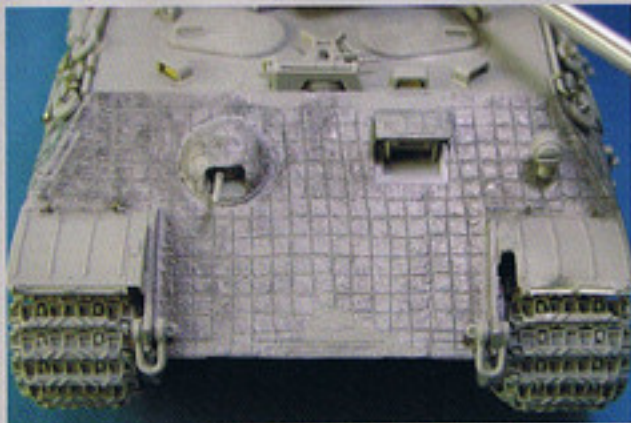
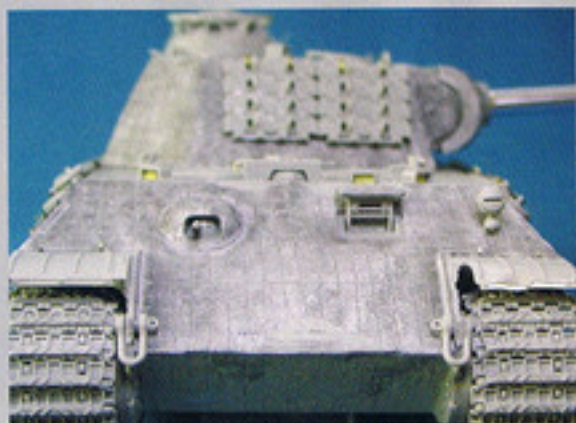
PANTHER Ausf.A Late Production Model by DRAGON MODELS

ドラゴンモデル1/35
 パンターA後期生産型

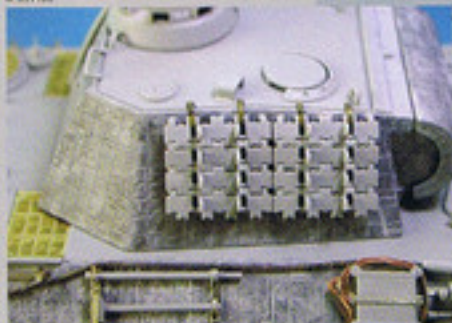
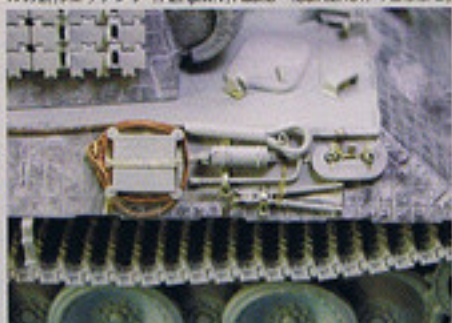
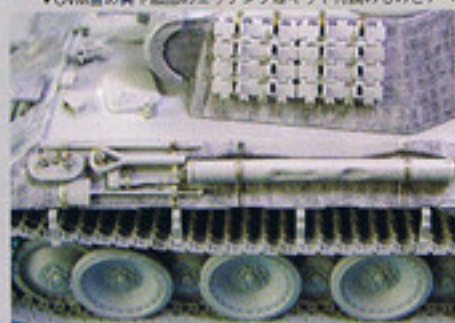
1/35 パンターA型キットの決定版として発売以来、多くのAFVファンに支持されてきたドラゴンモデルの同キットがこのたび人気の“プレミアムエディション”シリーズとして登場した。旧作キットの単なるグレードアップ版でなく、多くの新規パーツの追加で完全な新製品といっても過言ではないほどの内容になっている。超絶ディテールを追求したパンターA“プレミアムエディション”、市販キットにもうこれ以上望むことはありません！



請勿以任何形式轉載至貪婪大陸
 嚴禁商業用途



▲ツインメリットコーティングは、タミヤパテをシンナーで薄くして均一に塗布。乾く前にコーティングブレードやドライワイヤーの薄刃側を使ってマスを入れた。
▼OVM留め具や細部のエッチングはキット付属のものやアベールの新作エッチング [Pz.Kpfw.V, Ausf.D (Sd.Kfz.181) Panther D] を併用。



ドラゴンモデルが最近力を入れている“プレミアムエディション”シリーズにパンターA後期型が登場しました。キット内容は、エッチング製サイドスカート、メタル製砲身、マジックトラック式の連続履帯をセット。さらに砲塔パーツや転輪足回りはパンターG型スマートキットのものを使用するなど完璧と言ってもよい内容となっています。そのため、箱の中のパーツのみで十分な出来映えのパンターA型を作ることが出来ます。

■製作

組み立てはキットの説明書通りに進めました。

キットには使用しないパーツが多く含まれていますので、パーツナンバーをこまめにチェックしましょう。余ったパーツはちゃんと保管しておけば、他のパンター戦車キットのディテールアップに流用できますよ。

足回りのサスペンションアームの取り付けとメタル製砲身の取り付けは特に注意が必要です。メタル製砲身を使用する際は、最初にマズブルーキを取り付けてから砲尾にセットすることをおすすめします。

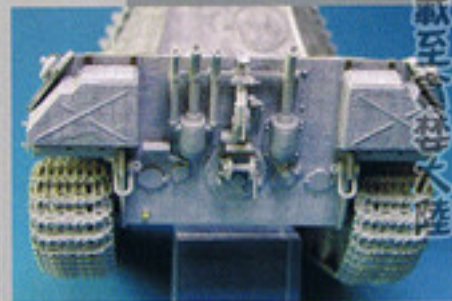
冒頭でキットのパーツだけで十分と述べましたが、作例では新作エッチングの紹介を兼ねてアベールのパンターD型用ディテールアップセッ

ト [Pz.Kpfw.V, Ausf.D (Sd.Kfz.181) Panther D] (品番35211) を使用。D型用ですが、共通部分が多いので、A型でも多用できます。このアベールのパーツとキット付属のエッチングを併用しました。

サイドスカートはキットのメタル製パーツを使用。作例のようにダメージ跡を表現するにはメタル製が最適です。サイドスカートのステアーはアベールにもキットのエッチングパーツにも入っていないので、キットのプラパーツを薄く削り使用しています。



▼サイドスカートのステアーはキットのプラパーツを薄く削り使用した。



請勿以任何形式轉載至本報
嚴禁商業用途



ツインメリットコーティングには、普段はタミヤのポリバテを使っていますが、手持ちが切れてしまったので、作例はタミヤバテ（ペシックタイプ）を使ってみました。使い方は、タミヤバテにシンナーを混ぜ柔らかくして、筆を使って均一に車体、砲塔などの表面に塗布。乾く前にグムカのコーティングブレードとハセガワのトライツールの薄刃鋸を使ってマス目を入れていきました。バテがある程度乾いたのを確認した後、満和工業のハンドリユーター（ミニター）にワイヤーブラシを付けコーティング表

面の独特なテクスチャーを表現しています。ワイヤーブラシを使用する際は、ゴーグル、マスクなどの保護具の着用をおすすめします。

■塗装

塗装は、バンツァー臨時増刊「ビクトリアルバンター/ティーガー」に掲載されている、ベルギー・ヴィルヴォールで撮影されたSS第1装甲師団LSSAHの車両の写真を参考にしました。コーティングを施した車両の場合、なかなか迷彩パターンを正確に読み取る事はできません。作例

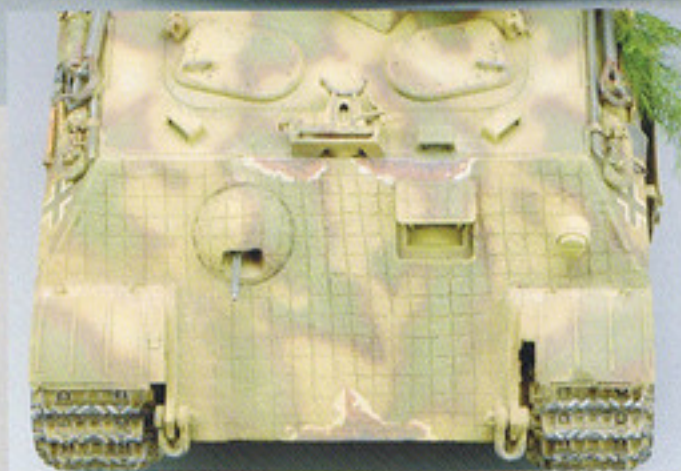
では同師団の他の車両なども参考にしています。

まず、サーフェイサーを全体に吹き付けた後に下地のダークブラウンを塗装。次に混色したドゥンケルゲルブ、オリーブグリュン、ロートブラウンの順で塗っていきました。エイジングとウェザリングは強めに施しています。

隠装用の針葉樹を模した枝葉は、アスバラガスの葉のドライフラワーで作りました。参考にした実車写真の車両には付いていませんが、フランス戦などではよく見られます。こうした小物にも載ると模型映えがしますよ。



請勿以任何形式轉載至商業大陸
嚴禁商業用途



▼小物パーツの出来も秀逸。他キットからのパーツ流用の必要がなく、キットのパーツのみで十分。



▲履帯は出来良し、組み立て簡単でモデラーに好評の“マジックトラック”。別売りしてはいいアイテム。
▼サイドスカートは金属製。よって、ダメージ跡の再現も容易でリアルにできる。



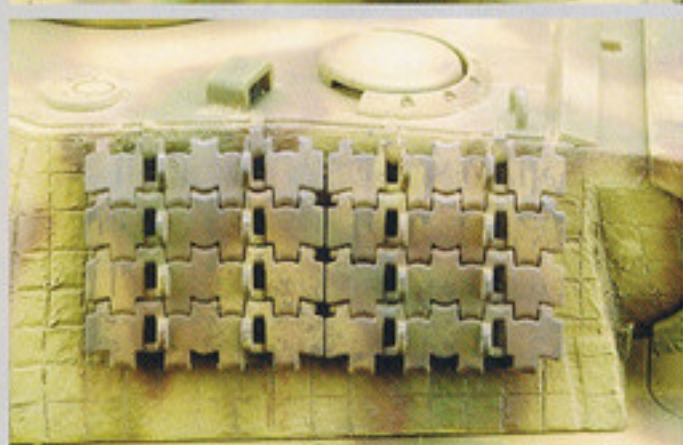
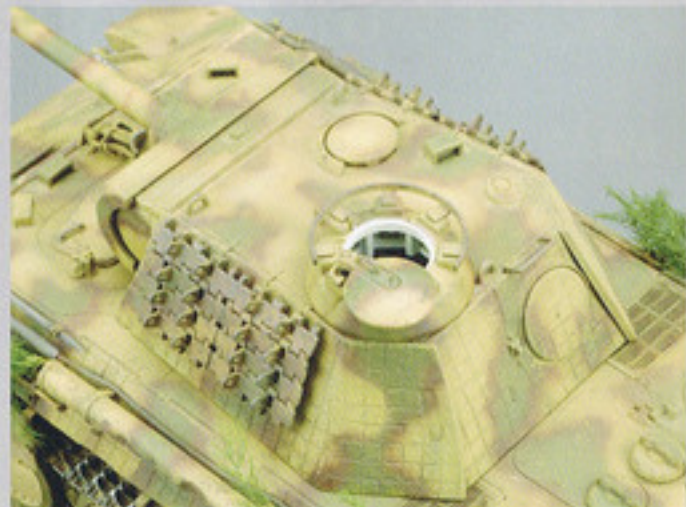
請勿以任何形式轉載至貪婪大陸
嚴禁商業用途

▼擬装用の枝葉を付けてみた。こうした小物に凝ることも完成後の見栄えの良さにつながる。

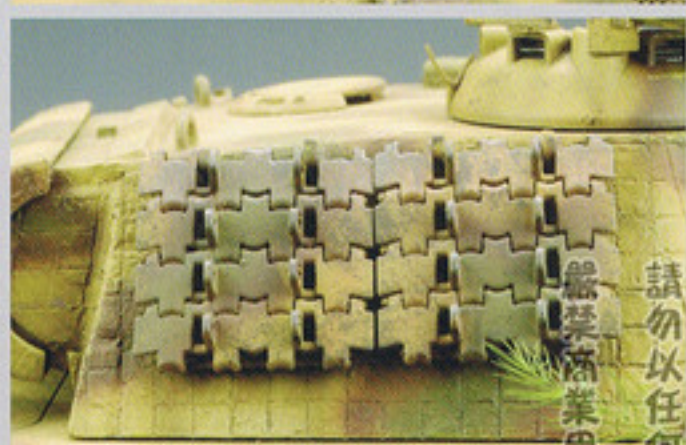




▲本キットの砲塔パーツは、パンターGスマートキットのパーツを使用し、決定版といわれた旧A型キットをさらに上回る出来に仕上がっている。



▲砲塔側面の予備砲塔は、砲塔と同様の迷彩仕上げ。ただし、汚しやサビを強くし、砲塔とは変化を付けている。



請勿以任何形式轉載至香港大陸
嚴禁商業用途



大戦後半から活躍したM4シャーマンの歩兵直協支援型 SHERMAN M4A3 (105mm) HVSS

M4A3 105mm榴弾砲搭載型

ドラゴンモデルの最近の新製品といえば、バンターやIV号戦車、III号突撃砲、そして最近リリースされ始めた38(t)戦車シリーズなどドイツ戦車ばかりが目立っている感があるが、続々と発表されているM4シャーマン・シリーズも注目のキットだ。新規または改修されたインジェクションパーツやエッチングパーツ、DS素材の履帯がセットされたハイクオリティな内容に仕上がっている。今月は前号のイギリス軍シャーマンMk.IIIに続き、M4A3 105mm砲搭載型を紹介する。



■ドラゴンモデル1/35 M4A3シャーマン 105mm

■製作・文：七尾 明

■Dragon Models 1/35 Sherman M4A3 (105mm) HVSS

■Modeled & Text by NEI NANAHOSE



M4の105mm榴弾砲搭載型は歩兵直協兵器として登場した車両です。ドイツ軍でいうとちょうどIII号突撃砲のバリエーションの42式突撃榴弾砲がこれに相当します。もっとも、M4の場合は直協だけに限らず、間接射撃にも多く用いられています。また、搭載弾薬には貫徹力の高いHEAT弾も用意されており、そこそこの対戦車能力も持っていました。105mm榴弾砲搭載型は、

M4とM4A3のタイプのみで、1944年2月から生産されたために、すべての車両が後期型車体仕様です（実車写真でよく見かける前期型車体の車両は試作車らしい）。生産の途中からサスペンションはHVSSに変更されており、M4は生産数の約半分、M4A3では56がHVSS型となっています。

さて、今回のM4A3 105mm砲型は先月製作したシャーマンMk.IIIと同じドラゴンモデルから同

時期に発売されたキットです。M4A3のHVSSサスペンション型はすでにタミヤのキットがあるので、このドラゴンのHVSSでM4シリーズの穴がまた一つ埋められたことになります。

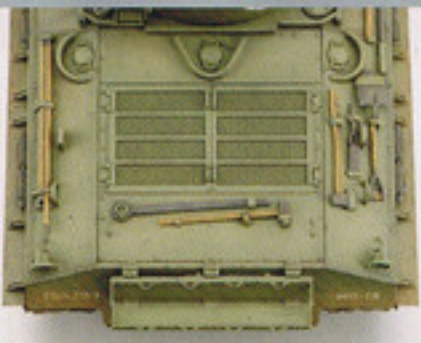
キット内容は、既存のM4A3のキットをベースに、新設計の砲塔とエッチングパーツ、フエンダー、DS素材の履帯が加えられたものとなっています。

請勿以任何形式轉載至台灣大陸
嚴禁商業用途



▲ライトガード、ペリスコープガードはエッチングパーツを使用。





▲キットにはエッチング製のフェンダーパーツがセットされている。

■製作

まずは、足回りから見て行きましょう。HVSSサスペンションは、かなり細かく分割されており、実車とおりの可動式です。ただし、シリンダー内部に収める付属のパネは径がちょっと太く、そのまま組むと外に飛び出てしまいます。作例では、パネは使用せず可動部は固定しました。またサスペンション上部に付ける金属パイプは2mm程度長いようですが、素材がかなり硬く、切断することは困難なので、ここはそのまま使用しています。

サスペンションをそのまま車体へ取り付け履帯を付けたと、正面から見て、ほんの少し履帯のラインが逆ハの字になってしまいます。サスペンション基部(Q6)の下端に0.2mm程度のブラバンを挟むとちょうど良いでしょう。

履帯は、前号製作のシャーマンMk.IIIと同様に接合可能なDS素材のベルト式が付属(センターガイド部分はプラパーツ)。ベルト式ながらモールドは良好で、連結式と比べても遜色ない出来です。ただし、車体との長さ合わず、2コマ

分を切って使用しました。

車体上部では、上部パーツを説明書の指示通りに、後部の楕円形のモールドを削り取るなどの加工をしています。その際、OVMの投着位置の穴を開けますが、エンジンリルハッチのストッパー(A61、A62)は、穴の位置が後方過ぎるので、開口せずに5mm程前の位置に修正しました。

ライトガードは、プラとエッチングパーツとの選択式です。付属のエッチングパーツは、前部のパーツが少々薄く、後部に関しては構成が実車とは異なっています。そこで、作例では両方ともファインモールドのエッチングパーツ「米陸軍・車両用アクセサリセット ライトガード等」(品番MG10)を使用。砲塔上の直接照準器も同パーツに交換しています。

上部パーツには、デフカバーとのジョイントパーツA7を車前に取り付ける指示がありますが、デフカバー自体との合いが良くありません。ここは、車体上下パーツの投着時の際に、調整しながら取り付けの方が良いと思います。このパーツとデフカバー上端は、車体前面板よりも少

し出っ張っているのが正解ですが、その修正は少々難しく、キットのままとしています。

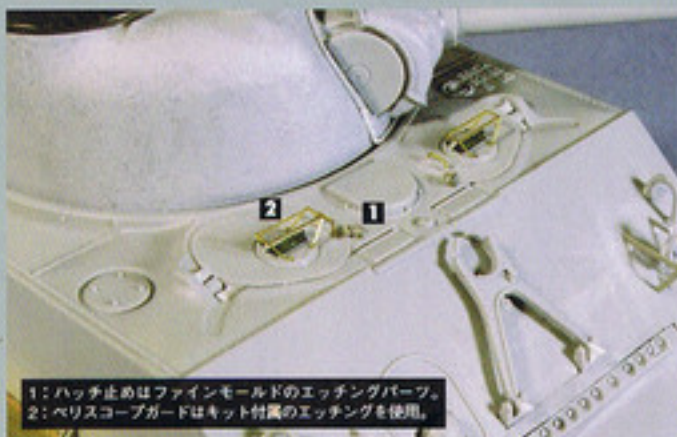
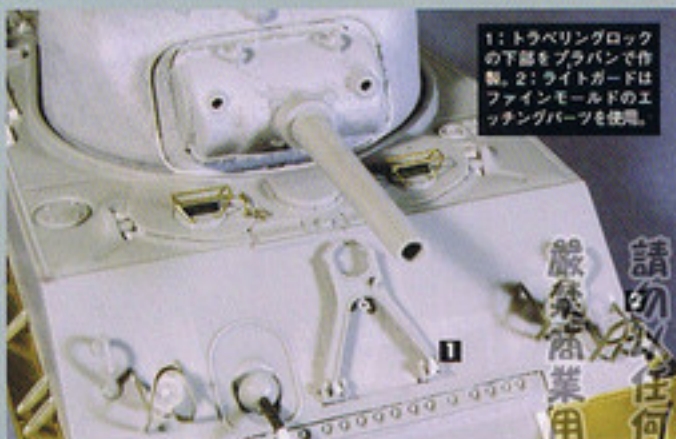
前部及び側面のフェンダーはエッチングパーツで再現されており雰囲気は良好です。ただ、前部フェンダーはどれも前後幅が2mm程長いようです。それと、その側面の立ち上げの部分は高過ぎて、このまま組むと前部フェンダーが水平になりません。長さに関しては、表面の凸状のモールドの関係から修正困難なので、そのまま使用。側部は、前縁部分を2mm程度カットして、履帯のカーブと平行になるように取り付けました。

予備履帯はキットには含まれず、前号のM40自作履帯の作例で使用したAFVクラブの連結式履帯の余りパーツで作成。固定具はモデルカステンのB1式戦車履帯に付いているパーツを利用しています。

砲塔パーツは、砲手側の装甲厚を増加した状態が再現されており、铸造表現の雰囲気も良好です。車長用キューボラのパーツについては、ペリスコープ枠のモールドが今一つなのでタミヤのM4A3のパーツを使用。キットには砲塔上



請勿以任何形式轉載至商業大陸
嚴禁商業用途



請勿以何形式轉載至商業大陸
嚴禁商業用途



1: 直造照準器はファインモールドのエッチングを使用。2: 12.7mm機銃の固定具の先端はオクノMM41のキットのパーツを使用。3: 12.7mm機銃はアカデミーの水車機銃セットのパーツ。放熱筒と弾薬室はレジンパーツ使用。



1: 後面の銃床のモールドは、ドラゴンのシャーマンMk. III付属の金ったエッチングパーツを使用。2: 水抜き穴を開く。3: 小フックを追加。



1: サスペンションの金属パーツは2mmほど実車よりも長い。2: 転輪ゴム部は別パーツとなっているが、転輪本体奥側に取り付けるとリム部が出っ張るので中央寄りに設置。



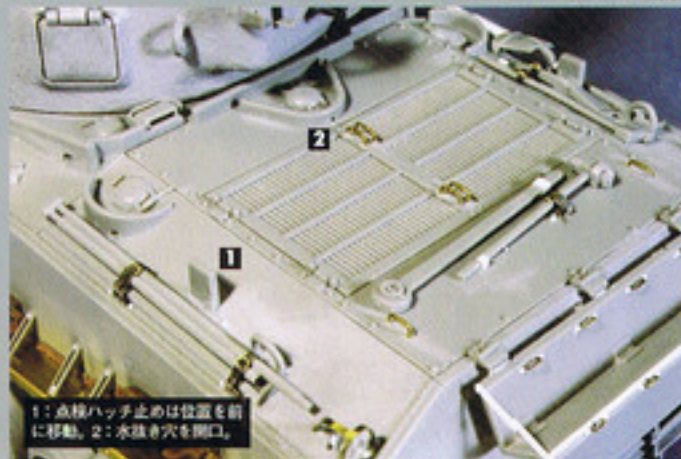
1: 予備履帯はAFVクラブの別売り減価履帯セットのパーツを使用。2: パールと固定具はプラ材で自作。



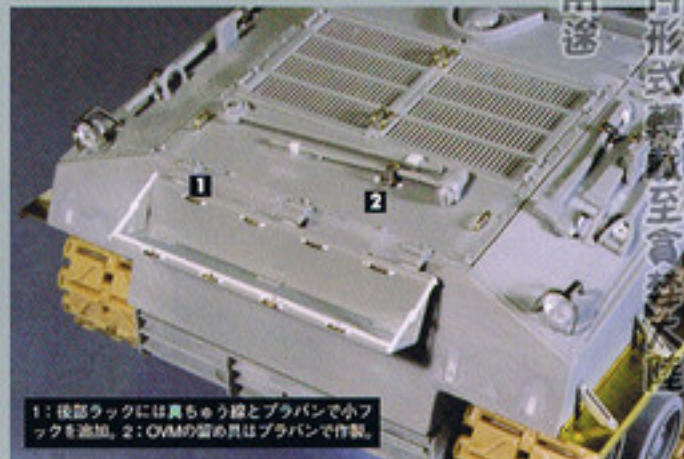
1: 水抜き穴を開く。2: OMMの固定具をプラバンで追加。3: 尾灯のライトコードをワイヤーで作製。4: ハンマー固定具はホビーベースのプラストライプで作製。



1: 水抜き穴を開く。2: フェンダー止めにプラ棒の輪切りでボルトを追加。



1: 点検ハッチ止めの位置を前に移動。2: 水抜き穴を開く。



1: 後面ラックには真ちゅう線とプラバンで小フックを追加。2: OMMの固定具はプラバンで作製。



◀105mm砲の砲身は金属製と
プラ製パーツを選択可能。作例
は作者の好みでプラパーツ使
用。
▶キットには50口径M2ブロー
ニング機銃が入っていないの
で、他から流用。



▼車体は地味なオリーブドラブ単色塗装なので、OVMなどの塗り分けは良いアクセントになる。



の12.7mm機銃は付属していませんが、実車では
装着している例が多いので、アカデミーの機銃
セットから流用しました。放熱筒の部分は他社
のレジン製パーツを使っています。

防盾と砲塔前面に付く防護カバーの固定基部
は、細かなモールドを巧くパーツ化しています。
しかし、砲塔に付く下半分の箇所が含まれてい
なかったの、プラ棒等を使って追加しました。
キットには、プラパーツと金属製パーツの両方
の砲身が付属。金属パーツの方は、厚みが不足
しているように感じたので、作例ではプラパ
ーツを使用。このパーツは砲口が開口処理され
ている上、ライフルリングも表現されています。

■塗装

塗装は、通常のオリーブドラブ単色塗装です。
ベースの塗装は、タミヤのアクリルカラーを使
用。XF58オリーブグリーンとXF62オリーブドラ
ブを等量混ぜ、XF2フラットホワイト、XF59デ
ザートイエロー、XF54ダークシーグレーで明度
を上げました。ちなみに、オリーブドラブ系で
塗られた車体は、褪色すると色調が徐々にグレ
ーに近くなっていきま
す。特に、ガサガサの
つや消して塗られた場

合は、その傾向が顕著です。

ベースの塗装が完了したら、ダークブラウン
(XF1フラットブラック+XF10フラットブラウ
ン)を薄く塗って、シャドウ吹きを実施。その
際、エアブラシを細く絞って、雨垂れの表現等
も付けておきます。乾燥後、エナメル系でウォ
ッシング、ドライブラシ等を施し、チッピング
を描き入れます。一旦、ツヤ消しクリアーで全
体をコートした後、光沢部分の塗装と、パステ
ルによる汚しを付けて仕上げています。

車長キューボラの視察口は、ツヤ消しクリ
アーの前にフラットブラックを塗ってから、最後
にツヤ消しグリーンのブルーで塗装しました。



請勿以任何形式轉載至商業大陸
嚴禁商業用途

AUFKLÄRUNGSPANZER 38(t) mit 2cm KwK38



装甲部隊のパスファインダー 38(t)シリーズの偵察車バージョン

38(t)偵察戦車 2cm KwK38搭載型

第二次大戦ドイツAFVと言えは、まずティーガー、パンター、IV号戦車が思い浮かぶが、実戦での活躍ぶりや派生車両の多さなど、ドイツ軍主力車両のひとつとして活用されたという点で言えばチェコ生まれの38(t)戦車も負けず劣らずドイツ軍を代表する戦車といえる。38(t)戦車シリーズはイタレリ製品を筆頭にいくつかキットが発売されているが、ドラゴンモデルが新たに38(t)シリーズの第1弾として発売したのは、2cm機関砲装備の偵察戦車だ。同車両は、II号L型ルックスの戦列化までの代用車として1944年2~3月に70両生産されている。角張った多面構成の車体にお馴染みの偵察車両用の六角形砲塔、いかにもドイツAFVらしいメカメカしいスタイルは模型映える。

■ドラゴンモデル1/35 38(t)偵察戦車"2cm KwK38搭載型"

■製作・文：徳永達矢

■Dragon Models 1/35 Aufklärungspanzer 38(t) mit 2cm KwK38

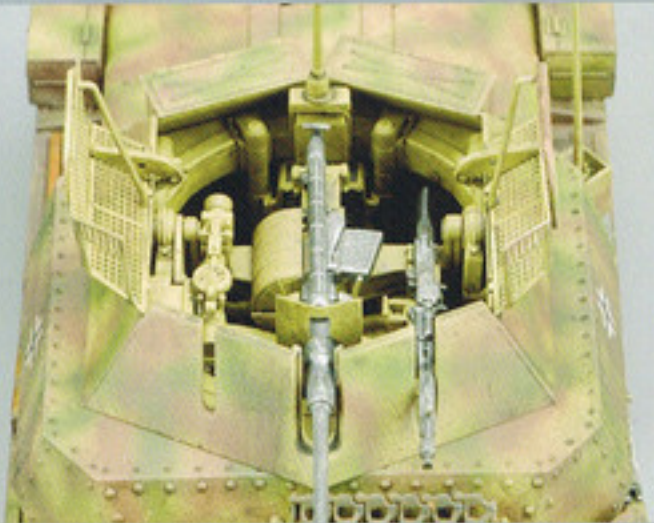
■Modeled & Text by TATSUYA TOKUNAGA



▼車体前面はほぼ38(t)戦車のままなので、派生型の一つだということがわかる。



請勿以任何形式轉載至商業大陸
嚴禁商業用途



▲ドイツ偵察戦車ではお馴染み、SdKfz 234/1やSdKfz 250/9などと同型の八角形砲塔。

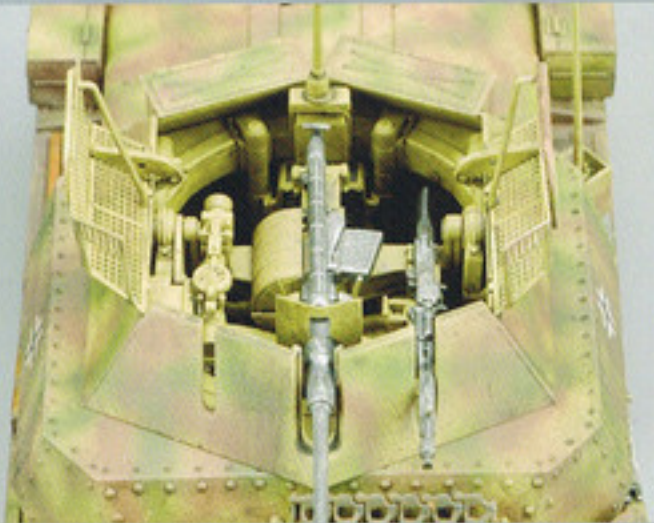
38(t)偵察戦車のキット製作に参考となる資料本は「月刊グランドパワー No. 114 2003/11」[PANZER TRACTS No. 11-2 Aufklärungspanzerwagen] [Allied Axis The Photo Journal of Second World War No. 17]、戦車マガジン別冊「38(t)・35(t)戦車戦場写真集」など。掲載されている実車写真はたいがい同じものが多いので、これらの書籍のうち1-2冊持っていれば十分でしょう。これから掲載写真で確認できる車両は、種類あ

ります。まず1つは工場からロールアウトしたばかりのダークイエロー単色塗りの車両。そして同じダークイエロー単色塗りですが足回りが泥だらけの車両、3つ目はがスクラップヤードに放置された3色迷彩が施されている車両です。

ドラゴンのキットはどうも、3つ目の車両をモデル化しているようです。その判断の根拠は、起動輪と誘導輪に古いタイプの軽め穴が開いていること、車体前部上面板に旧車両の機銃用照準器がついていることです。このことを前提に今回は作業を進めています。



請勿以任何形式轉載至商業大陸
嚴禁商業用途



▲ドイツ偵察戦車ではお馴染み、SdKfz 234/1やSdKfz 250/9などと同型の8角形砲塔。



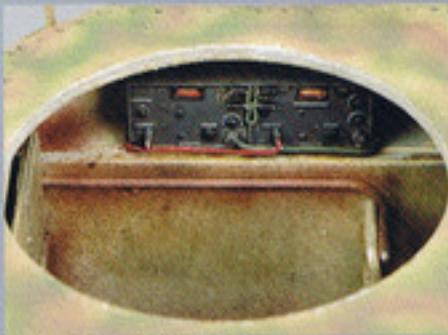
38(t)偵察戦車のキット製作に参考となる資料本は「月刊グランドパワー No.114 2003/11」[PANZER TRACTS No.11-2 Aufklärungspanzerwagen] [Allied Axis The Photo Journal of Second World War No.17]、戦車マガジン別冊「38(t)・35(t)戦車戦場写真集」など。掲載されている実車写真はたいがい同じものが多いので、これらの書籍のうち1-2冊持っていれば十分でしょう。これから掲載写真で確認できる車両は、種類あ

ります。まず1つは工場からロールアウトしたばかりのダークイエロー単色塗りの車両。そして同じダークイエロー単色塗りですが足回りが泥だらけの車両、3つ目はがスクラップヤードに放置された3色迷彩が施されている車両です。

ドラゴンのキットはどうも、3つ目の車両をモデル化しているようです。その判断の根拠は、起動輪と誘導輪に古いタイプの軽め穴が開いていること、車体前部上面板に旧車両の機銃用照準器がついていることです。このことを前提に今回は作業を進めています。



請勿以任何形式轉載至商業大陸
嚴禁商業用途



▲機室まわりを中心にインテリアもちゃんと再現できる。インテリアの塗装は車体上下接着前に行う。

▲機室内左壁面には無線機を配置。
▼右内壁にはKwK38用の弾薬箱が置かれている。

ン周辺を中心に再現されており、操縦席のペリスコープや計器板等もあって、作り応え十分です。より手を加えたい向きは、実車写真などを参考に、配線等を再現すれば、さらに見ごたえのある作品に仕上げられると思います。

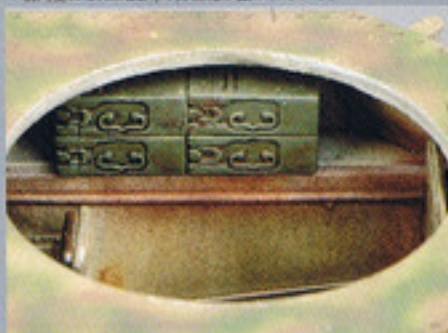
車体前部上面に付く機銃用照準器ですが、参考にした実車写真の車両にも取り付けられていたので、倒した状態に加工して付けました。定かではありませんが、38(t)偵察戦車専用で作られた車体と、旧38(t)の車体を加工して作られたものと並存したのでは？と思います。

さて、次は戦室です。スライド型を多用して側面のリベット表現もいい具合に仕上がっています。キットではグラブのある38(t)の車体前面板と新設の戦室前面板との接合部分に段差が生じています。しかし、実車写真を見ると、段差がないのが正しいようなので、筆者はこの部分をプラバンで作り直し、改めてリベットを付けました。表面仕上げと各装甲板との角出しに注意して作業すれば、それほど面倒な加工で

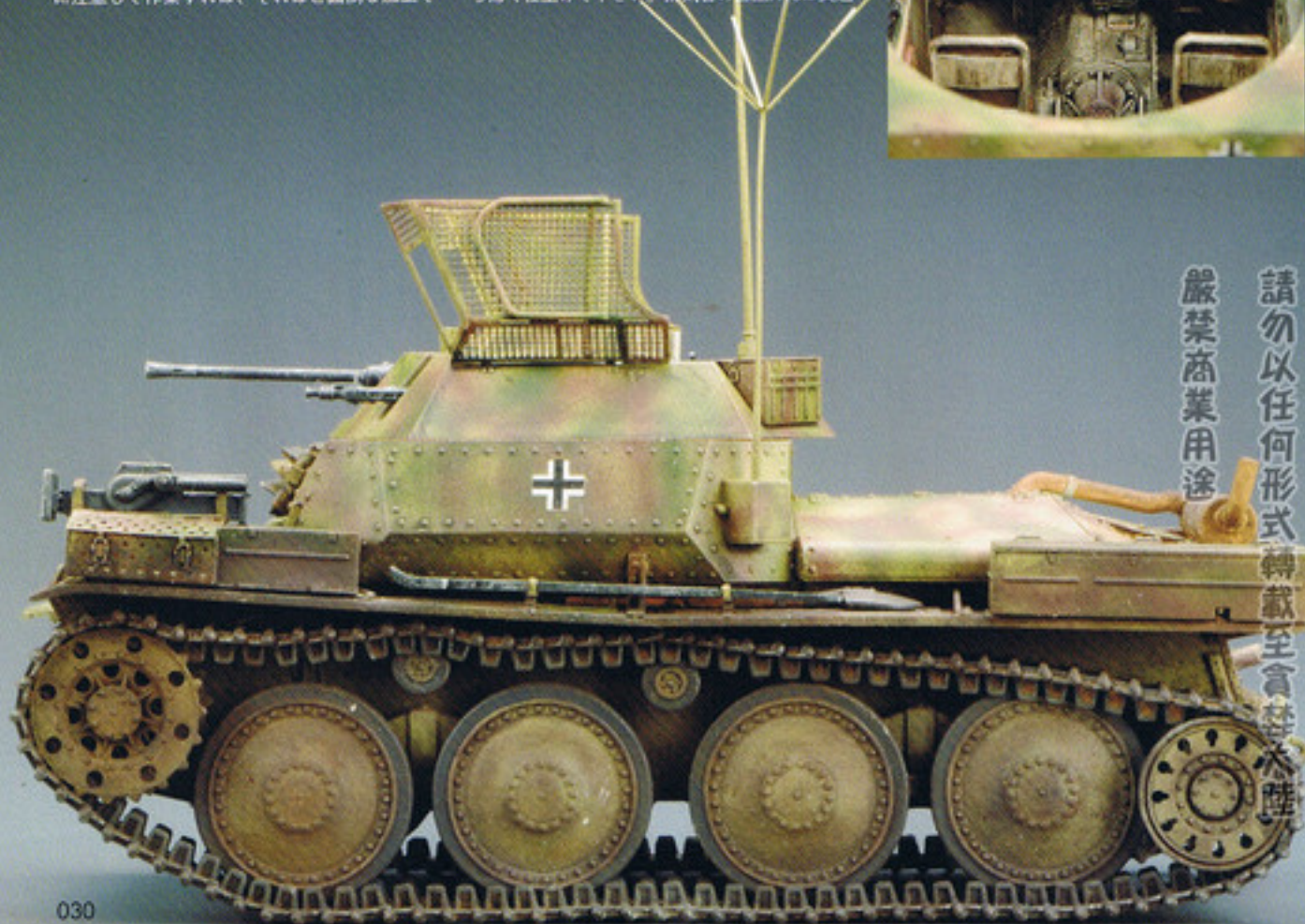
はありません。

戦室内部には、車体右側に20mm機関砲の弾薬箱4個を付けますが、向きに注意しましょう。また反対側の左側内部には、無線機を取り付けるようになっています。キットのままでは、なんとなく寂しいので、洋書WWP刊『Wireless for Wehrmacht in detail』(この本は、無線機を体系立てて解説)を参考に、配線などを加えました。戦室側面に取り付けるよう指示されているフエグラー支持架は戦室との取り付けリベットが省略されていますので、車体直面から切り取って2個ずつ移植しています。

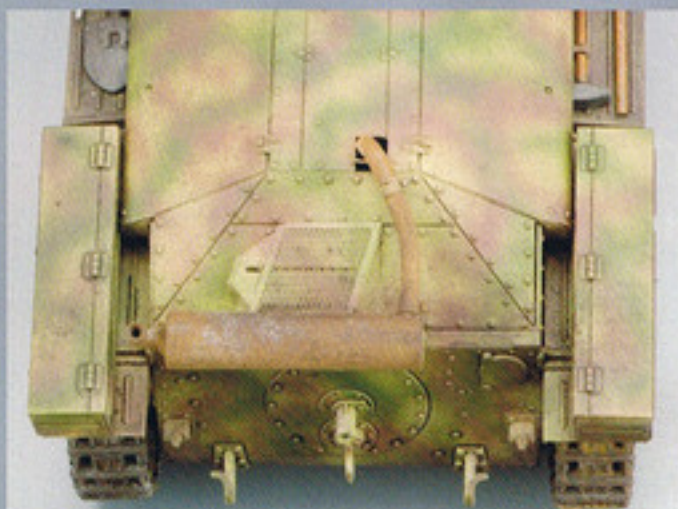
車体後部上面板は全体で3パーツに大きく分割されています。本来は38(t)ではエンジンパーツも用意されるところだったので、偵察車では違うタイプのエンジンに換えられているために、外側だけの再現となっています。排気管の取り出し口の開口には十分注意して、切り出した断面の仕上げも、途中写真のように裏側から薄く仕上げてください。排気管の部品H16は長過



▼戦室前面の視察バイザーやMGマウント枠の内側もちゃんと再現されている。



請勿以任何形式轉載至貪婪大陸
嚴禁商業用途



ぎるので、車体への取り付け架の部分で切り取って長さを調整して接合。離れ箱も左右の向きを間違わないように注意。

OVの車体への接合は一番最後に行う方が無難です。エッチングパーツもこの辺りで結構使いますがMB7 (MB8) も最後に接着するようにして下さい。なお、ノテックランプのエッチング製取り付け台座は切り取って使用。先に車体内部を塗装し、上下を接合、OVを固定しました。

砲塔の組み立てです。2cm KwK38はバチバチと陸軍に組み上がります。座席の間に取り付けられた無線機はコード等を追加、取っ手を金属線で作り換えました。無線機自体のアンテナの取り付けが指示されていないので、不要指定とな

っているB35を利用し、また基部も自作し取り付けました。スターアンテナの星状部分はタスカの製品を使っています。

砲塔のメッシュハッチは開閉選択式です。カバー取り付け時に使うパイプ枠も位置選択可能ですが、ヒンジの向きには気をつけましょう。片方を前方にたたみ、片方をたたまない状態にする場合はヒンジ部分の加工が必要です。

砲塔も内部を中心にあらかじめ塗装しました。内部をダークイエロー単色かオフホワイトにするかどうかで迷いましたが、戦場で目立たないと考えて、ダークイエローで塗っています。

■塗装

参考にした実車写真に従って3色迷彩に。全体

にGSIクレオスのサーフェイサーを吹いた後に、タミヤアクリルのダークイエローを吹き付けました。グリーンはフラットグリーンとダークグリーンを3:1で混ぜたものを細吹きし、その後レッドブラウンの細吹きで迷彩を施しています。続いて、ジャーマングレーで転輪のゴム部やOVの鉄部分、履帯を塗装。この時点でデカールを貼り付け、ツヤ消しスプレーで保護しておきます。

ウェザリングは油彩の黒、バートンシェンナを中心にウォッシングを行った後、足回りを中心にビグメントを墨の強い筆で塗り付け、履帯や転輪の擦れた部分には、銀ブラシを施しました。最後にもう一度ツヤ消しスプレーを振りかけて仕上げています。



▲転輪、サスペンションパーツなどは穴の径と軸の太さや長さにもバラつきがあるので、差し込み部分をカットするなどして調整。

▼予備履帯は連結ピンをブラ棒で追加した。



▲左側(上側)の足回りはパーツをそのまま組み込んだ状態。右側(下側)は転輪、ササアームなど調整した後の状態。

▼予備履帯止めは開をカットし、長さを調整。



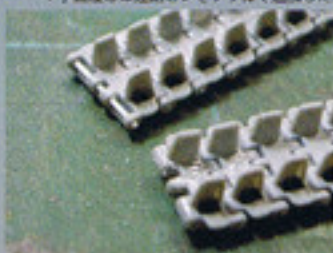
▲車体前面板と転輪室前面板との接合部分に段差が生じるので修整。まず0.5mmと0.3mmのプラバンを挟んで接着。

▼排気管の取り付け出し口は裏側を薄く削って装甲板の薄さを再現。こうした細かなリファインメントのポイント。



▲プラバンの接着剤が完全に乾いてから、斜めに削って整形。改めてリファインメントで修整完了。

▼無線機はコードや取っ手を金属材料を使って追加した。



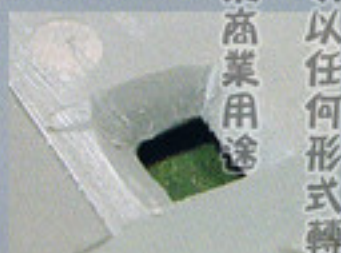
▼エッチング製のノテックライトの取り付け台座は若干オーバースケールになるので切り取って使用。



▼フェンダーは前方から3番目の支持架のところで曲げ、車体横から見るとわずかにVの字形になるように加工。



▼合わせて車体側面にあるフェンダー取り付け用のガイドモールドもVの字加工を施した。



▼無線機はコードや取っ手を金属材料を使って追加した。



請勿以任何形式轉載至貪婪大陸
嚴禁商業用途

WWIIドイツ偵察戦車の集大成 38D偵察戦車 2cm機関砲搭載型 AUFKLÄRER 38D mit 2cm Hängelafette

第二次大戦ドイツでは主力戦車や自走砲とともに偵察車両の開発も盛んに行われている。装輪式、装軌式ともに数多くの偵察車両が開発、生産または試作されており、装輪式偵察車の集大成となったのが、Sd.Kfz.234シリーズであり、装軌式偵察車の集大成となるはずだったのが、大戦末期、38Dシリーズ、III/V号戦車シリーズの後継車種として計画されていた38Dベースの車両である。38D偵察車は搭載武装の異なる数種のバリエーションが考案されていた。ニューコネクションからレジン製キットの38Dシリーズが発売されているが、今回はドラゴンモデルの38D偵察車に合わせ、同じ2cm機関砲塔を搭載したタイプを選んで製作した。



- ニューコネクション1/35
38D偵察戦車 2cm機関砲搭載型
- 製作・文：石井優二
- 協力：M.S.モデルズ
- New Connection Models 1/35
Aufklärer 38D mit 2cm Hängelafette
- Modeled & Text by YUJI ISHII



ニューコネクションの38D偵察戦車2cm砲塔型(品番NC35237)は、レジン製パーツを主体にアペールのエッチングパーツとフリウルモデルのメタル製ヘッファー用履帯がセットされたフルキットになっています。

■製作

組み立ては説明書に従って進めました。車体と足回り、砲塔内の主要なパーツはレジン製なので、切り出しやヤスリがけをしっかりと行いま

す。各パーツの溝口部分は割と小さめなので作業そのものは楽な方です。歪みはほとんどありませんが、ほんのわずかに気泡があるので、大きめの穴はレジンの削りカスを詰めて隙間を流して硬め、小さなものはパテで埋めました。

各パーツの切り出しと整形が終わったら、仮組みを一度行いパーツの合いなどに問題がないかチェックしながら、隙間を使って組み立てて行きました。転輪取り付け用シャフトは付属のガイドを使って長さを調節。足回りのサスペンシ

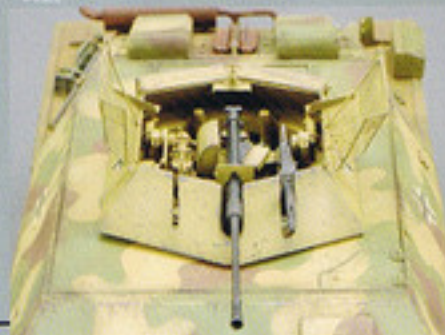
ョンアームを固定する際はすべての転輪が接地しているかをチェックしましょう。砲塔には取り付けガイド用の凹みが付いていますが、穴は開いていません。ガイドに沿って取り付け穴を開ける時は、表のホイールハブまで穿たないように注意が必要です。

砲塔はアペール製のエッチングを参考に製作します。砲架と主砲のKwK38の取り付けは歪みが出ないように注意が必要です。KwK38砲身はメタル製パーツですが、副武装のMG42はバー

▼車体はヘッファーも認識し履帯装甲を取り入れている。

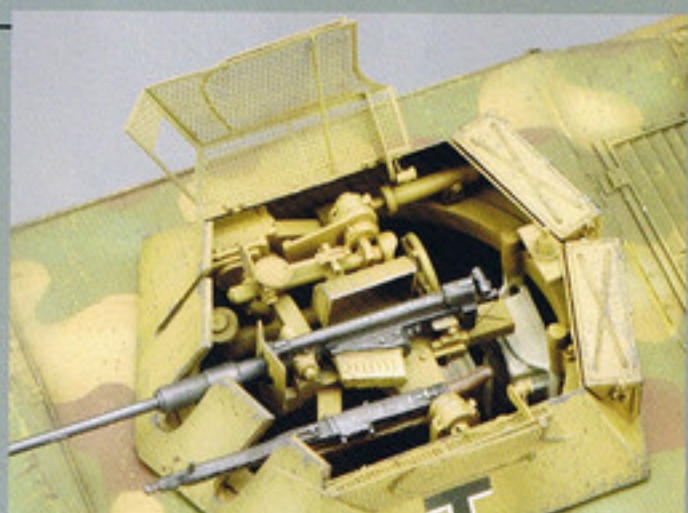
▼砲塔は、Sd.Kfz.234IやSd.Kfz.250B、38D偵察戦車などと同型。

▼履帯はヘッファーと同じもの。キットには、フリウルのメタル製ヘッファー用履帯が付属している。

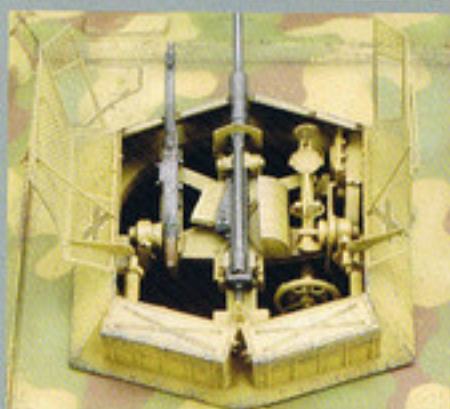
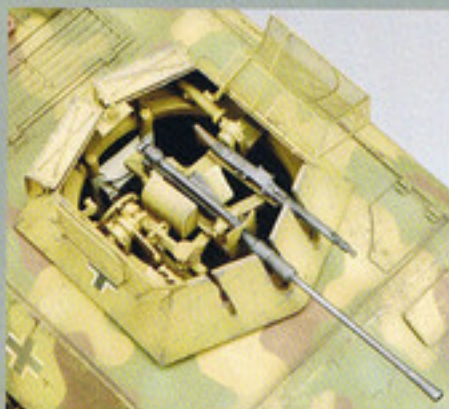




▲砲塔上部のメッシュは開閉可能。



◀キットは砲塔内部のパーツも用意されている。ただし、MG42のパーツは入っていないので、他から使用。
▼砲塔後部のゲベックカステンもエッチングパーツで再現。



ツが入っていません。作例はドラゴンモデルのパーツを流用しました。

砲塔の防盾と上面のネットは強度の面からハンダ付けで結んでいます。エッチング製の細がいパーツと後部のゲベックカステンは銅板で固定しました。ネット部分は強度が弱いので組み立て後の取り扱いには注意が必要です。

履帯はフリウルのメタル製なので、出来は申し分ありませんが、取り付け時に転輪を

壊さないように。

■塗装

塗装は実車が完成していないので、大戦末期のヘッツァーを参考にしました。大戦末期特有のハードエッジスキームと呼ばれる塗り分けが

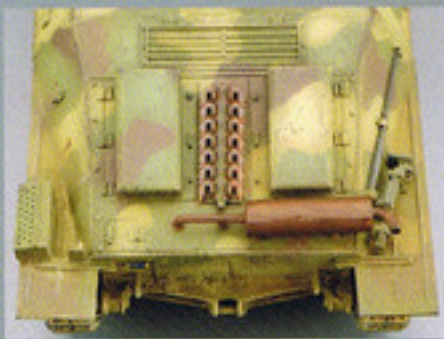
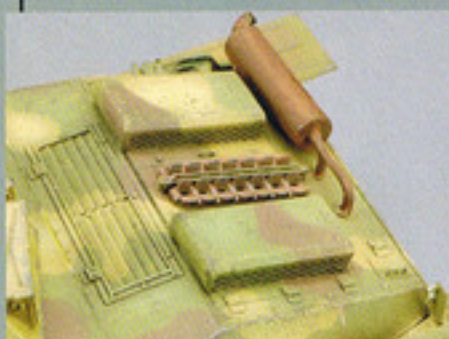
はっきりした迷彩は、ドゥンケルゲルプをベースに塗った後、オリーブグリーン、ロートブラウンの順で塗装しました。迷彩の塗り分けはマスキングテープを使っています。

砲塔はドゥンケルゲルプの単色としました。迷彩パターンのせいかオモチャっぽく見えてしまうので、チッピングやスクラッチは少し強調しています。逆にエイジングは大戦末期車両なので軽めに、さらに市街地戦闘をイメージしてホコリっぽく仕上げています。

厳禁商業用途

請勿以任何形式轉載至貪婪大陸

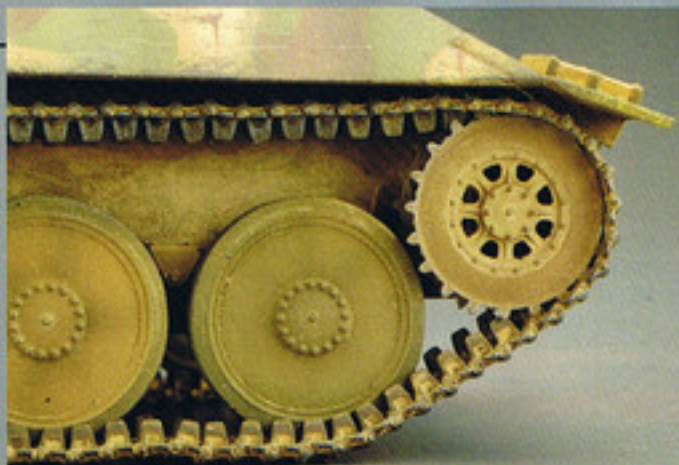




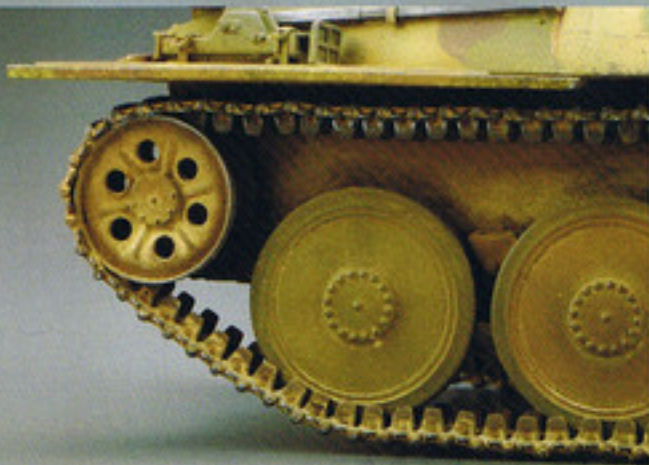
▲機室と上置パネルのデザイン、レイアウトはヘッファードとかなり異なっている。



請勿以任何形式轉載至貪婪大陸
嚴禁商業用途



▲此駆動輪はヘッファー駆動車と同型のもを装着。



▲大直径駆動輪はヘッファーと似ているが別物。誘導輪もヘッファー・シュターム型に似た独自の6次リブ付きタイプ。



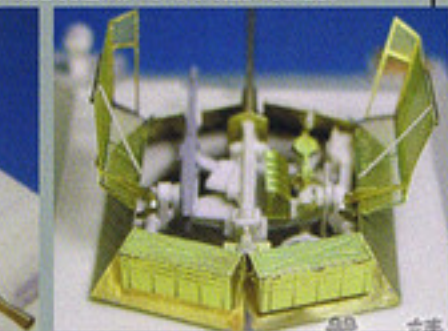
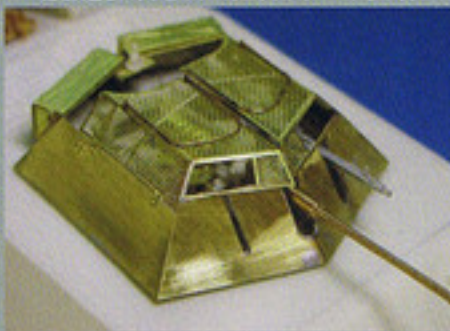
▼ジャッキやパールも追加。工具などの取り付け位置はヘッファーを参考にした。



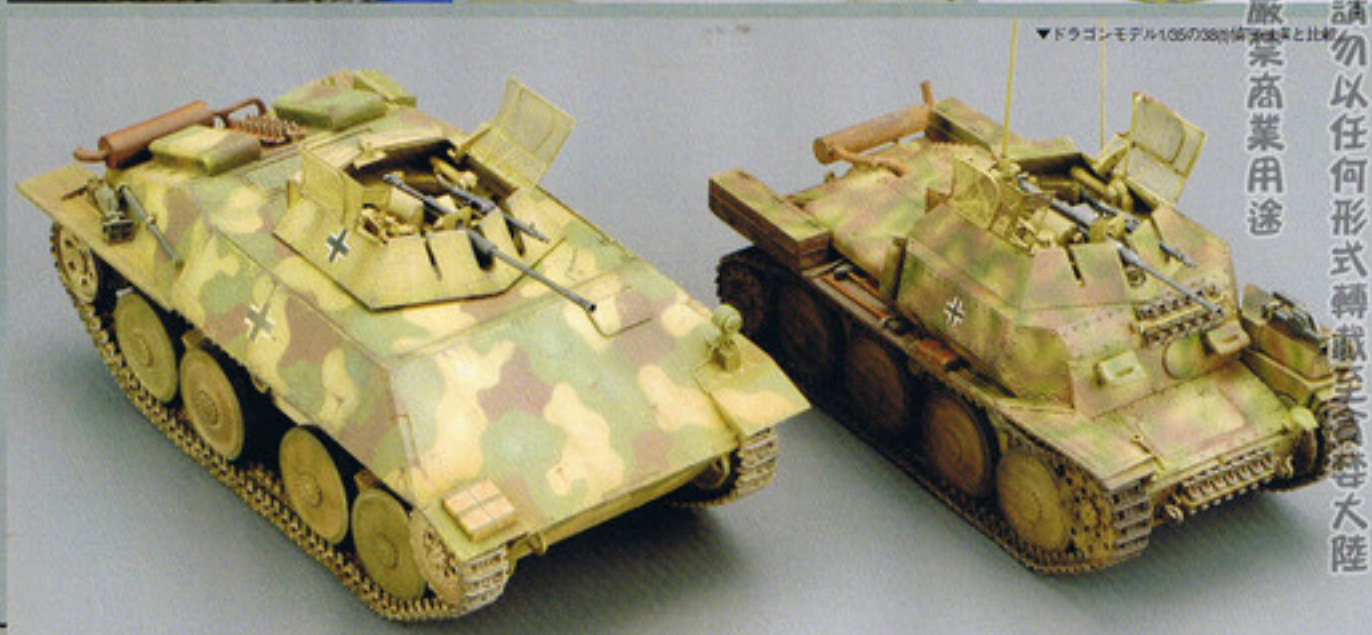
▲フロントのマッドガードには、ボッシュライトやジャッキを装着。



▲工具・装備類パーツはキットにセットされているので、他のキットからパーツを流用。



▼砲塔外壁とメッシュはすべてエッチングパーツなので、パーツの接合を慎重に行いたい。また実用にも要注意。



▼ドラゴンモデル105の38mm砲塔と比較

請勿以任何形式轉載至商業大陸
嚴禁商業用途



■ホビーボス1/35
スウェーデン主力戦車Strv.122
■製作・文：七星 明
■Hobby Boss 1/35
Swedish Strv.122 Tank
■Modeled & Text by NEI NANAJOSEHI

北欧の守護神 ODEN

スウェーデン主力戦車Strv.122

現在世界最強の戦車とは？ という問いには、M1A2エイブラムスあるいはレオパルト2A6と意見が分かれるかも知れない。しかし、最優秀MBTとなるとレオパルト2シリーズではないだろうか。それは採用国の多さが実証しているように思える。レオ2を採用している国はドイツ、オランダ、スイス、スペイン、スウェーデン、オーストリア、ノルウェー、デンマーク、フィンランド、ギリシア、ポーランド、ルーマニア。さらにシンガポールとカナダでも採用が予定されている。一口にレオパルト2といっても各国それぞれ仕様が異なっている。ドイツ軍A5/A6とともに現用AFVファンの間で人気が高いのがスウェーデン軍のStrv.122である。ホビーボスはドイツ軍仕様の前にデンマーク軍仕様とともにStrv.122をリリース。今回はStrv.122を取り上げたが、車体の工作はデンマーク軍仕様も同じだ。



Swedish STRIDSVAGEN122

スウェーデンといえば永世中立国で、その後ろ盾になっているのが強力な軍事力です。優秀な軍事メーカーを有し、戦闘機のビゲンやグリペン、戦車のStrv.103などユニークで優れた自国兵器が中心に装備されていましたが、新たな主力戦車はコンペの結果、レオパルト2の改良型TVM2が選ばれ、Strv.122の制式名で採用されました。

Strv.122は、レオパルト2A5の防衛力向上型というべきもので、現在、世界最高レベルの防衛力を誇るレオパルト2A5に、さらに装甲を追加してしまうという、日本人には考えられないようなことをしてしまっています。

そのStrv.122を、今回インジェクションキット化したのがホビーボスです。実車のベースとなったレオパルト2A5はタミヤの傑作キットがありますが、レオ2A5とは相違点が多いので、現用AFVファンには歓迎される一品でしょう。

素組みでStrv.122の雰囲気味わうのも良いのですが、作例は気になる部分を修整したりディテールアップしました。

■製作

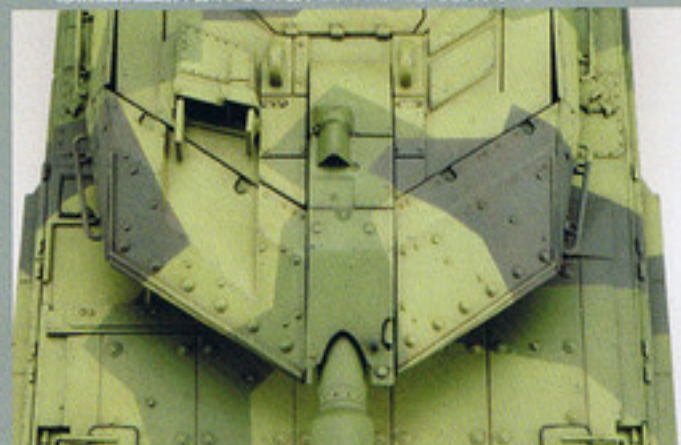
細部のディテールアップには、主にライオンロアのレオパルトA5用（品番LE35010）のエッチングパーツを使用しています。まずは、足周

りから組み上げます。転輪基部は接着箇所が少々甘いので、転輪も同時に装着してしまい、水平な場所で調節しながら乾燥させ、転輪が綺麗に並ぶようにしておきます。7つの転輪は、等間隔ではないので注意して下さい。

履帯はAFVクラブの連結式「LEOPARD II TRACKS」（品番AF35S09）を使用。この履帯を使う場合は、起動輪に0.5mm程度のブラバンを挟んで、起動輪の幅を広げる必要があります。

キットの最大の難関は、サイドスカートの前部部分です。ここは、キットパーツが前後で約1mm、上下で最大1.2mm程小さくなっています。キットでは、上部がサイドスカートの前方のラ

▼砲塔前面と側面前半部のショット装甲はドイツ軍のASV6と同じもの。



請物以任何形式轉載至商業用途



インと同一になっていますが、実際にはサイドスカート上端とのライン上となります。プラバンで大きさを調節後、面出しをしながら整形しモールドを彫り直します。また、車体側のパーツK12、13は実車にはない段差がありますから、これもプラバンで埋めて処理しました。

ライトガードはエッチングパーツで再現されていますが、さすがに薄く感じたため、0.5mm径のブラ棒で作りました。左右の警告灯のガードも同様に作成しています。前照灯のレンズは、モデラーズの1/24ライトレンズセットに含まれている角形の透明パーツを大きさに合わせて加工し、塗装後に装着しています。

車体右後方には、レオバルト2A6EXに見られるAPU（補助動力装置）の張り出した部分がパーツ化されていますが、参考とした実車写真には装備例は見つかりませんでした（デンマーク軍仕様A5DKは装備）。これはStrv.122の改良型の

Strv.122Mに見られるものかもしれません。気になる人は余剰パーツに含まれている通常のタイプのパーツの使用をおすすめします。

砲塔は、そのまま組むと後部箇所を中心に車体との干渉部分が発生しますので、砲塔リング部分にプラバンでスペーサーを付けて調節しておきます。

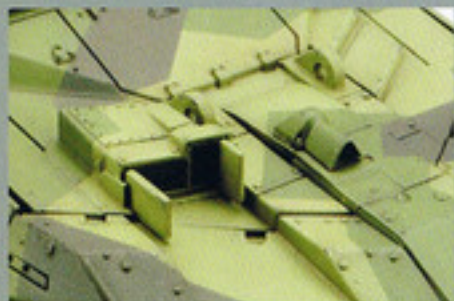
ショット装甲に繋がる側面の追加装甲は、接着位置が1mm程下になっています。ここは、砲塔パーツ側の接着基部を削り取って正しい位置に修正。砲塔側面の固定用モールドは、一旦切り取った後、追加装甲を接着してから付け直します。

砲塔後部の機具箱(?)は、構成パーツの合いが良くありません。側面の窪みの部分は、砲塔側面のモールドの延長上となっていますから、それを考慮して整形し、上面部分はプラバン等で箱の蓋のラインを強調しました。

モールドされているペリスコープは、開口部の形状が歪んでおり、付属の透明板は使用せずにプラバン、パテで口を塞ぎます。表面を整形してから、0.3mm角のブラ棒で枠を作成。塗装後に、薄い透明プラバンを貼り付けました。

車長ハッチ周囲にあるペリスコープは、思いっきり省略されています。ここはかなり目立つ箇所ですから、プラバンで新たに作成しました。車長ハッチ後方の視察サイトも、結構省略が目立ちます。前面部の細かなディテールは、ライオンロアのエッチングパーツを使用。側後面の追加装甲等はプラバン等で作成し、ディテールアップしています。

砲身は、キットのパーツの小さな穴のモールドが等間隔となっていないので、タミヤのレオバルト2A6で全制となるA5用の砲身を流用。タミヤの砲身は、根元の接着箇所が特徴的な形状となっていますが、ホビーボスのパーツも同様な



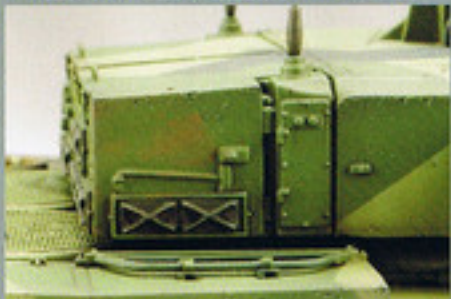
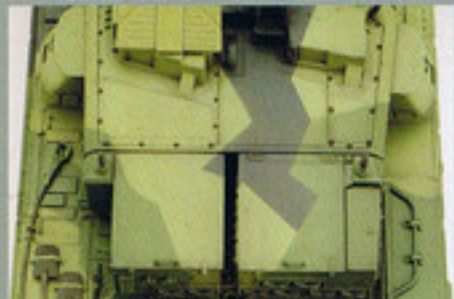
▲トップアタック対策のために砲塔上面の乗員スペース部分に追加装甲が装着されている。



▼収納ボックスの両面には雪上走行用グロウサーを装着。



▲スモークディスチャージャーはドイツのディール社製ではなく、フランスGAT社製のGALIXを装着。



請勿以任何形式轉載本頁內容
嚴禁商業用途



形ですから、問題なく装着可能です。

ハッチ後方のパーツG1はハッチ部分をカバーするシートカバーのようです。キットには車長、装填手ハッチ両方に用意されていますが、参考とした車両には装填手側にしか有りませんでしたので、作例でもそのようにしています。

■塗装

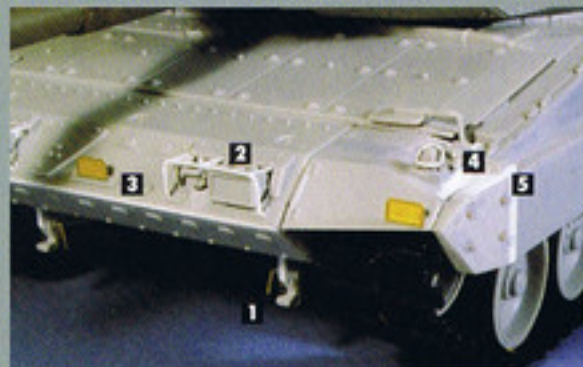
塗装はスウェーデン軍特有の境界がハッキリとした直線的な迷彩です。マスキングして塗装しましたが、一見するとこのStrv.122は平面的な

構成でマスキングし易いのですが、細かな凹凸が多く、マスキング不良によるリタッチ作業を、何度か繰り返すこととなりました。なお、キットにはカラーの5面図が付属しており、大変助かります。

塗料はタミヤのアクリルカラーを使用。基本色のライトグリーンは、XF5フラットグリーン、XF58オリーブグリーン、XF2フラットホワイトを1:1:3程度に少量のX28パークグリーンを混ぜたもの。濃いグリーンとブラックは、XF67NATOグリーン、XF69NATOブラックをベ

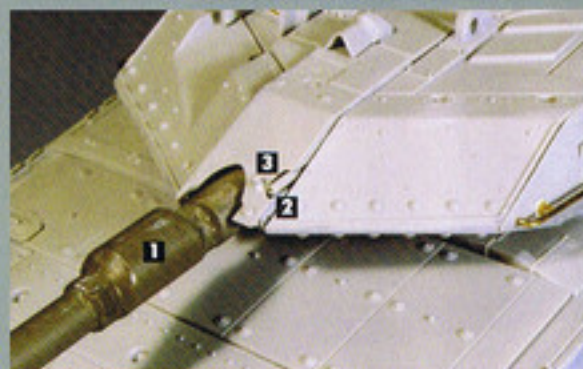
ースに、バフ、ホワイト等で明度を上げた色で塗装しました。

迷彩塗装が完成したら、薄くシャドー吹きを実施。その後、エナメル系でウォッシング、ドライブラシ、チッピング等を行い、一旦ツヤ消しクリアーでコートした後、シルバー等の光沢部分の塗装、パステルによる汚しを行って仕上げました。車体後部の黄橙色のラインは、付属のデカールは使わずに塗装で処理。ちなみに、このラインは実車では1本のタイプや、無い車両も存在します。



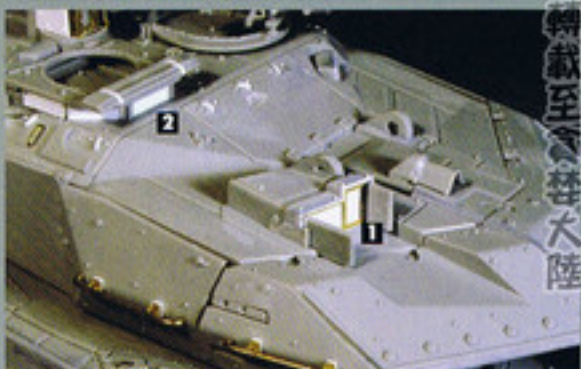
◀1: 全制パーツで牽引フックを追加。2: ライトガードを0.5mmブラ棒で作。3: 前照灯の形状をブラ棒で修整。4: この部分の凹部をブラ棒で削いで修整。5: モデルカステンのリベットを装着。

▶1: 最前部のサイドスカートにブラ棒を差し込み大きさを修整。2: 警告灯のガードを0.5mmブラ棒で作。3: スライドハッチ後方の車体パーツは薄いのでブラ棒で1mm厚上げし、円柱状のモールドはブラ棒で作。4: ベリスコープは開口部をブラ棒で埋め、枠をブラ棒で作製。



◀1: 砲身はタミヤのレオ2A6の全制パーツを使用。2: 同軸機銃口を開口。3: 機銃口の柱はこの位置に。

▶1: 同車サイト先端はブラ棒を貼って整形した。2: 車長ハッチのベリスコープにブラ棒でベリスコープを追加。



請勿以任回形式轉載至各大大陸
嚴禁商業用途



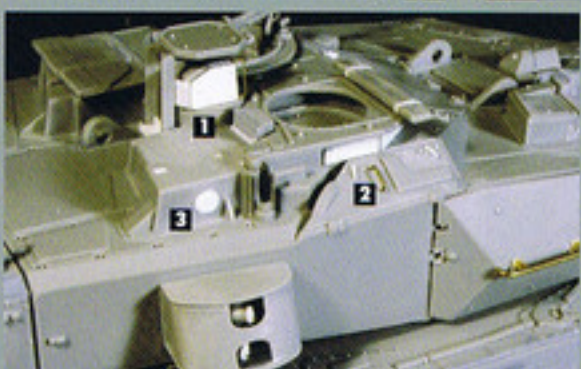
▶1:砲塔上面追加装甲材のモールドが実車と異なっていたため、モールドを削り取り新たにブラパンで再現。2:車長用パノラマサイトの追加装甲板をブラパンで作製。3:スモークディスチャージャーの蓋をブロンズで再現。



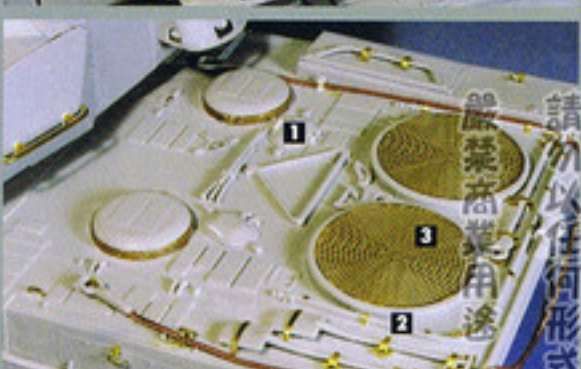
▶1:取っ手を追加。2:スモークディスチャージャーの蓋に付く脱脂防止チェーンはワイヤーに変更されているので、0.2mm真ちゅう線で作成。



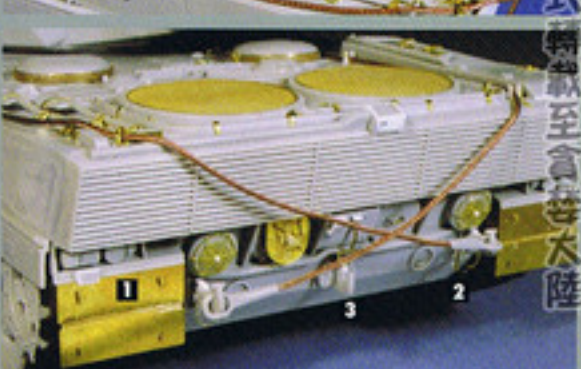
▶1:側面の追加装甲板は取り付け基部ごと位置を上げ移動。2:手すりには0.5mm真ちゅう線とエッチングで作製。3:ブラパンで溶接跡を再現。4:側面の反射板はホビーベースのプラストライプを使用。



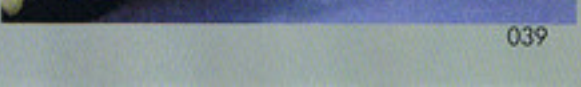
▶1:ディテールをブラパンで追加。2:小取っ手を真ちゅう線で自作。3:車長用ハッチ後方のハッチ収納部分の横に円状のモールドを追加。



▶1:グロースーの固定枠をブラパンで作製。2:砲塔後部の脚はブラパンでパーツの合いを修整。3:アンテナ基部を作製。4:車長用サイトの上部装甲の支持架をブラパンで作成した。



▶1:取っ手のモールドはブラパンで作製。2:OVMの留め具はライオンロアのエッチングパーツを使用。3:エンジンメッシュはキット付属のエッチング。



▶1:牽引ワイヤーはカラヤの0.9mm径の金属ワイヤーに変更。2:後方カメラのディテールをブラパンで作製。3:ブラパンでディテールを修整。

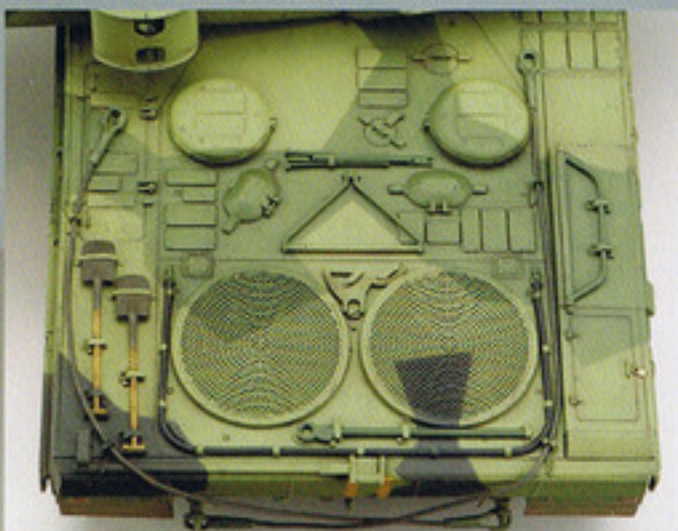
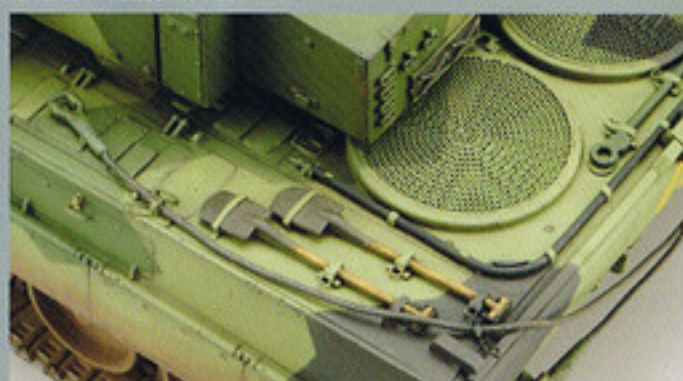
▶1:反射板をブラパンで追加。2:牽引フックに0.6mmの真ちゅう線を追加。3:ピントルフック上方のツメをブラパンで再現。

請め以任何形式轉載至貪婪大陸
嚴禁商業用途



▲車体前部上面にもトップアタック対策の増設装甲板を装着。

▼車体後部右の張り出しはAPU（補助動力装置）の収納部。90v122では未装備だが、デンマーク軍の2ASDKGには装備されている。



請勿以任何形式轉載至商業大陸
嚴禁商業用途

Volkswagen Type 82 & Krupp Protze in Desert

スパニッシュ・モデラーは
タミヤ1/48ソフトスキンでビネットを楽しむ！
サンドカラーのVW タイプ82 & クルップ・プロツツェ

スパニッシュ・モデラーのL.ロドリゲス氏は今月もお気に入りのタミヤ1/48MMキットをモデリング。VWタイプ82とクルップ・プロツツェを使って戦場のワンシーンをビネットで再現。リアルに仕上げるのが難しいサンドカラー単色塗装も同氏の手に掛かるとご覧のとおり。戦車などよりソフトスキンで、一般人にも理解可能(笑)なアイテムなので玄関や卓上に飾っておくとオシャレかもね。



■1/48 フォルクスワーゲン

このちっぽけな“甲虫”は、他の1/48MMキット同様に素晴らしい出来です。AFVモデラーのみならず、飛行機モデラーにもおすすめです。キットはパーツの仕上がりは良く、またパーツ

合いも問題ないので数時間足らずで組み立てることができます。

塗装は、まずベースカラーとしてデザートイエローを全体にエアブラシしました。さらにベースカラーにホワイトを少量加え、その色をボディのハイライト部分に吹いていきボディの丸



VOLKSWAGEN TYPE 82E STAFF CAR



6x4 TRUCK KRUPP PROTZE



GERMAN AIRCRAFT POWER SUPPLY UNIT & KETTENTRAKTOR

- タミヤ1/48 フォルクスワーゲン タイプ82Eスタッフカー
- タミヤ1/48 クルップ・プロツツェ6輪駆動トラック
- タミヤ1/48 ドイツ航空機用電源車 ケッテンクラート車引セット
- 製作・文：ルシアノ・ロドリゲス
- Tamiya 1/48 Volkswagen Type 82E Staff Car
- Tamiya 1/48 6x4 Truck Krupp Protze (Kfz.70)
- Tamiya 1/48 German Aircraft Power Supply Unit & Kettentraktor
- Modeled & Text by Luciano Rodriguez

みを強調させます。

ナンバープレートに車両ナンバーを、左ドアにサービスチャートのデカールを定着剤や軟化剤を使用しながら貼り付けました。ヴァレホアクリルカラーで細部を塗装。タイヤはダークグレイ、テールライトはレッド、排気管はレッドブラウン、シートはフィールドグレイで塗っています。

希釈したフラットブラックでディテールや各ライン部分をウォッシング。レッドブラウンとフラットブラックを混ぜた色でドライブラシを



請勿以任何形式轉載至商業大陸
嚴禁商業用途



掛けました。車体の各部、とくにバンパーなどにチッピングを描き込んでいきます。さらにスクラッチも適度に表現しています。

Mgプロダクションのピグメントを使って、ホコリや砂汚れを表現。最後に希釈したアクリル塗料のレッドブラウンとフラットブラックを混ぜた色でボディやホイールハブをウェザリング。タイヤは希釈したタミヤアクリルのパフでウェッシングしました。

■クルップ・プロツェ

クルップ・プロツェはなかなかキュートなスタイルをしており私のお気に入りのひとつです。今回はタミヤの1/48 クルップ・プロツェを北アフリカ戦線のドイツ空軍所属車としました。北アフリカに展開したドイツ空軍には、1ダースほどの同車が供給されています。それら車両は、受領時にはバンツァーグレーカ冬期白色



迷彩が施された状態だったようです。後に車地においてサンドカラーに塗り直されました。

タミヤの1/48 クルップ・プロツェは同社の1/35キットのスケールダウンのような印象で全体的に良くできています。しかし、ボンネットのタイダウンフックなど何か所か細部が省略されています。タイダウンフックやOVM固定具のランプなど気になった部分のみプラ材を使って追加作業しました。

組み立ては簡単でパーツも小さなものに至るまでピッタリとフィットします。1/48スケールの場合、私はできるかぎりキット箱の中のパーツだけで作るように心がけています。リアルさを追求するならディテールアップよりも念入りなペイントワークが効果的だからと思っているか

請ひ以外何形式でも複製禁止

らです。

ダイキャストシャーシを使っているの、塗装前にプライマーを塗りました。その後、まず下地色としてダークカラーを全体に吹いています。基本色としてデザートイエローをエアブラシ。今回のような小サイズの模型の場合は、何段階ものハイライト、シェイド塗装は必要ありません。

その後、細筆を使ってタイヤ、シート、排気管、OVMなどの細部を塗装し、乾燥後、ダークカラーでディテールやアウトラインをウォッシング、さらにウェザリング、チッピング&スクラッチを施しました。



▼リアルな塗装が施されたVWタイプ82CのDAK仕様。基本色はデザートイエローで塗装。

ヴァレホ・アクリルカラーの異なる色をエアブラシして全体の色調に変化を付けている。足回りの汚しなどにはMgピグメントを使用。▼



▲ウィンドウから内部が見えるので、インテリアも丁寧に塗装。
▲パーツの寄せ集めで作った兵士を各アングルからチェック。
▶ジオラマ設定に合わせ自作した撮影カメラ。



▲パーツ表面、パネリングラインなどにペーパーを貼付けて整形。
▼バンパー部分の凹部などは細い平ヤスリを使うと便利。



▲ウィンドウの丸まった角は細いヤスリで整形。
▼キットにはハブが異なる2種のタイヤが付属。作例は、キューベルワーゲンの砂地用バルーンタイヤ(右側)を採用。



▲空んだ個所のペーパーがけは、ペーパーのエッジ部分に使用。
▼キットはストレート組みで十分な出来。



請の以任何形式
商業用途
至貪婪大陸



嚴禁商業用途
任何形式轉載至有違大陸



▲ボンネットのタイダウンフックやOVMのクランプなどを一部ディテールアップしている。

▼改造製作したDAK兵士。



▲「ドイツ航空機用電源車 ケーディングカート牽引セット」の電源車とドラム缶、消火器、工具箱を使用。こうしたアクセサリ、小物類が充実しているのも1/48MMのよいところ。
▼カーゴスペースには「ドイツ航空機用電源車 ケーディングカート牽引セット」や「ジェリカンセット」のパーツなどを載せた。▼電源車は牽引している状態にセット。



請勿以任何形式轉載
至貪婪大陸



▲まずダイキャスト製シャーシにプライマーを塗り、基本色より濃い塗料を使って下地色を塗る。



▲デザートイエローの基本色をエアブラシで全体に色付けしていく。



▲タイヤ、シート、排気管、OVMなどの細部をペインティング。



▲ディテールやアウトラインを希釈したダークカラーでウォッシングする。



▲ウェザリング、チッピング、スクラッチを施していく。



▲金属製のキャビン、車体、木製の荷台部分の質感の差に気を付けながら、再度、ウェザリングを行い完成させる。



厳禁商業用途

請勿以任何形式轉載至有線大陸

BASTION CENTRUM ATRAKCJI WOJSKOWYCH

珍しいポーランド軍の軍用車両を間近に見れるおすすめスポット。写真は撮り放題！ 車両に乗り放題！ さらになんと有料でT-55などに乗車走行可能!! 施設規模は小さいが、ミリタリーファンが楽しめるアトラクションが多数用意されている。

■レポート・写真：ブルツェミスラウ・スクルスキ ■Photos & Text by Przemyslaw Skulski

本誌の当コーナーにおいてバルト海に面したポーランドの観光都市コウォブジェク(Kolobrzeg)にあるポーランド軍博物館を紹介したことがありますが、コウォブジェクのミリタリー博物館はそれだけではありません。すぐ近くにBastion-Centrum Atrakcji Wojskowychと呼ばれるミリタリー・アトラクション・センターがあります。正確に言うといわゆる博物館という施設ではなく、ポーランド軍が所有し運営している施設です。ここウリはポーランド軍の戦車やソフツースキンなどの軍用車両を撮影できるばかりか、それらに乗ることができること

です。どんな車両があるのかというと、T-55AD(指揮戦車型)、BRDM-2、9K31(NATOコード名サガー-AAMを搭載したBRDM)、SA-6クブ、R-3(SKOT兵員輸送車ベースの指揮通信車)、PTS水陸両用輸送車、UAZ-469スタッフカー、ZiL-157トラック、Star 66トラック、ツィグムント(ウラル・トラックをベースとした砲兵観測誘導車、ソ連名“ワツァ”)などです。車両以外にも120mm迫撃砲、フィールドキッチン、野戦パン焼車などを見ることが出来ます。さらにミリタリーキッチンで調理された食事を

ミリタリー・アトラクション・センター

■所在地
Bastion-Centrum Atrakcji Wojskowych
ul.Koszalińska
78-100 Kolobrzeg
Poland
■開館日・時間など
9月~6月 月~土 10:00~18:00
7月~8月 毎日 10:00~20:00
■料金(外国人用)
入場料 約20US\$
T-55乗車(1人) 料金 20US\$
■問い合わせ、ホームページなど
Tel +48 506 285 760
または +48 506 751 055
www.bastion-panzer.com.pl
biuro@bastion-panzer.com.pl

取ることまでできます。またミリタリーファンにはこのショップもおすすめです。ポーランド軍をはじめ、ソ連・ロシア軍、東ドイツ軍、スウェーデン軍、アメリカ軍などの軍装品、ユニフォーム、ナイフ、ヘルメット、ガスマスクなどを購入することができます。



▲ポーランド軍のT-55AD指揮戦車。有料で乗車走行可能!! う、うう乗って〜。



▼さらにダークグリーン塗装の車両R-3もある。



▲SKOT兵員輸送車ベースとした指揮通信車のR-3。



▼SA-6対空ミサイル車。ミサイルは未装備(ダミーを載せている)。





▲この変わった車両はPT91水陸両用兵員輸送車。
▼NATOコード名サガー対空ミサイルを搭載したBROMバリエーションの一つ、9K31。



▲東欧の代表的な両輪装甲車の一つ、BROM-2。



▶ウラル・トラックをベースとした兵員輸送両輪車「ツィグムント」の通称名称は「ワジッ」。



▼ポーランド製軍用トラック、Star-66。1960年代末から使用が開始され、現在も2線部隊で使用されている。



▲ZIS-157トラックのバリエーションの1台。



▼UAZ-469スタッフカー。



▼ポーランド製オリジナルの野戦パン焼き車。



▼こちらもポーランド・オリジナルの「ブルドーク」。



請勿以任何形式轉載至商業用途

おすすめ新刊・洋書ご紹介

今月はAIRモノが大収穫！ 人気のWWIIドイツ機本に混じって、ボーイングXF-8Bの大判ハードカバーというのまであるぞ!!

LUFTWAFFE COLOURS STUKA Vol.1 LUFTWAFFE Ju87 DIVE-BOMBER UNITS 1939-1941

■Classic刊 ■英語 96ページ
■5660円(税込み) ■問い合わせ: 西山洋書



ドイツ機ファンに人気の「ルフトヴァッフェ・カラーズ」に新シリーズ「スツーカー」が登場。著者として知られた有名機ユニークスJu87急降下爆撃機の活躍と戦史を多数の未公開写真とカラー塗装図で解説。Vol.1ではJu87の開発から初陣のスペイン内戦、そして第二次大戦開始～1941年の北アフリカ、バルカン半島、バルバロッサ作戦くらいまでを取り上げている。カラー図は14機種、実機写真の1冊には鮮明なカラー写真も含まれている。

Vom Original zum Modell Messerschmitt Me262 Dornier Do217

■Bernard & Graefe刊 ■ドイツ語 Me262 64ページ/Do217 96ページ
■3255円(税込み) ■問い合わせ: 西山洋書



徳B&G社のドイツ機の資料集シリーズの最新刊は、メッサーシュミットMe262とドルニエDo217。どちらも機体の開発に始まり、機体構造・性能、実戦での活躍、各バリエーションにわたって解説されている。戦場写真 (Me262はカラー写真数点含む) やディテールを捉えた当時の写真、コクピット、エンジン、機体各内部などの構造詳細図、バリエーション図、カラー塗装図などが多数掲載されており、模型製作の資料として役立つはずだ。

Post WWII Combat Aircraft Series No.13 USAF AARDVARKS

■AirDOC刊 ■ドイツ語/英語 72ページ
■4148円(税込み) ■問い合わせ: 西山洋書



徳AirDOC社の現用機シリーズの最新刊はジェネラルダイナミックスF-111。本書ではヨーロッパに駐留していた戦闘機F-111E/Fアドバークおよび電子戦機F-111Aレイブン装備部隊にスポットをあて、各部隊所属機のカラー写真を多数掲載。写真は全形のみならず、コクピット、ランディングギア周辺、ウェポンベイなど主要なディテールも収められている。アメリカ空軍からは全機退役してしまったが、一時は米軍航空打撃戦力の一翼を担っていたF-111E/F-111の魅力ある姿を収めた1冊である。

International AIR POWER REVIEW Vol.20

■Airtime刊 ■英語 176ページ
■3770円(税込み) ■問い合わせ: 西山洋書



現用機の最新情報満載の国際的・エアパワー・レビューの最新刊。20号の記事は、各国最新機情、ユーロファイターの現状、シーハリヤーのラストフライト、オレゴン州空軍のF-15 & KC-135、イタリア空軍の軍事演習「スプリング・フラック」、バルカネックス2006、イスラエル空軍F-15I、キプロス駐留のRAF SAR第84飛行隊、ドイツ連邦空軍、ギリシア空軍のA-7コルセアII、マーチンB-57、ボーイングC-97ストラトライター、アメリカ陸軍航空隊のグライダーなど。

World War II Combat Aircraft Photo Archive No.5 Junkers Ju87 "Stuka" Part 1

■AirDOC刊 ■ドイツ語/英語 48ページ
■3224円(税込み) ■問い合わせ: 西山洋書



Ju87の新刊をもう一冊。こちらはAirDOC社の写真集シリーズモノ。Ju87のパート1としてJu87A/B/R型、さらに艦載型C型、グライダー型も収録。当時の戦場写真満載。未発表写真多数 (A型の写真多し!)、写真の鮮明度も良くルフトヴァッフェ・ファンは必見である。ディテールがよく分かるものやジャラマの参考になるものなど模型製作の資料としておすすめの1冊。

Yellow Series Hawker HURRICANE

■Stratus刊 ■英語 184ページ
■4778円(税込み) ■問い合わせ: 西山洋書



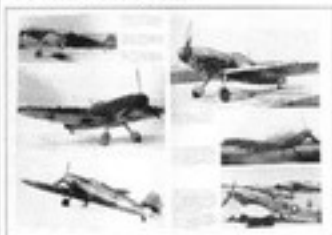
モデル向けとも言える写真&イラスト資料集。各バリエーション解説&1/72比例図、現存機写真&ディテール写真 (多数) 戦中の機体の細部アップも含む。カラー塗装&マーキング図 (R.M.の他にオーストラリア、ソ連、フランス、ノルウェー、フィンランド、インド、ローデシア、本邦捕虜機、ドイツ捕虜機など47機種) など模型製作に必要な資料はほぼこの1冊に詰まっている。カラー図の単色の塗装が施された日本捕虜機やBf109E風のドイツ捕虜機は模型で再現すると面白そう。さらに本書の良い点は、サイズが23×16.5cmとコンパクトなので、模型製作時に机の上に置いてみても邪魔にならないこと。

請の以任何形式
厳禁商業用途

WAR PRIZES The Album

■Midland刊 ■英語 128ページ
■6605円(税込み) ■問い合わせ: 西山洋書

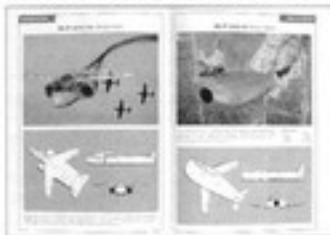
米英ソ連連合軍に捕獲されたドイツ、日本、イタリア軍機と、さらに現存する軍機を紹介。捕獲写真は捕獲時または捕獲後、塗装や国章標識が塗り直された状態を撮影したもの。また後半は博物館などに置かれた現在の状態を捉えたものである。本書の大半はドイツ機が占めているが、イタリア機は9ページ、日本機は17ページにわたって収録されている。巻末には捕獲機の種類別シリアルナンバー・リストも掲載。キット限定の塗装以外も楽しみたい方は必見!



LUFTWAFFE ADVANCED AIRCRAFT PROJECTS to 1945 Vol.2

■Midland刊 ■英語 176ページ
■1万385円(税込み) ■問い合わせ: 西山洋書

第二次大戦のドイツ計画機を解説したシリーズ本のパート2。本書はリビッシュ・ウェッペリン社(メーカー名のアルファベット順に掲載)が考案していた戦闘機や攻撃機を解説している。各機体ごとに実機を想定したカラーイラストや3面図とともに簡単な解説文を掲載。50〜70年代の機体のような先進的なデザインもあれば、SFっぽい奇抜な機体もあり、観ていて実にもしろい。市販に多数で出ているドイツ計画機のキットを製作する際に実機機体アレンジや塗装の参考としても利用できる。



SECRET PROJECTS FLYING SAUCER AIRCRAFT

■Midland刊 ■英語 172ページ
■8495円(税込み) ■問い合わせ: 西山洋書

ミッドランド社「シークレット・プロジェクト」シリーズのWWIIドイツ、イギリス、戦後ソ連に続く最新号は、なんと円盤型空機。各国が開発または計画していた円盤型機、円盤型主翼を持つ航空機。さらに特異な機体形状の機体、VTOL機、ドローンなどを写真、図面、構造図を用いて解説。この種の機体はWWIIドイツが有名だが、戦後のアメリカ、イギリス、カナダ、ソ連各国もかなりの種類の機体を真剣に開発・計画していたことがわかる。本書はSFトンデモ本の類ではなく、まじめな航空機専門書である。



FAMOUS RUSSIAN AIRCRAFT MIKOYAN MIG-29

■Midland刊 ■英語 512ページ
■1万1897円(税込み) ■問い合わせ: 西山洋書

MIG-29の開発史に始まり、試作型—最初の生産型フルクラムA、派生型や発展改良型のMIG-29UB、MIG-29SフルクラムC、-29M、-29K、-29BM、-29OVT、-29UBTについて、ソ連・ロシアでの部隊運用の状況、機体構造、ライバル機との性能比較。さらにMIG-29使用国の機体など多岐にわたる詳細に解説。写真は各バリエーションはもちろん、スペシャルマーキング機やコクピット、機体各部のディテール、兵装等の写真など満載。各バリエーションの図面また各国の装備機の種類別シリアルナンバー・リスト、生産リストも掲載されている。MIG-29の資料本としては最良の1冊。



THE BOEING XF8B-1 FIGHTER LAST OF THE LINE

■Schiffer刊 ■英語 372ページ
■1万1330円(税込み) ■問い合わせ: 西山洋書

ボーイングXF8B-1は、大戦末期から戦後直後のジェット機に移行しつつあった時代に作られた超高速のレシプロ機の一つである。XF8B-1の開発に始まり、機体構造や性能などについて詳細に解説。試作機全機1/72図面、風洞実験用および零寸モックアップ、試作機のテスト風景、試作機のディテールを捉えた写真、実験マニュアルの転写(試作機なのにマニュアルが作られていることに驚き)、カラー塗装図、各種兵装も装備したCGイラストなど、写真、図面などが充実。XF8B-1に関する資料としては最高のものであることは間違いない。同様に興味ある方は絶対買っておきたい方がよい。



Die Panzerzüge des Deutschen Reiches 1899-1945

■Eisenbahn Kurier刊 ■ドイツ語 442ページ
■1万1466円(税込み) ■問い合わせ: 西山洋書

1899〜1945年までドイツ軍が使用した装甲列車を解説したハードカバー本。装甲機動車からIV号戦車などの砲塔を搭載した戦車駆逐車両、対空対空各種兵装を搭載した装甲列車、38(t)やツェムラS35などを載せた戦車搭載装甲列車、捕獲使用したソ連軍装甲列車。さらに軌道走行装置を付けたIII号戦車やSd.Kfz.223/231、パナール178といった装甲列車など、ありとあらゆる軍用軌道車両が網羅されている。詳細に記された装甲列車の戦歴は貴重。多数の軍事写真はもちろんのこと、装甲列車の編成図や各種装甲列車の図面なども掲載されている。



GOTTWALD 100 Jahre Bagger-Krane-Rammen ... Band 2

■Podszun刊 ■ドイツ語 ページ ■1万2579円(税込み) ■問い合わせ: 西山洋書

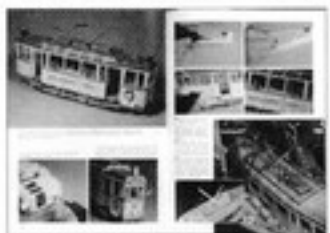
創立100周年を迎えたドイツの有名建設機械メーカー、ゴットヴァルト社の建設機械、特殊車両などを紹介した本。クレーン、採掘機など多種多様な車両が登場。メカニカルな構造は、軍用車両に通ずるものがあり観ていて興味を惹かれる。とくく建設ファンは必見の本である。この種の車両に興味ある方はVol.2の本書とともにVol.1も買っておくことをおすすめ。



DOUGLAS LEE'S MILITARY DIORAMAS

■Hobbiest刊 ■英語 176ページ
■8022円(税込み) ■問い合わせ: M.S.モデルズ

最近注目を集めているカナダの有名ジオラマ制作者、ダグラス・リー氏によるジオラマ・モデルリング・ガイド。図面に収められているジオラマ作品は、1967年ゴラン高原のIDF IM51スーパーシェーマン、M3ハーフトラック、シリア軍仕様IV号戦車など、ポーランド戦のIII号戦車vsポーランド騎馬兵、ベルリン戦のIS-2とソ連兵、1943年英本土で訓練中のカナダ軍装甲車。これらリー氏の軍事作品の写真はもちろんのこと、それらの生産工程を写真により詳細に解説している。ジオラマ・ビルダーの参考書として、またこれからジオラマを始めようとしている方には教科書としておすすめしたい。



MODEL Selection Vol.17

■Amadaconcept刊 ■英語 66ページ
■2520円(税込み) ■問い合わせ: M.S.モデルズ



フランスから発行されているハイグレードなAFV作品を集めたモデリング・ガイド。最新刊の制作記事は、タミヤ1/35 T-55&プラスト改造パーツ使用のIDFティラン、クリールモデル1/35 Sd.Kfz.8 8.8cm Flak18搭載型、トランベッター1/35 SA-2ガイドライン& 24-157K、ドラゴンモデル1/35 フンメル、タミヤ1/35 マーダーIII、デスクット1/35 ラフリー60AM イタリア軍4輪装甲車。さらにアフガニスタンで活動する平和維持軍ISAFの各国軍車両の実車写真も掲載。



Steel Art No.38

■Auriga Publishing刊 ■イタリア語 66ページ
■価格未定(入荷時期は要確認) ■問い合わせ: 西山洋書



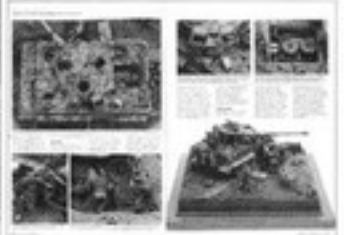
同じくAuriga社から発行されているAFV模型専門誌。最新号の制作記事はアカデミー1/25 パンターG型、レール1/72 パンターG型、ドラゴンモデル1/35 マーダーIII後継型(本誌掲載作品)、トランベッター1/16 T-3485、ドラゴンモデル1/35 ヘップナー後継型、ホビーモデルバウ・シュミット1/35 フィアット・モデロ33トラック、イタレリ1/35 M47バットン、トリスター1/35 38(t)61型など。各制作記事はオールカラーで制作工程を詳細に解説。新製品や新刊情報も充実している。

TAMIYA Model MAGAZINE No.135

■ADH Publishing刊 ■英語/日本語要約付き 66ページ
■945円(税込み) ■問い合わせ: タミヤ



制作記事は、タミヤ1/35 タイガーI中期型ジオラマ、タミヤ1/24 メルセデスベンツSLR具マクラーレン、テストター1/72 ノースロップ・グラマンB-2スピリット、レベルSWミレニアムファルコン&Xウィング&インベリアルシャトル、スクラッチビルドYウィング&Xウィングなど。各制作記事はディテールアップや塗装の仕方を丁寧に工程を添えて解説している。記事はさらにドイツ連邦軍のフェンネック偵察車のディテール写真、新製品&新刊情報など。

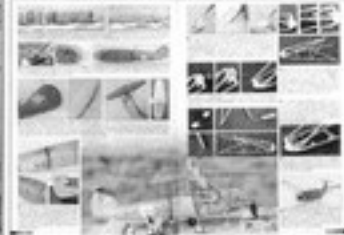


REPLIC No.185

■D.T.U.Studi刊 ■フランス語/日本語訳付き 50ページ
■1365円(税込み) ■問い合わせ: ホビーショップ・ガネット



ご存じフランスの飛行機プラモデル専門誌。制作記事は、ハセガワ1/48 F-8E クルセーダー仏海軍版、スペシャルビー1/48 フォッケ・アハリスFa223E-0ドラセエ、AMテック1/72 ユンカースJu88H-4&フォッケウルフFw190A-7 ミステル4、アコンガア1/48 エンブラエルEMB-312F プラノ。制作記事はカラー写真で各工程をわかりやすく解説。またF-8EとEMB-312Fには実機ディテール写真、Fa223には戦中の実機写真を併載。さらに新製品、新刊情報などいつもおなじみの内容は盛りだくさん。



月刊グランドパワーNo.155 2007年4月号

■144ページ ■2350円(税込み)
■問い合わせ: ガリレオ出版

最新号の特集は、日本陸軍の八九式中戦車(リポート1)。日本での戦車開発経緯にはじまり、各種試製車両、八九式の開発、生産、部隊までを多くの実車写真とイラストで詳細に解説。さらに巻頭カラー&記事はカナダ軍のレオパルトC2戦車。さらに前号から続くT-44中戦車(構造と機関)、イギリス軍のアップト105mm自走砲、WWIIドイツ軍ソフトスキンス車両パート4など。いづれの記事も実車写真多数で模型製作の参考として大変なこと間違いなし。



MODEL TIME No.127

■Auriga Publishing刊 ■イタリア語 74ページ
■価格未定(入荷時期は要確認) ■問い合わせ: 西山洋書



イタリアの月刊模型専門誌。制作記事はズベスダ1/100 帆船サンタクララ、クリールモデル1/35 パヴェン30-A、ドラゴンモデル1/35 フェルディナント、ウィリアムブラザーズ1/32 カーチスF9C-2など。大判カラー写真により各作品の細部の仕上がりがよく分かります。模型製作の参考になる。さらにイタリアでの模型イベント・リポートや新製品&新刊情報なども掲載。イタリアの雑誌らしい作品が満載だ。



(問い合わせ先) ※当コーナーで紹介した書籍の問い合わせの際は、「マスターモデルズ第45号を見て〜」と先方にお話しください。

■西山洋書 ※通販は池袋店
銀座店 〒104-0061
東京都中央区銀座3-7-13 成田屋ビル3F
池袋店 〒171-0021
東京都豊島区西池袋1-2-2 ウエストワン1F
神戸店 〒650-0021 兵庫県神戸市中央区三宮町
2-11-1 センタープラザ西館3F アクセルワーク内

■ホビーショップ ガネット
〒662-0047 兵庫県西宮市南町2-35 コーワ・ビルディング2F
■タミヤ
〒422-8610 静岡県静岡市西田原3-7
■ガリレオ出版 〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-2-13
■M.S.モデルズ <http://www.msmodels.jp>
Tel 03-3562-0820
Tel 03-3981-6301
Tel 078-332-3596

■ホビーショップ ガネット
〒662-0047 兵庫県西宮市南町2-35 コーワ・ビルディング2F
■タミヤ
〒422-8610 静岡県静岡市西田原3-7
■ガリレオ出版 〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-2-13
■M.S.モデルズ <http://www.msmodels.jp>
Tel 078-332-3596

Tel 0798-26-6168
Tel 054-281-1340/054-283-0003
Tel 03-3556-3699
Tel / Fax 029-276-7858

Pick up the pieces!

今年は一足早い春の訪れ。新製品も見渡す限りの満開！ タミヤ1/48クルセイダーMk.I/II、1/48 III号戦車N型、1/48 F-16CJファイティングファルコン、ハセガワ1/32 P-47Dサンダーボルト、1/48フォロミージープ、レベル1/72タイガーUHT/HAP、トランベッター1/24ハリケーンMk.I、1/350ミサイル巡洋艦モスクワ、AFVクラブ1/35 Sd.Kfz.251/14 Ausf.C対空戦車、……。

■タミヤ ○タミヤ



▲1/48 イギリス巡航戦車クルセイダーMk.I/II ■インジェクションキット ■価格1995円 ■1/48 MMシリーズ独自アイテム。北アフリカで活躍した戦車が登場。Mk.IとIIの選択式。
▼1/48 ソビエト中戦車T-34/76 1945年型 (黒塗再現) ■完成品 ■価格4620円



▲1/48 ソビエトフィールドカーGAZ-67B ■インジェクションキット ■価格1995円 ■戦後使用された小型軍用車を大戦中の仕様で再現。ドライブシャフトが18個付き。
▼1/48 イギリス巡航戦車クロムウェルMk.IV ■完成品 ■価格4620円



▲1/48 ドイツII号戦車N型 ■インジェクションキット ■価格1995円 ■II号戦車シリーズに増設車75mm砲、シュルフェンを装備したN型が仲間入り。
▼1/48 ロッキードマーチンF-16CJブロック50(ファイティングファルコン) ■インジェクションキット ■価格3780円 ■待望の最新型F-16が1/48で登場。アクセサリーもACM-88、AM-120Cなど豊富にセット。



▲1/48 ドイツIV号対空戦車ウィルヘルム・グリエーデ ■インジェクションキット ■価格2205円 ■IV号戦車に4連装20mm機関砲を独特の形状の砲塔に搭載した対空戦車が1/48でも登場。
▼1/48 フェアリーソードフィッシュMk.II ■インジェクションキット ■価格4830円 ■対空哨戒型のMk.II。主翼下面、大型オイルクーラー、消火装置などを新規追加。



▲1/20 ロータス79Fホンダ ■インジェクションキット ■価格2730円 ■1987年にAセナと中絶したがドライブしたF-1マシン。車載カメラなどもバリエーション。



▲アクリルミニ XF-77 陸軍海軍工務局 ■インジェクションキット ■価格1577円 ■XF-77は工務局に続き、やがてのちに現れる陸軍工務局の艦艇色を再現。



▲アクリルミニ XF-78 木甲艇 ■インジェクションキット ■価格1577円 ■日本の戦艦、空母などの甲板上に使用された木甲艇の甲板上を再現。



▲アクリルミニ XF-79 リノリウム甲板上 ■インジェクションキット ■価格1577円 ■日本の軍艦や戦艦の飛行甲板や甲板上に使用されたリノリウム甲板上を再現。

■ニュルンベルク・トイフェア発表新製品



▲1/35 パンサーG型フルオバージョン ■RCタンク ■価格574000円 ■発売時期未定。



▲1/48 ソビエトKV-1重戦車 (増設装甲型) ■インジェクションキット ■価格1000円 ■KVシリーズのバリエーション第3弾。砲塔の増設装甲が特徴。4月予定。

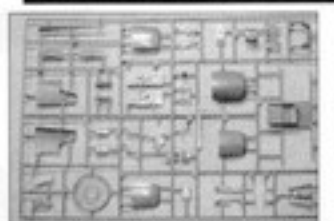


▲1/48 アメリカ25tトラック ■インジェクションキット ■価格未定 ■WWIIアメリカを代表する5CMC 25tトラックが1/48で登場。発売時期未定。



▲1/48 WWIIドイツ戦車兵野戦型 ■インジェクションキット ■価格945円 ■戦車兵の野戦型エンジン整備などを行うフィギュアとアクセサリーのセット。4月予定。

■ハセガワ ○ハセガワ



▲1/32 P-47Dサンダーボルト ■インジェクションキット ■価格5460円 ■海軍航空隊のP-47Dモデル化。D-25とD-30Sと選択パーツ多数。3月下旬〜4月予定。



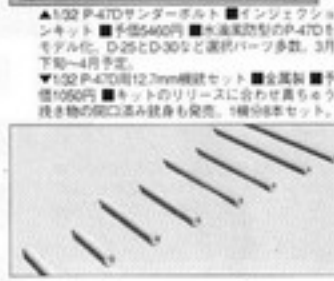
▼1/48 フォロミージープ ■インジェクションキット ■価格1577円 ■戦空戦の訓練に使用されたジープが1/48で登場。AIRジョイのほかAFVにも応用可能。



▲1/700 日本海軍軍艦 足柄 フルハルバージョン ■インジェクションキット ■価格4410円 ■艦内パーツ、メタル製スクリュー、新機エッチングが付属。レイアウト用紙も同梱。



▲1/700 日本海軍軍艦 足柄 フルハルバージョン ■インジェクションキット ■価格4410円 ■足柄と同時発売。追加パーツは共通だが戦争初期のスラバヤ沖海戦時を再現する。





▲1/72 F-4E ファントムII "AO51インメルマン" ■インジェクションキット ■価格2940円 ■30周年記念。右側に全く印象が異なるスペシャルマーキング機を再現。
▼1/72 B-25ミッチェル "フォーリンエアフォー" ■インジェクションキット ■価格3060円 ■米以外の使用国であるソ連空軍。自由フランス空軍も2機ずつ4機のマーキングを再現。



▲1/72 SR-71A ブラックバード "NASA" ■インジェクションキット ■価格2730円 ■アメリカ航空宇宙局NASA所属機を再現。射撃のロゴマークを再現。
▼1/48 A-4G スーパーカイコウ "シンガポール空軍" ■インジェクションキット ■価格3150円 ■シンガポール空軍。シンガポール空軍を再現。シンガポール空軍のA-4を再現。



▲1/72 AD-6 スカイライダー "VA-65 ブラックファルコンズ" ■インジェクションキット ■価格2100円 ■1966年の空母艦載機VA-65所属機。グリーン迷彩とストライプのA-1Hも作れる。
▼1/48 TF-104D スターファイター "ベルグスベシ" ■インジェクションキット ■価格2940円 ■ベルグスベシ25周年記念。ライトブルーに塗られたスペシャルマーキング機を再現。



▲1/72 F-4B スーパーホーネット "ロービジ" ■インジェクションキット ■価格2100円 ■人気のロービジカラー第2弾。VFA-103、VFA-32、VF-9のロービジカラー機をセレクト。
▼1/24 タカオミッドナイト88C ■インジェクションキット ■価格2520円 ■1988年のブルーレースに出場した日本軍。デカールをカトルグラフィックに再現。



■ドラゴンモデル ○ハセガワ



▲1/35 SU-100 砲撃戦車 (プレミアムエディション) ■インジェクションキット ■価格4253円 ■SU-100が単体で登場。マントレット、エンジンデッキカバーなどを交換して再現。
▼1/35 電撃戦 (西フランス1940) ■インジェクションキット ■価格1050円 ■1940年のバトル・オブ・フランス電撃戦時の初期歩兵戦車兵の5体入りセット。



▲1/35 M51 スーパーシャーマン (プレミアムエディション) ■インジェクションキット ■価格3090円 ■105mm砲を搭載した最後のイスラエル軍仕様をプレミアム版で登場。砲身はアルミ。
▼1/35 ドイツ20cm対空砲クルー w/5d.Ah.51 トレーラー ■インジェクションキット ■価格1050円 ■同社の20cm対空砲に最適なフィギュア4体セット。移動用のトレーラー、弾薬箱も付属。砲身はアルミ製。



▲1/35 ドイツ戦車兵 "アルンヘム1944" (プレミアムエディション) ■インジェクションキット ■価格1206円 ■Gen2兵装パーツ。エッチングが追加されプレミアムエディションとなった4体セット。
▼1/72 M4A1(76)W シャーマン ■インジェクションキット ■価格1575円 ■諸説ある中、76mm砲搭載型。車体上部、サスなどを新装型で再現。砲身はアルミ製。



▲1/35 US 戦車兵 (Gen2) ■インジェクションキット ■価格1026円 ■M2ハーフトラックにベストマッチの米陸軍機関銃隊4体4体Gen2シリーズに登場。
▼1/72 M4A4 シャーマン ■インジェクションキット ■価格1365円 ■ファイアフライの元。A4兵装体が登場。ロータリーシールド2機。ガンシールドが新規。



▲1/72 M4A3 シャーマン (105mm) ■インジェクションキット ■価格1365円 ■105mm砲搭載のA3 VVSS サス車両を再現。砲塔、ガンシールドなどが新規パーツ。
▼1/700 イギリス海軍タイド42駆逐艦 HMS リヴプール (プレミアムエディション) ■インジェクションキット ■価格2730円 ■イラク戦争でヘルグランドに沈没された駆逐艦がプレミアム版で再現。同型艦も製作可能。



▲1/72 P-38J ライトニング トループスエース ■インジェクションキット ■価格2625円 ■機首に爆撃手を設けた爆撃機仕様を新規パーツ追加で再現する。プロペラも新規。
▼1/700 USS ベローウッド (CVL-24) ■インジェクションキット ■価格2835円 ■太平洋で活躍したアメリカ軽空母。クリアー航行甲板。艦橋などを新規パーツで再現。



▲1/144 F-4B スーパーホーネット エアタンカーセット ■インジェクションキット ■価格1365円 ■機首F-4B 2機を入れ、A-42R-1A5 給油システムボットを追加した空中給油セット。
▼1/700 USS フリビズンシー CG-56 (プレミアムエディション) ■インジェクションキット ■価格2730円 ■エッチング。カトルグラフィック。艦橋が入ったプレミアム版のホーネット艦。



▲1/144 KA-6 タンカー F-15E ミュンヘン (ICWV-17) ■インジェクションキット ■価格988円 ■EA-6に新規パーツを追加したF-14と空中給油機を再現。



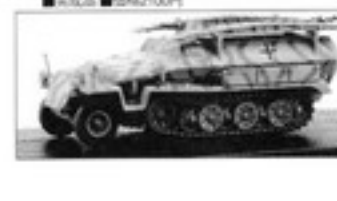
■ドラゴンアーマー ○ハセガワ

▼1/72 Sd.Kfz.251-2 Ausf.C 8cm 自走迫撃砲 ■完成品 ■価格2415円

▼1/72 Sd.Kfz.251-7 装甲工兵車 "クルスク1943" ■完成品 ■価格2100円

▼1/72 Sd.Kfz.165 ツンメル兵隊型 第19装甲師団 第19装甲歩兵連隊 東部戦線1944 ■完成品 ■価格2415円

▼1/72 M4A4 シャーマン ボーランド第1機甲師団 機械化兵連隊 ファルーズ1944 ■完成品 ■価格2415円



■ドラゴンアーマー ○ハセガワ



▲1/72 M2A2 ブラッドレイ IFV 第1大隊 第18歩兵連隊 第1歩兵師団 ティグリス川2004 ■完成品 ■価格2415円



▲1/72 AAVP7A1 水陸両用装甲車 第2水陸両用連隊 第1大隊 USMC イラク2005 ■完成品 ■価格2100円

■ドラゴンウイングス ○ハセガワ



▲1/400 B-2A "スピリットオブアメリカ" ■完成品 ■価格3570円



▲1/344 B-17F フライイングフォートレス "ザ チュース" 358th BS, 1944 ■完成品 ■価格4300円

■レベル ○ハセガワ



▲1/72 ユーロコプター タイガーUHT/HAP ■インジェクションキット ■価格2520円 ■ドイツ最新攻撃ヘリ。各種兵装パーツも豊富にセット。フランス陸軍のHAPも製作可能。
▼1/72 C-160 トランザール ■インジェクションキット ■価格6510円 ■40年以上使用されている機体。共同開発機。デカールはドイツ空軍3機とフランス空軍1機。



▲1/32 グライダーLS8-a/18 ■インジェクションキット ■価格3990円 ■世界的に有名なグライダー。翼幅15m/18mの2種類を製作可能。大判のデカール付き。
▼1/720 ドイツ海軍空母グラーフ・ツェッペリン ■インジェクションキット ■価格3990円 ■1939年に建造。未完に終わったドイツ海軍唯一の空母。艦載機のDornier Ju87も付属。



▲1/72 AH-1W スーパーコブラ ■インジェクションキット ■価格2520円 ■ヒューイコブラの海軍版。イラク戦争にも参加。ヘルファイア、ロケット弾も付属。



▲1/35 M47 パットン ■インジェクションキット ■価格6300円 ■1950年代の米陸軍/NATOの主力戦車。エンジンカバー開閉機構、フィギュア1体付き。



▲1/72 C-160 トランザール ■インジェクションキット ■価格6510円 ■40年以上使用されている機体。共同開発機。デカールはドイツ空軍3機とフランス空軍1機。



▲1/720 ドイツ海軍空母グラーフ・ツェッペリン ■インジェクションキット ■価格3990円 ■1939年に建造。未完に終わったドイツ海軍唯一の空母。艦載機のDornier Ju87も付属。



▲1/35 G-60 80フィート魚雷艇 PT-696 ■インジェクションキット ■価格174700円 ■PT-103最後の型。高速魚雷艇が1/35でリリース。資料写真集付き。発売時期未定。



▲1/35 DUKW 353水陸両用トラック ■インジェクションキット ■価格1780円 ■WW2後の米軍で使われたGMCの2台 6x6水陸両用トラック。発売時期未定。

■トランベッター ○インターアライド



▲1/124 ホーカーク ハリケーンMk.I ■インジェクションキット ■価格173440円 ■エアフィックス以来の大型ハリケーンが登場。第1型はバトルオブブリテンで活躍したMk.I。
▼1/72 イギリス陸軍チャレンジャーII ■インジェクションキット ■価格1575円 ■チャレンジャーIIに代わり90年代に登場した英陸軍主力戦車。



▲1/124 ホーカーク ハリケーンMk.II ■インジェクションキット ■価格173440円 ■ハリケーン第2型は熟練パイロット、20mm機銃4門を装備したMk.II。4月予定。
▼1/72 イギリス陸軍チャレンジャーII イラク戦争 ■インジェクションキット ■価格1575円 ■サンドカラー迷彩。側面に追加装甲を追加したイラク戦争仕様。



▲1/72 ソビエト軍T-34 76 1942年型 ■インジェクションキット ■価格1575円 ■鉄道砲。後部に典型燃料タンクを増設したT-34が1/72シリーズに登場。4月予定。
▼1/72 サクトバンタンター中戦型 ■インジェクションキット ■価格1575円 ■1/72に人気のサクトバンタンターが登場。防衛基地などが特徴の中戦型を再現。



▲1/72 ソビエト軍T-34 85 1944年型 ■インジェクションキット ■価格1575円 ■76mm砲型とともに85mm砲型も同時リリース。後部に燃料タンク付き。4月予定。
▼1/72 サクトバンタンター後戦型 ■インジェクションキット ■価格1575円 ■サクトバンタンター第2型が早くも登場。防衛基地、ヒーター、排気管など変更。4月予定。



▲1/72 イギリス陸軍チャレンジャーII ■インジェクションキット ■価格1575円 ■チャレンジャーIIに代わり90年代に登場した英陸軍主力戦車。



▲1/72 イギリス陸軍チャレンジャーII イラク戦争 ■インジェクションキット ■価格1575円 ■サンドカラー迷彩。側面に追加装甲を追加したイラク戦争仕様。



▲1/72 ジャグドパンサー(ミッドタイプ) ■インジェクションキット ■価格1575円 ■1/72に人気のジャグドパンサーが登場。防衛基地などが特徴の中戦型を再現。



▲1/72 ソビエト軍T-34 85 1944年型 ■インジェクションキット ■価格1575円 ■76mm砲型とともに85mm砲型も同時リリース。後部に燃料タンク付き。4月予定。

■ホビーマスター ○インターアライド



▼1/72 P-51 マスターブレイク Mustang "デヴィッド マスター" ■完成品 ■価格3990円



▼1/72 P-51 マスターブレイク Mustang "デヴィッド マスター" ■完成品 ■価格3990円



▼1/72 MG-21 SMT ソビエト空軍 "スペシャル マーキング" ■完成品 ■価格3990円



▼1/72 F-104G ギリシャ空軍 "50周年記念塗装" ■完成品 ■価格3990円

■ホットワークス ○インターアライド



▲1/24 D1シリーズ BLITZ EP04 2006年仕様 ■完成品 ■価格4200円



▲1/24 D1シリーズ BLITZ EP04 2006年仕様 ■完成品 ■価格3165円



▲1/24 1/16 Up & Downカーリフト ブラック/シルバー ■完成品 ■価格5040円



▲1/24 Mercedes-Benz SLK350 ブラック ■完成品 ■価格4190円



▲1/24 Mercedes-Benz SLK350 シルバー ■完成品 ■価格4190円

■GSIクレオス ○GSIクレオス



▲木製ディスプレイベース型 ■木製 ■価格525円 ■フィギュアなどに最適な木製ベース。天然材を使用。重量感と温かみ魅力。



▲木製ディスプレイベース型 ■木製 ■価格945円 ■AFVなどに最適な木製ベース。裏面には予め貼付されたフェルトが張ってある。

■エーレル ○GSIクレオス



▲1/125 エアバスA380 ■インジェクションキット ■価格5775円 ■2階層客室、世界最大の旅客機が1/125で登場。デカールはエアバス社テスト機。



▲1/24 シトロエン クサラWRC05 "Rallye D'Alemaigne" ■インジェクションキット ■価格2415円 ■WRCダブルタイトル獲得マシン。1・2フィニッシュを飾ったドイツラリー仕様で再現。

■エデュアルド ○ビーバーコーポレーション



▲1/48 ローランドC.IIa ウォークエンドシリーズ ■インジェクションキット ■価格2100円 ■木製モノコックを採用したドイツのWWII戦闘機。シンプルでウォークエンドキット。



▲1/48 Me262Bシュワルベ コンボキット ■インジェクションキット ■価格1627円 ■ドイツジェット戦闘機の複合型。後部と後部エンジン搭載のコンバットフル。2機入り。

■AFVクラブ ○GSIクレオス



▲1/35 Sd.Kfz.251/17防空戦車用フトヴァッフ17 ■インジェクションキット ■価格3760円 ■251シリーズ最新キットは後部20mm Flak38を装備。架空可能な戦車用の防空車。



▲1/35 ドイツSW36サーチライト&Sd.Ah.51トレーラーセット ■インジェクションキット ■価格2310円 ■防空用60cm探照灯Flak-Sw36と移動用トレーラーのセット。251/17防空戦車のオプション。

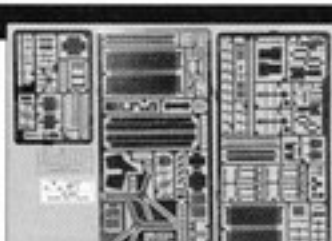
■アカデミー ○GSIクレオス



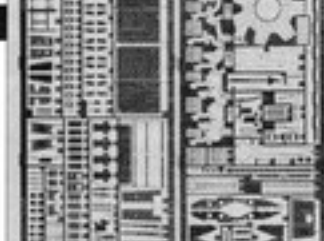
▲1/700 タイタニック ■インジェクションキット ■価格2625円 ■映画でも有名な巨艦の客船が標準スケールの1/700で登場。船体はフルハーブ完成品。



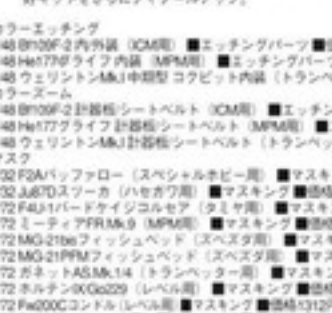
▲1/72 WNW US Grapnelビーグル3点セット ■インジェクションキット ■価格1680円 ■M3ハーフトラック、140水陸両用車、ハーレーバイクの3種類が入った米軍車両セット。



▲1/35 Sd.Kfz.251/17 8型 装甲兵員輸送車 (ズベスタウ) ■エッチングパーツ ■価格3570円 ■戦時室内部、OVM5マウント金具などズベスタの好キットをさらにディテールアップ。



▲1/48 Fw190A-5 (エデュアルド用) ■エッチングパーツ ■価格3150円 ■エンジン本体、カウリング内外、機室窓、翼内などをさらにディテールアップ。



▲カラーエッチング
●1/48 Bm39F-2内外装 (OCM用) ■エッチングパーツ ■価格3150円
●1/48 He177グライファ 内装 (MPM用) ■エッチングパーツ ■価格3337円
●1/48 ウェリントンM4J中期型 コックピット内装 (トランベッター用) ■エッチングパーツ ■価格1312円
●カラーエッチング
●1/48 Bm39F-2計器板シートベルト (OCM用) ■エッチングパーツ ■価格1312円
●1/48 He177グライファ 計器板シートベルト (MPM用) ■エッチングパーツ ■価格1312円
●1/48 ウェリントンM4J計器板シートベルト (トランベッター用) ■エッチングパーツ ■価格1312円
●マスク
●1/32 F3Aビッパロー (スペシャルキートン) ■マスク ■価格1995円
●1/32 Ju87D スワカ (ハセガワ用) ■マスク ■価格1575円
●1/32 F4U1バードオブプレッド (タミヤ用) ■マスク ■価格630円
●1/72 ミーティアFR Mk.9 (MPM用) ■マスク ■価格945円
●1/72 MG-21b フィッシュベッド (ズベスタ用) ■マスク ■価格630円
●1/72 MG-21PPM フィッシュベッド (ズベスタ用) ■マスク ■価格630円
●1/72 ボネットAS Mk.14 (トランベッター用) ■マスク ■価格945円
●1/72 ホルントXG229 (レベル用) ■マスク ■価格630円
●1/72 Pw200C コンドル (レベル用) ■マスク ■価格1312円
●1/72 Bm39G-10 (レベル用) ■マスク ■価格514円

■アオシマ ○アオシマ



▲1/700 日本戦艦 山城1944 ■インジェクションキット ■価格2730円 ■1945年に竣工した36000トン級超巨艦。1944年レイテ沖海戦時を再現。
▲1/700 日本戦艦 山城1944 ■インジェクションキット ■価格2730円 ■1945年に竣工した36000トン級超巨艦。1944年のレイテ沖海戦時を再現。



▲1/700 日本戦艦 山城1944 ■インジェクションキット ■価格2730円 ■1945年に竣工した36000トン級超巨艦。1944年のレイテ沖海戦時を再現。

■ファインモールド ○ファインモールド



▲1/48 「G」の標」サブタイプS.21F 後期型 ■インジェクションキット ■価格2990円



▲1/72 Bf109G-4 R6 エーリッヒ・ハルトマン少尉 ■インジェクションキット ■価格2310円 ■世界最高のエース。E.ハルトマンの初期の機体を主軸など細部まで忠実に再現。



▲1/72 Bf109G-6 フィンランド空軍 ■インジェクションキット ■価格2310円 ■戦中2機、戦後3機のフィンランド空軍機マーキングを再現。20mmガンパックも付属。

●1/72 Bf109G用 20mm機関銃銃身 ■全金属 ■価格640円 ■上記機発表にあわせての特別の生産ガンパックMG151用交換銃身も同時発売。

請勿以任何形式
嚴禁商業用途

AZモデル ○ビバーコーポレーション



▲172 ブレゲーBre-14 AZ フランス陸軍航空隊
■インジェクションキット ■価格4300円 ■説明書、
機型図、WWII後の輸送機としてもヨーロッパ
各国で活躍したBreguet 14をモデル化。



▲172 ブレリオ スパッドS-11 C-1 フランス/ソビエ
ト空軍 ■インジェクションキット ■価格3097円
■フランス空軍はヨーロッパ諸国に多数輸出
された1904年開発のフランス戦闘機。



▲172 ブレリオ スパッドS-11 C-1 ポーランドトル
コ空軍 ■インジェクションキット ■価格3097円
■P21、P24と交代する以前のポーランド空軍 主
力戦闘機とトルコ空軍機を再現。



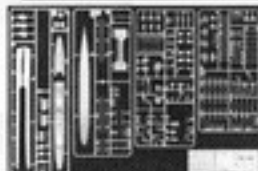
▲172 ブレリオ スパッドS-11 C-1 スペイン内戦
空軍/民間レーサー ■インジェクションキット
■価格3097円 ■唯一の実戦投入となったスベ
イン共和国空軍と、アラゴン州のレーサー機を再現。

レベルモノグラム ○LG55

- ザ・パロッド (限定再販)
- インジェクションキット ■価格3675円
- 172 A-10Aブーズバック ■価格3990円
- インジェクションキット ■価格3990円
- 148 F4U-4コルセア ■価格3045円
- インジェクションキット ■価格3045円
- 148 F-101 ブードゥー ■価格3045円
- インジェクションキット ■価格3045円
- 148 F-101 ブードゥー ■価格3045円
- インジェクションキット ■価格3045円
- 148 F-101 ブードゥー ■価格3045円
- インジェクションキット ■価格3045円



ビットロード ○ビットロード



▲1700 日本海軍 海軍航空隊 海軍航空隊
■インジェクションキット ■価格2100円
■機型の修正、数値に就き第1機が細
くなった機型の雷ガリリス、4月予定。



▲1700 WWI 米海軍航空隊 CVL-105 コメンス
メント・ベイ ■インジェクションキット ■価格1万3000
円 ■15隻が建造された護衛空母。企画・開発
製作はフリーネット。注型は実物製作所。



▲1700 米海軍航空隊 CVN-68
エンタープライズ ■インジェクション
キット ■価格8190円 ■



▲1714 海上自衛隊 LCC ■完成品 ■価格
未定 ■海上自衛隊のおおすみ型輸送艦
に搭載されるエアクッション型揚陸艇。
発売時期未定。



▲1700 海上保安庁
入り型型艦艇 8つ
まはかた丸 ■価格
シタタパーツ ■価格
1365円

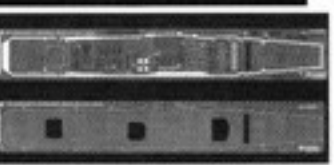
ライフライクデカール ○ライフライクデカール

- 148 メッサーシュミット Me109 Part4
- デカール ■価格1470円 ■148 Me109シ
リーズの第4弾、E-3、E-4、G-6、G-14 ASの4機
がセットされている。
- 148 フォッケウルフ Fw190 Part2
- デカール ■価格1470円 ■148 Fw190シ
リーズの第2弾、ノヴォニエ機を含むA-3、A-4 2
機、F-8の3機がセット。



ライオンロア ○ビットロード

- 135 陸上自衛隊 90式戦車用
■エッチング ■価格3150円
- 135 WWI M2A1ハーバートラック用
■エッチング ■価格2100円
- 135 WWI 30mm砲車E型 メタル砲身
■エッチング ■価格3990円
- 135 WWI 30mm砲車G型 メタル砲身
■エッチング ■価格3990円
- 135 IV号戦車 フェンダー2型除けセット
■エッチング ■価格3150円
- 1700 日本海軍航空隊 伊勢型空母用甲板 ■エッチング ■価格3150円
- 1700 日本海軍航空隊 龍骨型空母用甲板 ■エッチング ■価格5000円
- 135 WWI 海軍近衛 浮筒用砲身砲塔 ■エッチング ■価格3780円
- 1700 WWI 米海軍エリコン20mm機銃 (準砲&連銃) ■エッチング ■価格1890円



ACE ○バウマン



▲172 BA-64装甲車 ■インジェクション
キット ■価格2310円 ■開発のBA-64の初期型。
GAZ-64シャーシを利用するBA-64が登場。細部
の修正も再現。



▲172 F-22USV ソ連76mm野戦砲 ■インジェ
クションキット ■価格1680円 ■ZIS-3以前に配
備。バルバロッサ作戦前夜のソ連の主力野砲。タ
リアーを前口が特徴。



▲172 シミター空軍戦闘機 ■インジェク
ションキット ■価格3150円 ■高機動車両スコーピ
ンシリーズの第1弾は、主翼を30mm機銃砲に更
変したシミター。



▲172 露FAI-M装甲車 ■インジェク
ションキット ■価格1890円 ■GAZ-M11シャー
シがベースのソ連初期の装甲車。ノモンハン
イン作戦にも参加。

MWモデル ○バウマン



▲172 ソ連AS-3軍用救護車 ■インジェク
ションキット ■価格2100円 ■戦後のGAZ-51トラック
にクロスキャビンを搭載し軍用救護車
としたタイプ。



▲172 ソ連AZ-265貨物トラック ■インジェ
クションキット ■価格2100円 ■クロスキャビ
ンを搭載し国内留置で使用されたGAZ-
56バリエーション。



▲172 ソ連PSG-65/130B航空機用油桶車 ■
インジェクションキット ■価格1995円 ■GAZ-
51に油桶油タンクや強力なポンプを搭載し航空
機のサポートに使用されたタイプ。



▲172 ソ連BM-14ロケットランチャー ■イ
ンジェクションキット ■価格2520円 ■カチュ
ーBA13の後継としてGAZ-63Aトラックにチェ
ブス発射機を搭載した車両。

■Aモデル ○バウマン



▲1/44 デハビランドC-8A (DHC-8) パッファロー 組立キット ■インジェクションキット ■価格2940円 ■カナダのDHC-8のエンジンをターボプロップに変更したSTOL機。米軍にも採用。
▼1/72 アロ504KH 複葉多用機 ■インジェクションキット ■価格2100円 ■1913年以降のイギリス軍機。WWIIにもロシアや日本などで長く運用された機体。



▲1/44 デハビランド・カナダDC-115 パッファロー 組立キット ■インジェクションキット ■価格2940円 ■カナダでは黄色と赤の迷彩塗装で戦闘機としても使用されているSTOL機。
▼1/72 デハビランドDHC-60 モス 複葉機 ■インジェクションキット ■価格1365円 ■タイガーモスに発展した練習機。旧プロップの製品を再販。



▲1/44 HJ-16E アルバトロス ■インジェクションキット ■価格2940円 ■アメリカ海軍艦隊が採用。水陸両用の特性を生かして沿岸警備や救難活動に活躍。
▼1/72 ラボーチンLa-5FN戦闘機 ■インジェクションキット ■価格1680円 ■Me109やFw190にも対抗できたWWIIのソ連優秀戦闘機。旧OPの製品を再販。



▼1/72 リューシリンL-2024 クラウ電子偵察機 ■インジェクションキット ■価格37450円 ■1970年代後半に登場。民間旅客機L18にレーダー等を搭載したソ連の電子偵察機。



▼1/72 ミヤシタ・3MD バイソン C海軍偵察機 ■インジェクションキット ■価格47950円 ■ソ連の戦術偵察機 バイソンAの機首をレドームを設けレーダーを装備した海上偵察型。



▼1/72 VM-7 機外貨物運搬機 "アトラント" ■インジェクションキット ■価格4794100円 ■アントノフAn-225-MRが登場するまで運用されていた機体。航空貨物の宇宙輸送機材運搬機。



■アズール ○バウマン



▲1/72 ドボソン3373/376 ■インジェクションキット ■価格3465円 ■1900年代フランス海軍に採用。空母ヘアルンに搭載されたパラソル翼戦闘機。



▲1/72 ニューボー・ND-72 ■インジェクションキット ■価格2520円 ■1900年代終わりに登場したフランスの1軍用戦闘機。ベルギーとブラジルで少数を使用。



▲1/72 ドイツ陸軍機 (ケッテンクラート付き) 24年 ■インジェクションキット ■価格2100円 ■1/72では貴重なドイツ陸軍機。ケッテンクラートも入って登場。ソフトブラ製。

■コンドル ○バウマン



▲1/72 MiG-21Bis フィッシュベッド戦闘機 ■インジェクションキット ■価格1365円
▼1/72 MiG-21Bis フィッシュベッド戦闘機 ■インジェクションキット ■価格1470円



▲1/72 MiG-21UM フィッシュベッド複座戦闘機 ■インジェクションキット ■価格1365円
▼1/72 MiG-21 (9-13) フォルクラン戦闘機 ■インジェクションキット ■価格1365円



▲1/72 MiG-29 (9-13) プロトタイプ戦闘機 ■インジェクションキット ■価格1470円
▼1/72 MiG-29UB フォルクラン複座機 アクロバット ■インジェクションキット ■価格1470円



▼1/72 MiG-29 (9-12) プロトタイプ戦闘機 ■インジェクションキット ■価格1470円



▼1/72 MiG-31BM フォックスハウンド戦闘機 ■インジェクションキット ■価格1800円



▼1/72 MiG-31B フォックスハウンド戦闘機 ■インジェクションキット ■価格1800円



1/16 大東亜戦争シリーズ第一弾 大日本帝国海軍搭乗員



※写真は完全彩色完成品です



- 組み立てキット 4,000円
- ブロンズ調完成品 15,000円
- 完全彩色完成品 19,800円

第二弾 大日本帝国陸軍航空兵
近日発売!! (予約受付中)

電話 0476-95-8077
FAX 0476-80-2727

Ishida Models

<http://www.abs-plaza.com/ishidamodel/>

請勿以任何形式轉載至貪婪大陸

■HIPM ○バウマン



▲1400 ハイウェイ4400-70ブリック高速連結機 ■インジェクションキット ■価格未定 ■試運転よりも速い輸送機として世界に衝撃を与えた高速機。5~6月予定。

■ ICM ○ バウマン



■148 メッセージミット(100F-4給油機) ■インジェクションキット ■価格2940円 ■2本に焼き、20mm軸内径
両面を回転し多数のエースが輩出したF4型がリリース。

■スペシャルホビー ○バウマン



■セマー ○バウマン



■スキフ ○バウマン

●スキフ ●バウマン
●135 MTLBAMA 機銃塔塔載航昇車 ■インジェクションキット ■価格6400円
●135 MTLBAMA 機銃塔塔載航昇車 ■インジェクションキット ■価格6400円
●135 T-64B 主力戦車+エッチング (エデュアルド製) ■インジェクションキット ■価格6000円

■タカハシ ○バウマン



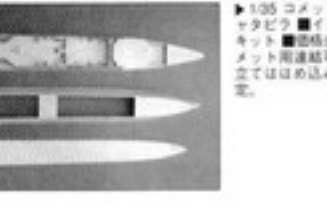
■ニムロッド ○パウマン

[illegible]

■ブライザー ○バウマン



■ブロンコ ○バウマン



ミニアート ○バウマン

SOVIET ARTILLERY CREW



▲1/35 ソビエト砲兵セット5体入 ■インジェクションキット ■価格1470円 ■砲撃中のソ連砲兵の5体セット。弾薬や弾薬箱などのアクセサリも付属。
▼1/35 スパルタ戦士 紀元前5世紀 ■インジェクションキット ■価格2415円

SOVIET 76,2 mm GUN ZIS-3 w/CREW



▲1/35 ソ連76.2mm野戦砲ZIS-3 フィギュア5体入 ■インジェクションキット ■価格3570円 ■10万3千門も生産されたソ連の傑作対戦車砲ZIS-3をモデル化。砲兵フィギュアも付属。
▼1/35 ギリシャ戦士 紀元前4世紀 ■インジェクションキット ■価格2415円

GERMAN 7,62 cm GUN FK288(r) w/CREW



▲1/35 独7.62cm野戦砲FK288(r) フィギュア5体入 ■インジェクションキット ■価格3570円 ■ドイツ軍が滅亡して使用したZIS-3、FK288(r)を再現。ドイツ砲兵フィギュア5体付き。

GERMAN SHED



▲1/35 ドイツの小屋ジオラマアクセサリ ■インジェクションキット ■価格4410円 ■一般的な小屋を簡単に作れるキット。カラーイラストには切り取って使えるポスターも。

ローデン ○バウマン



▲1/48 RAF BE-2c ■インジェクションキット ■価格4095円 ■貴重な機体型機と4枚ペラが特徴。3200機も生産された傑作偵察機。



▲1/72 SdKfz 234/4バックワーゲン ■インジェクションキット ■価格1365円 ■234シリーズに、7.5cmPak40をオープン搭載し対戦車能力も強化した偵察装甲車が登場。

ユニモデル ○バウマン



▲1/72 T26キャタピラ ■インジェクションキット ■価格640円 ■T26ビッカース対戦車車の後部。1コマバラとある程度つながった状態の組み合わせ。

パッションモデルS.M.S.モデルズ



▲1/35 77mm金属砲身セット レジン製キャニスターカバー付 付属品付 (ブロンズコメット用) ■全金属製 ■価格628円



▲1/35 10.5cm FH シャール8 (タミヤ用コンバージョンキット) ■レジンキット ■価格173200円

マスターボックス ○バウマン



▲1/35 東部戦線シリーズ 独歩兵1941-42 4体入り ■インジェクションキット ■価格1305円 ■マスターボックスの新シリーズ、東部戦線。ドラマチックな演出の傑出したドイツ兵小隊。



▲1/35 東部戦線シリーズ ソ連歩兵1941-42 4体入り ■インジェクションキット ■価格1305円 ■バルバロッサ作戦初期のソ連歩兵士をドラマチックに再現。大祖国戦争の激戦を演出。



▲1/35 東部戦線シリーズ 自兵戦 独軍vsソ連軍 1941-42 各2体 ■インジェクションキット ■価格1365円 ■近戦とスコープ、ナイフと銃剣が対決する特選両兵の自兵戦を再現。

新撰組 ○新撰組



▲1/35 現用米軍カモフラージュパターン ウッドランド ■デカール ■価格980円 ■フィギュア用のカモフラージュデカール。ヨーロッパの森林をイメージしたデザイン。



▲1/35 現用米軍カモフラージュパターン デザート3D ■デカール ■価格980円 ■こちらは砂漠向けパターン。フィギュアへの貼り方は同社のWebページを参考に。



▲送料ボトルオープナー ■フル ■価格680円 ■キャップを開けやすさに特化したオープン。タミヤアクリルとニ。G&KクレオスM&Cカラー対応。



▲1/35 メグ レジンキット ■価格1980円 ■時代を問わずにシンプルで豪華の民間女性フィギュア。種、顔の表情デカール付属。



▲0.1mm厚アルミシート (B5変型サイズ2枚セット) ■マテリアル ■価格880円 ■加工しやすい柔らかいアルミシート。サイズは約180mm x 約250mm。

アルパインミニチュア ○M.S.モデルズ



▲1/35 大戦後期 武装SS戦車兵下士官#1 ■レジンキット ■価格1827円
▲1/35 大戦後期 武装SS戦車兵下士官#2 ■レジンキット ■価格1827円



フリウルモデル ○M.S.モデルズ

●48 バンター後期型機銃セット ■全金属製 ■価格4095円

ニューコネクションモデル ○M.S.モデルズ



●1/35 10.5cm FH シャール8 (タミヤ用コンバージョンキット) ■レジンキット ■価格173200円

■ユーレカXXL ○M.S.モデルズ

- 135 パンターG用 牽引ケーブルセット ■全金属 ■価格1055円
- 135 ティガーI用 牽引ケーブルセット ■全金属 ■価格1055円
- 135 IS-2S-3用 牽引ケーブルセット ■全金属 ■価格914円
- 135 IV号戦車各型用 牽引ケーブルセット ■全金属 ■価格677円
- 135 KV-12初期型用 牽引ケーブルセット ■全金属 ■価格914円
- 135 KV-12後期型用 牽引ケーブルセット ■全金属 ■価格914円
- 135 メルカ/Mk.III用 牽引ケーブルセット ■全金属 ■価格914円
- 135 メルカ/Mk.III用 牽引ケーブルセット ■全金属 ■価格914円
- 135 MAシャーマン用 牽引ケーブルセット ■全金属 ■価格1055円
- 135 FAMO、その他MAFV用 牽引ケーブルセット ■全金属 ■価格914円
- 135 同用連統車 (T-55、T-62) 用 牽引ケーブルセット ■全金属 ■価格914円
- 135 同用NATO戦車 (レオパルド152) 用 牽引ケーブルセット ■全金属 ■価格914円
- 135 英チレンジャー-887用 牽引ケーブルセット ■全金属 ■価格914円
- 135 パンター-DIA用 牽引ケーブルセット ■全金属 ■価格1055円
- 135 M1A1エイブラムス用 牽引ケーブルセット ■全金属 ■価格914円
- 135 M240AブラッドレーCFV用 牽引ケーブルセット ■全金属 ■価格646円
- 135 Pz.III Ausf.G-L用 牽引ケーブルセット ■全金属 ■価格914円
- 135 ケニヒャーガー用 牽引ケーブルセット ■全金属 ■価格1055円
- 135 Stug.III Ausf.F-G Stg.42用 牽引ケーブルセット ■全金属 ■価格914円
- 135 Pz.III Ausf.A-F、K、M、N用 牽引ケーブルセット ■全金属 ■価格646円
- 135 Stug.III Ausf.A-E用 牽引ケーブルセット ■全金属 ■価格646円
- 135 M10、M36、M18用 牽引ケーブルセット ■全金属 ■価格914円
- 135 T-34/76 1940年型183工場製 (マケット用) 牽引ケーブルセット ■全金属 ■価格914円
- 135 M270 MLRSロケットランチャー用 牽引ケーブルセット ■全金属 ■価格914円
- 135 M113、M163、M981、ZELDA用 牽引ケーブルセット ■全金属 ■価格914円
- 135 Sd.Kfz.184 フェルトナント用 牽引ケーブルセット ■全金属 ■価格914円
- 135 Sd.Kfz.184 エレファント用 牽引ケーブルセット ■全金属 ■価格914円
- 135 T-34/76、SU-85/100/122SPG用 牽引ケーブルセット ■全金属 ■価格914円
- 135 T-34/76 STZ製1941/42年型 牽引ケーブルセット ■全金属 ■価格914円
- 135 T-34/85 112工場製1944年型 牽引ケーブルセット ■全金属 ■価格914円
- 135 T-34/76 112工場製1942年型 牽引ケーブルセット ■全金属 ■価格914円
- 135 T-34/85 1945年型および戦後型 牽引ケーブルセット ■全金属 ■価格914円



- ▲135 貨車用とゲート
■レジンキット ■価格1309円
- ▶135 ロックロッド用600/5 貨車
(古い手動式) ■レジンキット ■価格1260円

■CMK ○ビーバーコーポレーション

- 135 8号実用型エンジン (ドラゴン用) ■レジンキット ■価格4542円
- 148 P-400 P-39 エアコブラ内装 (ハセガワ用) ■レジンキット ■価格2100円
- 148 F-16C/D ブロック30/40/50 大型エアインテイク (ハセガワ用) ■レジンキット ■価格1685円
- 148 F-16D ブロック52/58-ロケット機、ドーサルエンジン (ハセガワ用) ■レジンキット ■価格3360円
- 148 ブリストルハーキュリーズエンジン (ウェリントンMk.III、ボーファイターMk.VIII) ■レジンキット ■価格1680円
- 148 ブリストルヘカサスMk.XXエンジン (ウェリントンMk.III) ■レジンキット ■価格1680円
- 148 WWII ドイツ MG17 7.7mm機関銃 ■レジンキット ■価格472円
- 148 Fw190A/D 円穴ホイール 自衛定形タイヤ ■レジンキット ■価格472円
- 148 Fw190A/D フラットホイール 自衛定形タイヤ ■レジンキット ■価格472円

■バブラ ○ビーバーコーポレーション

- ▶148 Stencil S-85 (SUJ-4) イジェクションシート (AV-8Aハリアー、ドレイク空軍アルファジェット) ■レジンキット ■価格525円
- 172 H.P.ハリファックスGR Mk.8 キャンペー (レールマチックボックス) ■レジンキット ■価格5682円



■タンクワークショップ ○M.S.モデルズ



- ▲135 M240 フロントボディアップグレードセット (タミヤ用) ■レジンキット ■価格2940円
- 135 マーダーII エンジンコンパートメントセット (DMLM262用) ■レジンキット ■価格2940円



■アタック ○ビーバーコーポレーション

- 172 Pz.350 戦車 アップグレード
■インジェクションキット ■価格2100円
- WWII 3期ドイツ軍主力となったチェコ戦車、
試着状態で成形のレジン製履帯をセット。
- 172 Pz.350 IAB T-11 戦車 アップグレード
■インジェクションキット ■価格2100円
- IAB 47mm砲搭載のブルガリア軍向け輸出型、
試着状態で成形のレジン製履帯をセット。
- 172 Pz.350 戦車 スペシャルエディション
■インジェクションキット ■価格3007円
- アップグレード版に内装、エンジン、キアボックス、
履帯のレジンパーツをセット。
- 172 Pz.350 IAB T-11 戦車 スペシャルエディション ■インジェクションキット ■価格3007円 ■アップ
グレード版に内装、エンジン、キアボックス、履帯のレジンパーツをセット。
- 172 Pz.350 周 成形履帯 ■レジンキット ■価格1627円 ■試着状態で成形履帯A-0355 周 レジン製履帯、
試着状態で使用されたドイツ対戦車砲。
- 172 21cm ナーベルウェルファ-42年型 スキー砲 ■レジンキット ■価格3007円 ■スキー台砲架に載せた
5連装のドイツ21cm砲キット砲。



■アイリス ○ビーバーコーポレーション

- 132 F-105用 イジェクションシート (ドラゴン用) ■レジンキット ■価格1575円
- 148 Fw190A-8、A-8R2 コクピット (タミヤ用) ■レジンキット ■価格1575円
- 148 F-14D スーパーファントムコクピット (ハセガワ用) ■レジンキット ■価格2782円
- 148 スピットファイアFw190A-24 コクピット (エアフィックス用) ■レジンキット ■価格1575円
- 148 スピットファイアFw190A-24 コクピット (エアフィックス用) ■レジンキット ■価格1575円
- 148 スピットファイアFw190A-24 コクピット (エアフィックス用) ■レジンキット ■価格1575円
- 172 B109G-10 コクピット (レール用) ■レジンキット ■価格9007円
- 172 F-14A トムキャット コクピット (ハセガワ用) ■レジンキット ■価格1575円



Just like having a good friend in Tokyo!

Plastic models, toys, figures and more,
all shipped direct from Japan
to anywhere in the world!

Shop our online database of
16,000+ products and end all
that fruitless searching for hard-
to-find Japanese hobby items,
and paying inflated import
dealer prices! Your hobby life
will never be the same!

HobbyLink
Japan
www.hlj.com

請以任形式轉載至貴替大陸
嚴禁商業用途



4月の
新製品

02416 1/24

HURRICANE Mk. II C/TROP

戦闘爆撃機のハリケーンはMk. II Cとなり、7.7mm機銃に換えて20mm機関砲4門を両翼に搭載した。さらに、両翼下に合計1,000ポンドの爆弾を搭載できる。



¥13,440-(税込)

07206 1/72 Soviet
T34/76 Mod.1942

L=138.4mm
W=62.8mm
H=51.8mm
89parts



¥1,575-(税込)

07207 1/72 Soviet
T34/85 Mod.1944

L=168mm
W=62.8mm
H=57.9mm
152parts



¥1,575-(税込)

07272 1/72
JAGDPANTHER
(Late model)

L=132.7mm
W=46.5mm
H=38mm
81parts



¥1,575-(税込)

04517 1/350

Russian Navy
Udaloy class Destroyer
SEVEROMORSK



¥7,140-(税込)

ウダロイ級はソビエトが建造した、排水量6,000トンを超える大型対潜艦。対艦ミサイル(ヘリコプターも)を搭載。充実した対潜能力を備え、対空兵器をも最新兵器を装備した強力な艦である。駆逐艦とされるが、これは西側のカテゴリで、ロシア海軍では「大型対潜艦」と呼ばれている。

今年もニュールンベルグ・インターナショナル・トイフェアにおいて、多くのランペッター製品がモデル・オブ・イヤーを受賞しました。

Spielwarenmesse
International Toy Fair
Nurnberg 01.02.-06.02.2007

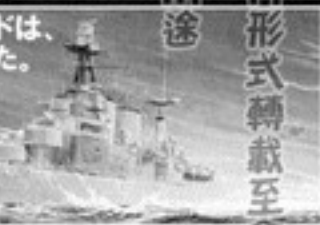


★Kit model magazine★

- 00361 1/35 Russia SAM-6 Anti-Aircraft Missile
- 02231 1/32 U.S.S. A-7E CORSAIR II
- 02808 1/48 WELLINGTON Mk.1c
- 07210 1/72 12.8cm St.L/61(Pz.St.V) "STURER EMIL"
- 05302 1/350 HMS HOOD
- 05305 1/350 U.S.S. ENGLAND DE-635

★Model fan magazine★

- 02506 American LaFrance EAGLE Fire Pumper 2002
- 02244 1/32 U.S.Navy SBD-3 DAUNTLESS Midway
- 00210 1/35 Kriegslokomotive BR52
- 02820 1/48 Westland WYVERN S.4
- 05302 1/350 HMS HOOD



各受賞作品をぜひお手元でお確かめ下さい。

1/350イギリス戦艦フッドは、堂々のW受賞となりました。

請勿以任何形式轉載至
商業用途



www.interallied.co.jp/starshoppingtop.html

商品はお近くのホビーショップでお求めください。ショップでお求めにできない場合は、上記☆スターショッピング会にアクセスいただき、ご自宅でお買い求めできます。なお、一回のご注文が1万円以上の場合は、通常一律630円かかる送料手数料が無料になります。ご注文はお客様専用ダイヤル045-549-3033(平日・11:00~19:00)までご連絡ください。



発売元/問合せ先: 株式会社 インターアライド
〒223-0057 横浜市港北区新羽町543
phone: 045-549-3031 fax: 045-549-3032
mail: info@interallied.co.jp

新製品情報満載の最新情報は、弊社ホームページで。

www.interallied.co.jp

トランペッター輸入元: 東ウエーブ モノクローム取引扱い: 東ランキー・サン

KAGERO (カゲロウ)

●モノグラフィシリーズ



KG3030 Ju87 Vol. 30



KG3031 Bf109F Vol. 31

●トップショットシリーズ



KG 11034 ダジン WC51



KG 11035 UH-1D



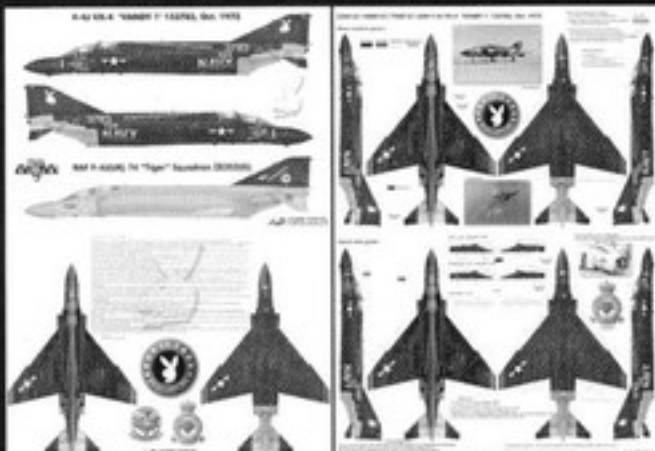
KG 11032 T-34/85



KG 11033 T-55A

HOBBYDECAL

(ホビーデカル)



AL 32001 AL48001 AL72001
phantom II F-4J VX-4 "VANDY" (Black Bunny)
phantom II RAF F-4J(UK)74 "Tiger" SQ

Dry transfer printed by Hobby DECAL
Water transfer printed by CARTGRAF
1:32, 1:48 8 decal sheets 1:72 6 decal sheets

HOBBY DECAL

Yangchun P.O BOX99 seoul 158-055. KOREA

www.hobbydecals.com

■ AZ model (AZモデル) プラスチックキット RE+P.E (エデュアルド) +D付



AZ 4803 ¥5,500 Spitfire PR Mk. 30



AZ 7218 ¥3,000 中島91式戦闘機2型102号機



AZ 7217 ¥3,000 中島91式戦闘機1型中華民国



AZ 7216 ¥3,000 中島91式戦闘機1型102号機

■ VALOM (バロム)



72018 ¥3,600 Yak-7B



72019 ¥3,800 Yak-7V

■ LEGATO (レガト) レジンキット



LK3201
¥17,000
アビ7835.1
1938戦闘機



LK4835
¥10,000
アビ7835.1
1938戦闘機

■ GRIFFON (グリフォン)

- GR 48061 バラクーダー MK.5 ディテール ¥7,400
- GR 48060 バラクーダー MK.5 エキゾット ¥1,000
- GR 48059 YAK-3 コクピット ¥1,400
- GR 48058 ウェリントン フラップ ¥5,900
- GR 48057 ウェリントン ホイール ¥900
- GR 48056 P-40 クリモフエンジン ¥3,800
- GR 48055 スピット MK.24 20mm/キャノン ¥600
- GR 48054 スピット MK.22 20mm/キャノン ¥600

■ HOBBY DECAL (ホビーデカル)

- ST: ステンシル (ドライデカル)
- ST 32002 P-51D ムスタング ¥2,300
- ST 32003 Fw190D (A.F.G.) ¥2,500
- ST 32004 Bf109G ¥2,200
- ST 32005 スピットファイアー ¥1,500
- ST 32007 Me262 ¥1,900
- ST 32011 零戦A6M2~A6M5 ¥1,900
- ST 32012 P-38L ライトニング ¥2,700

■ TECHMOD (テクモド)

- TE 32024 Bf109G-2 フィンランド空軍 ¥2,800
- TE 32021 ホーカースパイア Mk.1b ¥2,800
- TE 48072 Bf109G-2 ルーマニア空軍 ¥1,200
- TE 48079 スピットファイアー Mk.IX ¥1,700
- TE 48078 Bf109G-2 フィンランド空軍 ¥1,200
- TE 72050 Bf109G-2 ルーマニア空軍 ¥1,200
- TE 72134 TBD-1 テバスターダワー ¥1,700
- TE 72132 TBD-1 テバスターダワー ¥1,700

HOBBY SHOP INQUIRIES INVITED REQUEST OUR NEWS LETTER

※価格は全て税抜き表示です。本誌
お買い上げの際は別途消費税を頂く事。

Scale Model
HOBBYDEPOT 'G'

TEL.022-258-6097

FAX.022-765-8540

ホビーデポットジー 年中無休/営業時間 平日 10:00~18:00 土日 10:00~18:00

〒983-0005 宮城県仙台市宮城野区福室 2丁目8-25-511

通信販売

最新りのショップで
お求め下さい。

郵便振込先 HOBBYDEPOT 'G'

口座番号 02270-7-47248

www.hobby-depot-g.co.jp

中島キ84 四式戦闘機

日本最強戦闘機、決戦の大空へ

従来の軽戦思想から脱却し“戦争に勝つための戦闘機”という明確なコンセプトで開発された陸軍の中島キ-84は、堅実な機体に2000馬力の強力なハ-45エンジンを得て、624km/hの最高速度、長大な航続力、充実した防弾装備など優秀な性能をみせた。1944年に“四式戦闘機 疾風”として制式採用され“大東亜決戦機”として終戦までに零戦、隼に次ぐ約3500機が量産された。生産力低下によるトラブルで本来の性能を発揮できなかったが、戦後の米軍テストではP-51Hムスタングなどに匹敵する結果を出し“日本軍最優秀戦闘機”の称号を与えられた。

疾風のベストキットで“波打ちベコツキ再現”に挑戦!

Nakajima Ki-84-I Type 4 Fighter Hayate

ハセガワ1/32 中島キ-84 四式戦闘機 疾風

今回のお題は久しぶりの国産キット、ハセガワさんの疾風であります。前回、前々回とエアフィックスの1/24シリーズが続き悪戦苦闘していたので、国産最新キットの作りやすさを堪能したいと思っております。リリースされてから2年ほどになりますが、疾風のキットとしてはベストと言っても過言ではないでしょう。ノントラブルでスラスラ組めることには間違いないので、あれこれと手を加えたい、と画策しております!



■ハセガワ1/32 中島キ-84 四式戦闘機 疾風

■製作・文: K2

■Hasegawa 1/32 Nakajima Ki-84 Type 4 Fighter Hayate (Frank)

■Modeled & Text by K2



請勿以任向形式轉載至貪婪大陸
商業商業用途

■波打たせる

さて今回のレシピですが、メインディッシュは外板のベコツキ再現にチャレンジしてみます。実機を目の前にして眺めると、思っていたより外板がベコベコなのは航空機ファンならご存知でしょう。配備されたばかりの機体やF/A-18スーパーホーネットやF-22ラプターなどの最新鋭機には当てはまらないと思いますが、F-14トムキャットやF-4ファントムでさえ、経年変化で外板が波打っているのがわかります。

筆者も数年前にアメリカの航空博物館（カリフォルニア州オークランドだったと思う……）でレストア中のトムキャットを触りまくって「へえ、ベコベコやな」と驚いた覚えがあります。余談になりますが、その博物館にはショート・ソレント（サンダーランドの発展型）、ハリヤーのNASA実験機AV-8、カーチス・ジェニー、B-52の尾部機銃なんぞがてんこ盛りで展示されており、その他前述のレストア中トムキャットやA-3スカイウォリアー、A-4スカイホーク、A-6イントルーダーなどの海軍機が見放題、触り放題でした。他に退役軍人の方が趣味で製作した完成品が100機以上展示されており、心

イングしていきます。

ベコツキが終わったら、もう1度リベットラインを書き、ハセガワの新兵器「リベットルーラー」でリベットを打っていきます。カルコを使用してリベットをより深く打ち込んだらベコツキ再現終了です。

■今回も改造る

思ったよりもベコツキ作業がスムーズに進んだので、我慢できずに改造です。いつの間にかキットをストレートに組めない体になってしまいました……。

まずハ45エンジンの製作ですが、キットのパーツはカウリングの前面開口部から見える範囲しかパーツ化されておらず、裏面は肉抜きされ吸排気管のたぐいは一切省略されています。まずエボキシパテで肉抜き部分を裏打ちし形を整えます。ブラペーパーを使用してシリンドラー背面にバフプレートを取り付けていきます。金属パイプやビニールコードで排気管、点火プラグコードなどのディテールを加えてエンジン部分は終了です。

次にエンジンカウルと胴体部分の開口作業ですが、今回は胴体右側のエンジンカウル部、エンジン背部、胴体機銃側面部、胴体機銃弾倉部の4ヶ所にしました。パネル

グ以外はストレートに組んでいます。その他の追加工作は、ブレーキパイプ、補助翼の可動、排気管の開口などです。

■波打たせるPart II

内部の具を組み込んで、胴体と主翼を組み立てます。さすが国産最新キットだけにノンストレス、ノンパテで会いはバッチリです。サーフェイサーを吹き全体を乾かしてみますが、うーん、もう一つです。下地を吹く前にサンディングし過ぎたせいか、ベコツキ感が足りないような気がします。熟考しましたが、再度リベットラインをなぞり「波打たせる作業Part II」です。

今度はリユーターを使うことはできないので、0.5mm厚のブラパンに400番のサンディングペーパーを巻きつけた「波打たせる2号」を何枚か作っておきます。チマチマとリベットラインをなぞり様子を見ながら作業を進めます。サーフェイサーを吹いて確認してはなぞり、再度サーフェイサーを吹いてはなぞり、の繰り返しです。もちろん壊ってしまったリベットも再度打ち直さなければならないので、とんでもない地味な作業となりました。後述しますが、このベコ



請勿以任何形式轉載至貪婪大陸
嚴禁商業用途

翼がバクバク高鳴ったのを感じています。いつか1/72スケールでこの博物館のジオラマを作っちゃる！と画策しております。（編注：オークランド西部航空博物館。HP：<http://www.western-aerospace-museum.org/>）

話は大幅にそれましたが、ということで外板のベコツキ再現です。まず三層紙を1/32に拡大コピーして胴体と主翼パーツにリベットラインを書き、その線をリユーターで削り取っていきます。削り取る深さや幅はこれといったベースがないので、センスが命ずるままでもいいでしょう。次に荒削りしたラインを耐水ペーパーでサンデ

開口部のフチ、ネジ受けの部分を残してカッティングします。ネジ受け部分はピンバイスで穴を開け、ヤスリで形を整えておきます。内部工作ですが、ジャンクパーツ、プラ材、金属パーツを用いてフルスクラッチです。例のごとく実機写真を眺めながらのテキトースクラッチなのであしからず。コクピットですが、シートベルトとパイピン



ツキ再現にはまだまだテクニックが不足しているようです。ある程度で妥協して塗装に移りましょう。

■塗る、剥がす

やっと塗装です。まず全体にGSIクレオス Mr.カラーNo.8シルバーを吹き付けます。クリアーを吹いてから国籍マークの赤、主翼前縁やマーキングの黄、機首上部の黒を吹いて、しっかりとマスキングしておきます。

次に塗装のはがれを再現するために、はがせるタイプのマスキングゾルでところどころをマスキングしていきます。パネルライン、リベットラインに黒でシャドーを入れてから、

エナメル塗料を用いて下面はブラック+ブラウンで、上面は薄いグリーンでスミ入れしてから、ところどころにウェザリングをかけてカンシェーイ！です。

■反省する、予告る

さて今回のベコツキ表現ですが、以前本誌34号で制作したハセガワ1/32 F6Fヘルキャットと同様に、もしくはそれ以上に“さりげなさ過ぎ”ました。ベコツキ具合がブラ素地の時、下地を吹いた時、塗装後、と微妙に変化していくので、思い通りのベコツキ具合は再現できませんでした。これを反省材料に



▲前面図を1/32に拡大コピーし、リベットライン、パネルラインを書き込む。



下面色はNo.128灰緑色、上面色はNo.129濃緑色（中島系）にNo.16濃緑色（2）を多少加えたもので塗装していきます。

乾燥後マスキングを取り去り、はがし過ぎた！と思う部分に再度上面色をピンポイントで吹き付けます。マーキング部分や国籍マークもところどころはがし、下地のシルバーを露出させます。4000番、6000番の耐水ペーパーで表面を落ち磨かせて基本塗装は終了です。

して、いつか日本機で再チャレンジしたいと思っています。ハア〜（ため息）。

気を取り直して、今回は久しぶりの現用機で大改造大会をやっちゃおうと思っていますので、楽しみに！



▲外板の波打ち再現のため、ペーパーで磨き込み。



▲主翼、胴体のベコツキ作業終了。後耐水ペーパーで表面を仕上げる。

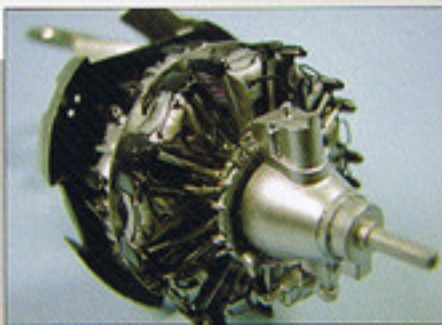




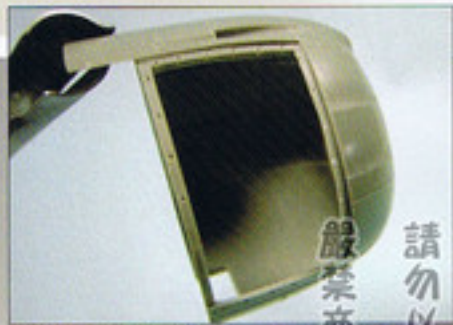
◀補助翼は切り離し、真ちゅう線などを用いて可動にした。



▲キットのパーツをベースにしてハ45エンジンを作る！



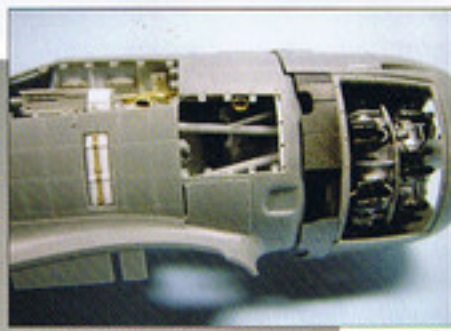
▲ブラザーバーでバッフルプレートを自作したほか、排気管、プラグコードも追加。



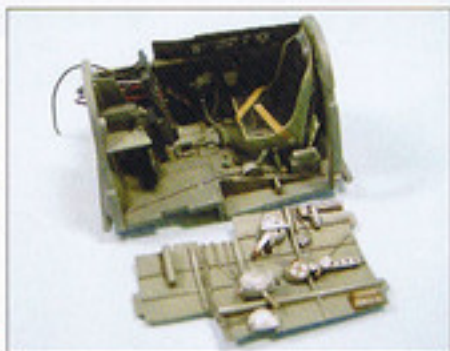
▲エンジンカウルのカッティング。ネジ受けの穴を残し、カットするのガミシ

請勿以任何形式轉載至香港大陸
嚴禁商業用途

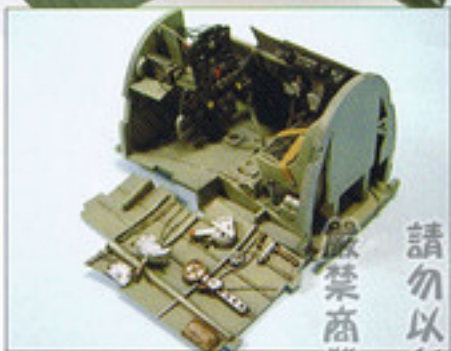




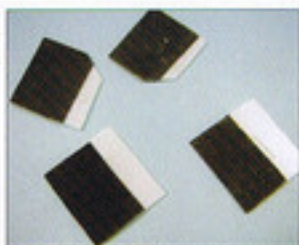
▲内部の具は実機写真を頼りながらジャンクパーツやプラ材などでスクラッチ。



▲コクピット内部はパイピングとシートベルト以外はストレート組み。



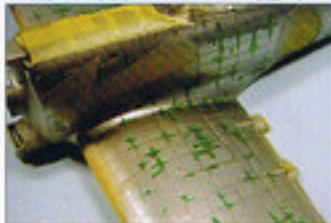
請勿以任和形式轉載至各大陸
嚴禁商業用途



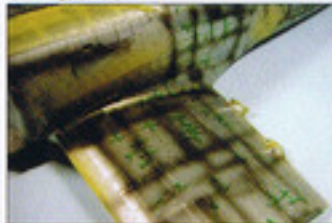
◀自作ツール“波打たせ君2号”0.5mmプラパンに400番耐水ペーパーを巻いたもの。
▶サーフェイサーを吹いた後、波打たせ君2号でリベットラインをなぞっていく。



▼各部のマスキング後シルバーを吹き、はがれ再塗装のため表面にマスキングゾルを塗る。



▼パネルライン、リベットラインに黒でシャドーを入れる。



▼上面色はNo.129濃緑色（中島系）にNo.129濃緑色（2）を多少加えた色で塗る。



疾風の決定版として登場した記念碑的キット

Nakajima Ki-84-I Type 4 Fighter Hayate

ハセガワ1/48 中島キ-84-I 四式戦闘機 疾風

一貫してヒコーキモケイの制作を重ねる前島さん、今月は連載とは別に、新資料に遭遇した嬉しさから、一気にハセガワ1/48疾風を制作。大人って楽しいんです。



■B-29撃墜マーク付疾風の事実

さて、何を作るのか、この時ほどモデラーとして幸せを感じることはない。(1) その機にまつわるドラマの新事実が出現した時。(2) マイッタ!といった作例に出遭った時。(3) 待ちに待った機種が発売された時。(4) 素晴らしいカラー図面の資料を見つけた時。(5) 編集部から特集の依頼があった時。

今回の疾風制作のきっかけは(1)と(4)だった。友人の資料収集家のYからイラストレーター波部利久氏の折込カラーイラストと、渡辺洋二氏の「望んだ回想」という、従来の定説を完全に覆す記事を見せられた時、胸躍るショックを受けた。その詳細は省くとして、それは昭和19(1944)年12月3日、B-29を厚木上空で1機撃墜、2機撃破したスコアマークをカウリングに記し、翌年の2月10日、館林上空でB-29に体当たりを敢行、2機同時撃墜(体当たりされた機と後続機が衝突)したという操縦者が第1練成飛行隊 第1中隊長 倉井利三少尉と判明したこと。以前発表されていたカラーイラストも最新情報にもとづいて修正され

た。これは作るしかない、と決断。

■増加試作機へのプチ改造

今回の倉井機は、1練成に多数装備されていたという増加試作機。疾風の増試機と量産機は、それぞれ前期と後期で細部も入り乱れ、その判別もややこしい。詳細は学研『疾風』を参照していただくとして、ここでは主な相違点だけをおさえて“大人機型”の完成を目指します。

- (1) 操縦士のヘッドレストにロールバーがなく簡易装甲板のみで支えているタイプ。キットのヘッドレストを削ってプラ棒、プラ板、ジャンクパーツの類当てで簡単対応。
- (2) 翼下の爆弾、落下タンク兼用懸吊架のモールドを消して、胴体下に落下タンク懸吊架を作る。机蓋の懸吊架をお手軽流用。
- (3) 脚柱の内側後部にある脚引込みリンクカバーのバルジを削り、開閉蓋式のリンクカバーを



厳禁商業用途

請勿以任何形式轉載至商業大陸

つくる。四角い穴をピンバイスで開く。うすい
プラバンとプラ棒で安易にセッティング。

(4) 主車輪ホイールは同様のブレーキ冷却用ス
リット付きパーツを使用。

■コクピットの? シートベルトの有り無し

コクピットの制作はストレートで充分。私は
両サイドに若干のコード類を追加しました。シ
ートベルトはモールドを丁寧に塗り分けるだけ。
金属部はMr.カラーのメッキシルバーでピカッと
アクセント。ここまではスラスラと。

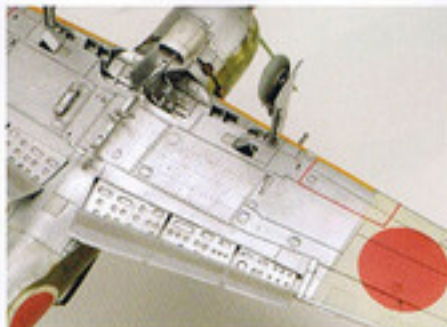
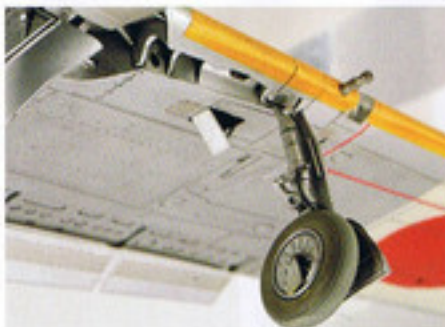
ところが背当シートからの肩ベルトがない!
腰ベルトだけではドッグファイトなどできませ
ん。他機種キットでも何故か、ないものが多い。
サラリーマン兼モデラー兼小型機パイロット
の友人Fに聞いても、それはあり得ない!と一
笑に付されました。一説によれば後方視認のさ
いに窮屈なので装着しない操縦者もいたという
が、肩ベルトそのものは背部に装備されていた
はずとのこと。今回の作例は、推定でエッチ
ングシートベルトを背部に装着。

■コクピットの? コクピット青竹色説

キットの指定も、過去の作例も、定評あるコ
クピット解説イラストも、みんな仲良く青竹オ
ンパレード。それでも私の頭の中で“フライト”
が点灯。以前何かの資料で、疾風のコクピット
は、陸軍正式塗料の“灰藍色”で塗られていた
という記事の記憶がよみがえった。その資料確
認にてこずっていたところ、あった! なんと
目の前に開いていた渡部利久氏作の修正版カラ
ーイラスト(航空情報)の注釈に、取材から得
られた事実として明記されていた。しかもその
近似色として「ダークシーグレー」とのキャプ
ションまで付いて! 作例ではGSIクレオスの
Mr.カラーNo.331ダークシーグレーに若干No.72
ミディアムブルーを加え青味を強調しました。

■各部のディテールアップ

○機体全面にリベッティング: カル
コや微細な輪形リベット(0.25mm)を
打てるツール(彫金用の工具)を
使って、ゆっくりと(これがコツ)
目測しつつ打っていきます。慣れて
くると、リズムカルにスピードが出
てきますが、これはリベット間隔が
狂う原因。とにかく、FMでも聴
きながらゆっくりがベストで
す。リベットガイドには粘



着性のカッティングシートを細切りして使っ
ていますが、ダイモテープやハイテックスキ
ングテープよりずっと経済的です。これにもコツ
があり、めんどくさくがらずに2回くらい割がし
て使ったら新しいモノに交換すること。作業効
率が上がります。またこのシートは1000円も買
ったら一生使える量アリ。素材店などで購入で
きます。

○ハ45エンジン: 0.35mmのエナメル線でブッ
シュロッドを表現。同時にシリンダー前面に見え
る大きなロッド(プロペラピッチ手動調整用)
を追加。

○主車輪、脚カバーとカウルフラップ: 航空機
の軽さを感じてもらうため、それぞれの部品を
裏からリューターで薄く削るのは必須。

○脚収納庫: さかづのフレキシブルワイヤー
(0.50.7mm)で若干のバイピング。

○コクピット: 側面、床、照準器に若干のバイ
ピング。計器盤はデカール。

○キャノピー: エッジをその枠内で削ってや
や薄く見せる。失敗が怖い場合は、事前にここ
のパーツだけメーカーのカスタマーサービスか
ら購入しておくのもいいかも。

○疾風のアンテナ空中線には張り方が3種類あ
り、渡部利久氏作のカラーイラストに見られる
タイプにした。0.4号の釣り糸を張り、ダーク
グレーのエナメルで着色。

○その他: 主翼上面に脚出し確認ロッド。脚柱
にブレーキパイプを追加。翼前縁に
ある前照灯にさかづのプロジェクト
ターライトを使用。胴体左側面に足
掛けをプラ材で追加。

■“疾風色”のイメージング

今回は最初に上下全体にグロスグレーを吹く。
それからNo.8シルバーとスーパーファインシル
バーをほぼ同量混ぜ、そこにNo.35ライトグレー
を数滴加え、光沢クリアーを多めに入れたもの
を吹く。下面は主翼パネル毎に若干明度と色相
の違うシルバーを2~3種類くらい吹いて、無塗
装の金属感を表現。

上面の迷彩色は2種類あり、増加試作機や前期
量産機は、部隊塗装による陸軍系濃緑色。いっ
ぱう昭和19(1944)年夏頃からの量産機は、軍
部通達により上面が“黄緑七号色”(暗褐色)、
下面“灰緑色”に代わっていった。今回の作例
の増加試作機は、その生産時期からして部隊塗
装での濃緑色と断定。渡部利久氏のカラーイラ
ストとも一致。この濃緑色はNo.303グリーン
FS34102を主体にNo.304オリーブドラブを約5対
3の比率で混ぜ。これと暗めの濃緑色として、前
記No.304に代わりNo.120 RLM80オリーブグ
リーンを若干加える。この2色の準備で着色作業がス
タート。

■疾風のコスプレ?!

前記の2色をエアブラシでややムラ状に吹
く。主翼付け根や機首、キャノピー下側面の部
分、胴体背部などハガレを表現したい箇所は、
下地のシルバーが見え隠れするように、エア
ブラシのボケ幅を絞って着色。

塗装後3~4分前後(時間がたつとハガシづら
くなるので注意)にハガレ強調部を、橋柱など
で上面色を軽くこするだけで、下地のシルバー

が覗きます。事前に
シルバーにクリアー
を多めに塗ったのは、
このハガレシヤす
さを考えること。
またコスプレは迷
色部分など、エナ



■ハセガワ1/48 中島キ-84-I 四式戦闘機 疾風
■制作・文: 前島敏彦
■Hasegawa 1/48 Nakajima Ki-84-I Type 4 Fighter Hayate (Frank)
■Modeled & Text by TOSHIHIKO MAEJIMA



メル溶剤を綿棒につけてこすれば、色味が薄くなります。この「コスプレ」は失敗の少ないテクとして、密かに推奨します。

■フラップ上面色にもっと注意を

夜風のフラップは、多くの作例で何故か無塗装シルバー。このフラップ上面へのカラーリングも他の中島製機体（隼、彩雲、天山など）のフラップ例を見れば明らか。一部資料写真からも機体迷彩色で塗装されているのがわかります。ただし無塗装完成機など、例外的に塗装を省いた例もあったかも知れません。

■細部のカラーリング

- 機首防眩塗装はNo.166 RLM66ブラックグレーとNo.125カウリング色を混色、これに退色イメージでNo.11ガルグレーを加えて明度UP。この防眩塗装は全ての疾風に施されていた。
- プロペラはNo.319薄松葉色にNo.11ガルグレーを微量加えて明度UP、さらにNo.304オリブドラブを加えて色調整。
- 排気管はスーパーファインシルバーにNo.43ウッドブラウンとNo.29底底色を混色、それに

フラットクリアーを入れておく。

○日の丸、識別帯、戦隊マーク、主翼上面の「読むなライン」（黄色）や脚出し確認スティック（黄色）などは全て吹きつけ。機首の撃墜撃破マークはエアロマスターデカールにうっすらと機体色をオーバースプレーし、スケールカラーとしての色調整をする。翼下面の日の丸には、全面無塗装時の痕跡として防空標識の四角い白地を推定表現。

■作例を振り返って

○反省と収穫：キャノピー枠への塗料の食い付きをよくするために、フィニッシュ

厳禁商業用途

請勿以任何形式轉載至含禁大陸





▲コックピット内は丁寧に塗り分けるだけで充分。計器盤はデカール。パイピングは未だ途中状態。



ズのマルチプライマーを筆で塗布。ところが乾燥後に塗料を吹いたところ、プライマーの筆跡が残っていて見事な汚さに！結局再度マスキングからの2度手間に。従来通り希釈できるタイプのMr.メタルプライマーをエアブラシで吹くのが正解のようだ。

○大ショック！：約10年使用の名コンプレッサー、イタリア製ワーサー15Aが突然ダウン。数ヶ月前からエア漏れがあり応急処置で対応してきたが、ついに異臭と煙で断念。緊急対応で息子のコンプレッサー“みにまるくん”で代替。その間、最新のコンプレッサー情報を、ネットや友人から収集。私の条件は、タンク付き、静寂、パワー（塗装は低圧でも洗浄には高圧が必須）これにヒットしたのがエアテックスの“サイレントコンプレッサーAPC-007”。しかもベースは以前使用のワーサー15Aの改良版。これに水取りフィルターを追加装備して購入。本体にもりっぱなエアレギュレーターが装備。大満足。



▲前期の増加試作機に見られる簡易装甲板によるヘッドレストへ変更。
▼四角い開閉き込みリンクカバーを設置。飛前から流用した懸吊索を胴体中央にセット。



▲▼開力バーを薄く見せることで、機体の軽さとリアリティを表現。



▶プッシュロッドやプロペラピッチ手動調整ロッドを追加。



▲これから筆者使用出来る、エアテックスの“サイレントコンプレッサーAPC-007”。取扱い／エアテックス06-6543-2001。http://www.airbrush.co.jp

請勿以任何形式轉載至商業用途

■参考資料（資料提供：堀光二大）

『航空ファン』2001年1月号 連部時代カラーイラスト改訂版（国史）
『航空ファン』2001年1月号「空軍の歴史B-29超戦艦は偽りの空軍」連部洋二（国史）
『歴史群像太平洋戦史シリーズVol.48 四式戦闘機 疾風』（学研）
『ミリタリーコレクション』日本航空博物館（コーエー）
『スケールアビエーションVol.9』（大日本航空）『モデルズワークショップNo.2 日本航空博物館 疾風』（大日本航空）
『日本航空博物館 疾風』（モデルアート社）『世界の傑作機No.19 四式戦闘機 疾風』（文芸堂）
“JAPANESE AIRCRAFT INTERIORS 1940-1945”, R.C. MCKESH (MONOGRAM)



■童友社 1/32 中島キ-84 四式戦闘機 疾風
 ■制作・文：大野周作
 ■Doyusha 1/32 Nakajima Ki-84 Type 4 Fighter Hayate (Frank)
 ■Modeled & Text by SHUSAKU OHNO

新参としてプラモデルに参入した旧トミーの第1作がこの1/32疾風。童友社に引き継がれ、高橋画伯の箱絵でリリースされたのも記憶に新しいところ。リベットびっしりの古いキットですが、その濃厚なディテールが、今ではかえって魅力です。

往年のキットで「著しい剥がれ」塗装を楽しむ

童友社1/32 中島キ-84 四式戦闘機 疾風

Nakajima Ki-84 Type 4 Fighter Hayate

■今月のヘマ&リカバリー



▲バテを急いで硬化させようとハロゲンランプに近づけ、ちょっとテレビに熱中している間にこのようになります、ということはあること(?)。

▼人に見られたくない時間が過ぎ、バテが硬化したら完全に固まる前にナイフで削りたい所に切り出します。



▲コマンドZで元に戻るはずもなく、すっぱりあきらめて埋め直しなけりゃ通さない。状況を見てどうするか考える。もう一度買ってくるのはイヤだし。

▼さらに待って、ほぼ硬化したら次は耐水ペーパーで形を作ります。裏のキットを紹介したかったのですが、なるべくバテ通りに。



▲時間もないのでポリバテでやっつけてやる。患部を切り取り、プラバンで土台を作り、でもってポリバテを塗り、流れないように固まるまでぐりぐり動かす。

▼ペーパーで弾痕孔を削ったらブラッシュハイダーを作るため、もう一度バテ塗り。固まったら整形、リベット打っておしまい。



請勿以任何形式轉載至商業用途
 嚴禁商業用途



■日の丸の白縁がズレないマスキングのやり方



▼その通りに、縁を合わせながら白縁外周テープを切り出した箇所のテープを貼ります。



▲今回のように、日の丸の下に顔を書きたい場合、日の丸の白縁がズレそうであれば、このように白縁外周テープを剥がし、白を吹きます。



▲まずは赤を吹き、その周囲に切り出したテープで赤をマスク。その上に、空を作った白縁外周のテープを、中心を合わせながら貼ります。



■キットの味

このシリーズは、表面にびっしり打たれたリベットが魅力です。ハセガワのキットがある今、決してシャープとは言えない行まいですが、発売当時、疾風はこのキットのように解釈されていたように思います。マイクロエース148（旧オオタキ）キットなどにも趣が似ています。太く、丸い胴体などを修正したいと思えば、ハセガワを作れば良いわけです。というわけで、このキットを楽しんじゃいましょう。

■日本機塗装の剥げ

日本機に使用された塗料は、気候

のせい、プライマーなどの処理のせい、特に後期の機体は著しく塗装が剥がれています。製造されてから長くても数年しか経っていないにもかかわらず、その剥がれ方は尋常ではありません。そしてこの剥がれ表現をどうするか、モデラーの楽しみとなり、様々な方法が試されました。

本キットのように、リベットがびっしり打たれたキットは、スクラッチやテープなどで実際に塗装を剥がす方法にはうってつけです。従って、説明書にある「塗装が著しくはがれていました」という説明のある飛行第51戦隊長 池田忠雄 大尉機の塗装例を選ぶのは必然と言えるでしょう。付属のカルトグラフ製デカールは非常に

イイです。

■青春の忘れ物

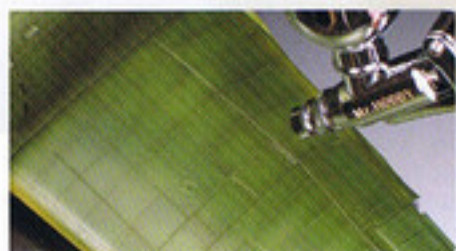
本キットに限らず、新作キットがあるのになんで作るの？ っていう古いキットは多々あります。ちょっとサボっていると、どんどん増えます。どんなに魅力的なキットでも、機種が人気アイテムなら特に、いつか新作キットが発売されます。ではなぜ、童友社の疾風なんでしょう。答えは簡単、魅力的なキットなのに、作ったことが無いからです。押入に眠っている間にハセガワの新作が出てしまったからです。



請勿以任何形式轉載至貪婪大陸
嚴禁商業用途



■クセになる「著しい剥がれ」のやり方



▲緑の上にクリアーを吹き、完全乾燥後に機体色を吹きまします。剥がれに負けない、くどい塗装をしておきましょう。
▼昔のオネエチャンのスネ毛剥がしみたいひにひっ剥がします。するってえと、「著しい剥がれ」が。



▲あらかた乾いたら、爪楊枝などでリベットラインに沿って引っ掻いていきます。
▼テープは状況によって剥がれ方が違うので、随っこの方で試してからやりましょう。細かいところは爪楊枝などで。



▲でもって、そこにマスキングテープをはり、特に剥がしたいところを密着させます。
▼全部剥がしたくなるのをこらえ、ほどほどのところでスミ入れ、汚し、仕上げに入ります。



請勿以任何形式轉載至商業用途
嚴禁商業用途





W.W.I こんなカッコいいS.E.5aが出たなんて！
おっちゃんはずらにはられません

RAF S.E.5a

w/Wolseley Viper

■ローデン1/32 RAF S.E.5a
■製作：松本州平
■協力：パウマン
■Roden 1/32 RAF S.E.5a
■Modeled by SHUHEI MATSUMOTO
■お相手：今井邦孝



請勿以任何形式轉載至
嚴禁商業用途

WWI機は空前の1/32ブーム!? 出ました、5000機以上が生産され、マノックの愛機でもある英空軍の立役者S.E.5a。イスパノスイザの後期型もいいけど、ウーズレー・バイパー エンジン付きがカッコいい。真っ赤なS.E.5aを、おっちゃんが作らないわけないじゃん (笑)。



州：イギリスNo.1エースのエドワード・マノックの愛機でもある。ところでSEって？
今：スカウト・エクスペリメンタルの略。戦闘機はスカウトと呼ばれたみたいだけど、子供の頃はSE5aの名前だと思ってた。

州：わしも（笑）。そういう名前のキット、あったで。

今：わはは、あったあった。

州：イスパノスイザ付きじゃなく、ウーズレー・バイパー付きが先に発売

されたか。イスパノスイザの方がメジャーやから？

今：いずれ出るんだろうね。でもウーズレー・バイパー付きの方が好き。

州：また告白しとる（笑）。機体の生産にエンジン追加がなくて、首無し機が並んだそうやで。ちなみにキットのエンジンは素晴らしいで。

今：広角のV型エンジンって、見込もあるね。

州：配線なんかをデテールアップ。それより何より、張り線がでれー、面倒くさい。主翼はもちろん、ラダーのリンクまでダマシや。
今：それが英軍機の醍醐味。1/72じゃなくて良くなったじゃん（笑）。

州：作ったんは、わしやで（笑）。短くはいいけど、真ちゅう線使う。

今：あとはデグス？ でも、1日で完成したやん。さっすがあ。

州：おちよくとるんかい（笑）。

今：いやいや（笑）。でも、SE5aという名前はあまりハデな塗装を知らないけど、これはイイね。

州：無骨って書かれることが多いけど、スマートな機体やで。

今：まったくだね。

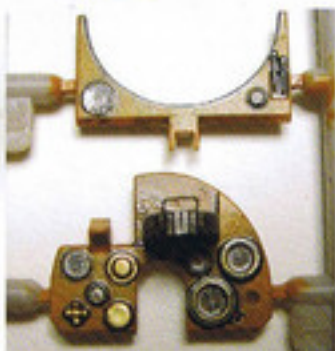
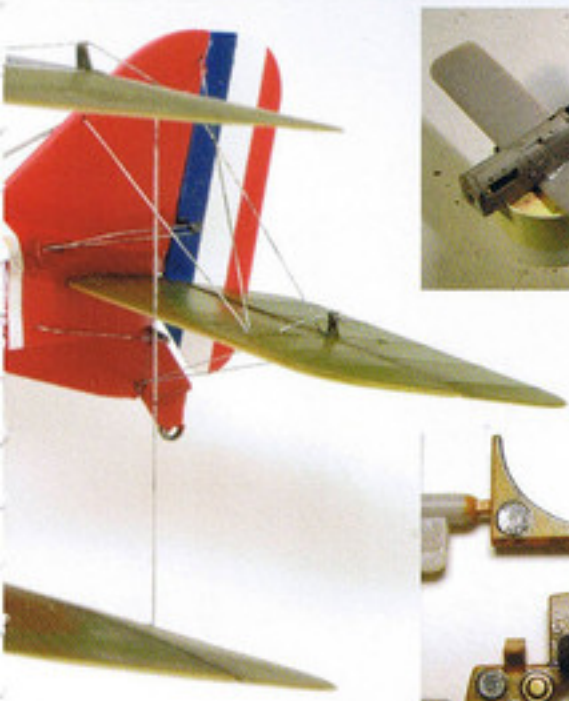
州：次はイスパノスイザ付き？

今：へへへ。

請う以何形式轉載至貧楚大陸

今井邦孝（以下：今）：SE5a。大好きです。
松本州平（以下：州）：わしも……って、なに告白し合っとるんや（笑）。
今：フォッカーやアルバトロスなんかのドイツ機が人気で、キャメル以外の英軍機って、やられメカっぽいイメージがあるような。
州：んなことあー、ないやろ。現にドイツは負けたやないの（笑）。
今：そのとおり！ SE5aは5000機以上も生産されてる傑作機だし。





請勿以任何形式轉載至貪婪大陸
嚴禁商業用途



州：WW機、特に支柱、張り線の多い機体は作るのが難しいけん、
誰にもオススメってわけにいかんけど、デカイキットから始める
とええかも。しかもローデンの1/32は出来がええし。

今：難しいキットほど、完成したときの達成感はひとしお。

州：なんだか大人になったような気がするで。

今：おっちゃんは、どっから見ても子供には見えないよ（笑）。

州：わはは、どこ見とるんや（怒）。

今：あはは。でも中年モデラーは子供るとき、映画やレベルの1/72
でWW機はお馴染みじゃん。

州：「スカイエース」「レッドバロン」「華麗なる〜」……。

今：帰って「ブルーマックス」のDVD見よ（笑）。

嚴禁商業用途

請勿以任何形式轉載至貪婪大陸





- ハセガワ1/72 B-26B/Cマローダー
- ハセガワ1/72 三菱A6M2b 零式艦上戦闘機21型
- 製作・文：佐藤太一
- Hasegawa 1/72 B-26B/C Marauder
- Hasegawa 1/72 Mitsubishi A6M2b Zero Fighter (Zeke) Type 21
- Modeled & Text by TAICHI SATO



ジオラマ野郎 佐藤太一のDiorama Life 爆発!

EXPLOSION!

ハセガワ1/72 B-26B/Cマローダー&
三菱A6M2b 零式艦上戦闘機21型

新作キットを、なんてことするの!? でも製作意欲が先走り、作っちゃったんだからしょうがない(笑)。いつものようにやる気モデリングのジオラマ野郎です。



請勿以任何形式轉載至貪婪大陸
嚴禁商業用途



▲おもむろにぶった切っちゃったのですが……不安だ。(汗)



▲ガシャポンカプセルの周りに機体をくっ付けていく……もった不安だ。



▲塗装して台にセットしてある。けっこう見られるもんだという愛着が湧いてくる。

■坂井三郎の空戦を再現！

1942年6月9日、坂井はラエ上空でB-26を撃墜した。B-26は同じ作戦に製造番号1488号機（最初の量産型）が参加しているのが判明しているので、ハセガワの新製品のB-26B/C型ではないと思われるが、B型も同年5月より生産が始まっているのでこの時期に配備されていてもおかしくはないかもしれない。この時の状況を米側がどう

見ていたか、加藤寛一郎著「零戦の秘術」より紹介しよう。

「このものすごい零戦は、クロッソン機からわずか1mもはなれていないところを、矢のようにすれ違ったと思うと、つぎの瞬間、スチブンス中佐の同乗していた第一波編隊の2番機に激突したようにみえた。とたんに猛烈な大爆発がおり、2番機は空中に四散してしまった」

この場面を私が最初に読んだのは、もちろん

坂井三郎著「大空のサムライ」である。B-26が新製品で出ると聞いて、最初に思い描いたのもこの場面である。しかしこの場面を作るにあたりひとつ問題があった。新製品がぶった切って爆発させたらメーカーさんが怒るんじゃないだろうか？ 1週間悩んだ。そして組み合わせる零戦が他のメーカーだったら大問題だろうが、おなじハセガワの製品ならよかんべと判断して作ることにしたが悩みすぎて制作期間が2週間しか残



請勿以任何形式轉載至商業大陸
嚴禁商業用途



ってないことに気がついた。やっぺ〜、さっさと作ろう。

■機体の製作

B-26は製作上問題になる部分はなにもありません。飛行状態なら機首のオモリを気にすることもないし。ただ機首横のガンパック、初期のB型だと時期的に付けない方が良かったと後で気がつきました。今回は飛行姿勢十爆発シーンなので内部は全然見えませんが、爆弾倉や脚座内のモールドも一段と気合の入ったものになっています。

機体ができ上がったなら、適当なところに弓ノコを当ててぶった切ります。“あ〜やっちゃったよ〜。ホントに怒られないかな〜”とまた不安になります。前後で胴体を少し“くの字”にずらしたいので、切り口を少し斜めにします。切り口をガシャポンカプセルに合うように整形し脚座で仮止めた後、2液式エポキシでがっちり固定。

あとは通常通り主翼を付けて塗装してしまいます。塗装はオリブドラブ&ニュートラルグレイの標準色だとさびしいので、ミディアムグリーンも併用したまだら迷彩にしました。グリーンは色味重視でMr.カラーのロシアングリーン1を使用しました。

まずはロシアングリーン1を翼や胴体塗り分け部にエアブラシした後、下面にニュートラルグレイ、上面にオリブドラブをグリーンを残すようにフリーハンドで吹き付けていきます。普段なら基本塗装前にウェザリングのことを考えて下塗りしておくのですが、今回は製作時間の兼ね合いと、配備されて間もない機体ということで、下塗りはなしでやっています。

上面のパネルラインには軽くクリアーレッド



▲シリコンコーキング材を盛り付ける……うっわ〜、やっぺ不安だ〜。

▼うっわ〜、やっぺ不安。中から家を出てきそう。



▲脱脂剤を塗りつけていく。先っちょに2液式エポキシを塗って固めながら作業。

▼だんだん良くなってきた。だんだん良くなってくる。入ってくる〜。(怪獣めいいい！)



請勿以任何形式轉載至商業用途



でシャドー入れ。デカール貼ってツヤ消しクリアーで仕上げ、油彩でスミ入れ。もう1度ツヤ消しクリアーを吹いたのち、爆発を作ります。

■爆発の製作

シリコンコーキング剤（クリアー）に、クリアーオレンジとレッドをムラに練りこみ、ヘラでカプセルの周りに盛り付けていきます。大体の形になったら、脱脂綿にアクリルのジャーマングレーを吹き付けた物をピンセットでむしりとりながら植えていきます。この時、ピンセットの先に2倍に希釈した台所用洗剤を付けながら作業すると、先っちょにシリコンシーラン

トがまとわりつかず、脱脂綿とぐちゃぐちゃになるのが防げます。最後に全体の形を手で整え、爆発する瞬間の完成です。

あとはおなじみハセガワの零戦21型、坂井三郎機と組み合わせてベースにセットします。ベースにも雲を模して脱脂綿をボソボソと置くと良いかもしれないね。

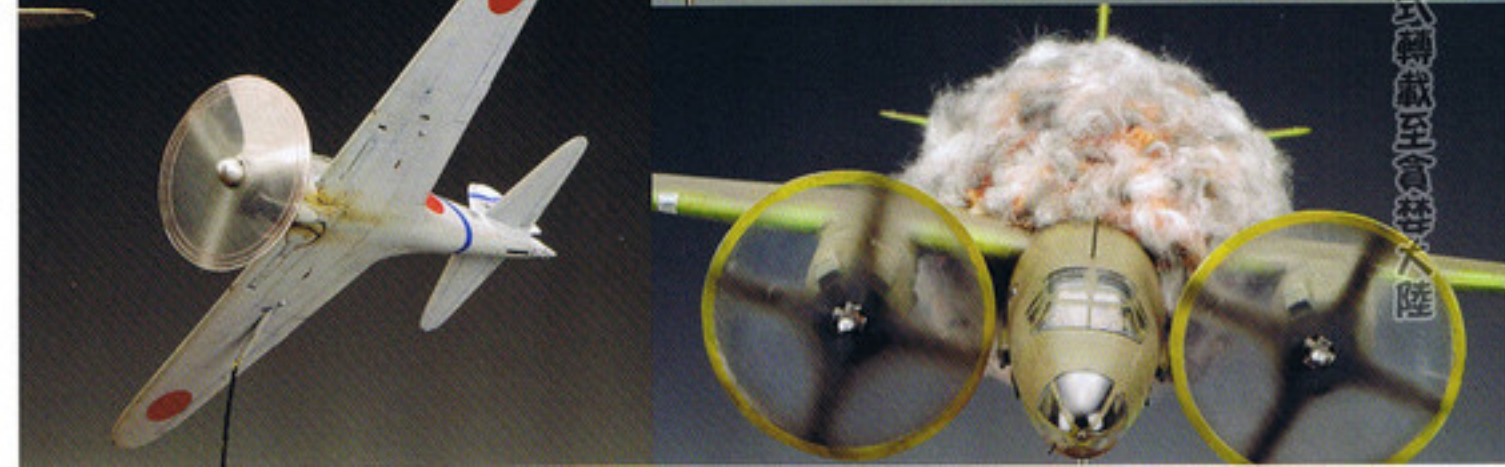
■完成して

いや〜、しかし今回はどうなることかと思ったけど、回りプロペラ付けて台にセットするとすげ〜カッコイイ。誰も覚えてくれそうにないから自分で言っちゃう。爆発はちょっと“これ

どうするっ？ 微妙だな〜”って感じだけど、もうやったもん勝ちの世界。いつもいつも上手に作ろうとすると疲れるから、下手だけどカッコイイがこれからのキーワードだね。芸能界は“エロカッコイイ”、シズルモデリングは“ヘタカッコイイ”？



請勿以任何形式轉載至商業用途



請勿以任何形式轉載至商業用途

“虎たちの饗宴”タイガーミート機を大判デカールで製作!

レベル1/72 RF-4Eタイガーミート

人気機種F-4ファントムのキットは、今昔から多くのメーカーよりさまざまなスケールでリリースされている。1/72キットは日本ではハセガワやフジミが一般的だが、他メーカーのものも限られている。なかなかの良い出来。今回はドイツレベルから新発売のRF-4Eタイガーミートを製作。確かなキット内容とトラ模様の大判デカールを堪能!

■レベル1/72 RF-4Eタイガーミート
■製作・文：本橋裕一
■Revel 1/72 RF-4E Phantom "Tigermeet"
■Modeled & Text by Yu-ichi Motohashi



■実機について

マクダネル・ダグラスF-4ファントムIIはアメリカ海軍の艦上ジェット全天候戦闘機として1958年に初飛行しましたが、その汎用性を買われて空軍でも使用され、ベトナム戦争で戦術爆撃機として活躍。日本の航空自衛隊を含め西側各国も採用、5000機以上が生産され、現用機では最も成功した戦闘機といえます。機首にカメラを搭載した写真偵察機型のRF-4Eは航空自衛隊やドイツ空軍などで使用されています。

“タイガーミート”とは、年に1度行われるNATO諸国の空軍部隊による合同演習で、1961年にイギリスで開催されて以来40年以上の歴史を持ち、現在も欧州各国の基地で行われています。参加機が“トラ”にちなんだ派手なスペシャルマーキングで参加することでも有名で、1984年のタイガーミートのホスト飛行隊だった西ドイツ空軍AG52所属のRF-4Eは機体全体に黒を基調としたトラ模様を施していました。

■キットについて

今回製作するレベル1/72 RF-4Eタイガーミートは、レベルにしばしば存在するイタリアやハセ

ガワのデカール替えOEMキットではなくレベルオリジナルのものです。パーツ分割、表面ディテールともにハセガワと似たタッチですが、胴体下補助インテイクが別パーツになっていたりと、機首のカメラが内部までちゃんと再現されていたりと一歩上をいく内容となっています。ただ胴体後部のフォトフラッシュカートリッジ収納部は閉まった状態で胴体と一体成型となっており、本キットでは問題ないものの同時期にリリースされた戦闘機型のF-4Fを作る際には埋めておくといでしょう。

付属のデカールは、全体を黒と黄色で塗り分けた派手な1984年タイガーミート参加機の塗装を再現する大判の物が入っています。他に通常のヨーロッパ迷彩を施した機体にワンポイントをあしらっただけのシンプルタイガーミート塗装機、単なるヨーロッパ迷彩塗装機の2種類も選択できます。

■製作

コックピットは綺麗な彫刻表現がなされており、しっかり塗り分けておきます。ただ計器盤やコンソールのデカールは付属しておらず、個人的にはデカールも付けて、どちらで処理するかは

製作者に委ねる方式にしてみようと思いましたが、シートや機首カメラも同様に塗り分けておきます。

吸気口はインテイクダクトこそ再現されていないものの、ダクト奥のファンブレードがパーツ化されています。胴体左右内部のピン跡を処理し、ホワイトで塗装しインテイクダクトの代わりとしておきます。インテイクベーン裏側はヒケ対策なのが肉抜きされていますが、完成後も見えるところなのでパテで埋めておきます。

胴体のアンテナパーツは一体成型となっていますが、合わせ目処理の際に邪魔になるので削り取り、後でジャンクパーツから適当な物を挿入します。胴体後部スパロウ溝部分は、他の多くのF-4キット同様に別パーツを使って埋める構成になっていますが、これだけでは上手く埋められませんのでパテを使って処理しておきます。機首AOAセンサーはキットのままではどうも実感に欠けるので、ブラ棒から削り出した物に置き換えてやります。

アクセサリは増槽タンクx3、偵察ポッド、ANALQ-184偵察ポッドが付属しますが、今回は増槽だけを使用、他はパイロンを含めて使用しないので、翼下の取り付け穴は埋めておきます。



請勿以任何形式轉載至商業大陸
嚴禁商業用途



◀ 尾翼右側の虎マークは
1/AG52第52偵察航空団第1
飛行中隊のマスコット。



◀ 第52偵察航空団AG52のエ
ンブレム。(現在はAG51に)



請勿以任何形式轉載至貪婪大陸
嚴禁商業用途





▲コックピットは十分な出来。計器盤やコンソールはモールドなので塗装で再現。



▲機首内部のカメラ類もパーツ化。カメラ窓から見えるようになっている。



▲肉抜きされたインテイクベーン裏側は完成後も見えるのでパテ埋め。



▲胴体と一体成型のアンテナは切り取り、合わせ目処理後に再生する。
▼組み立て完了。塗装の前にテープとマスキングゾルでキャノピーをマスク。



▲スバロー演は別パーツで埋めるようになっているがパテで完璧を期す。
▼ガイアノーツのブラックを塗装。クリアーをかけデカール貼りに備える。



▲ブラ棒から削り出した自作のものに置き換えた機首AOAセンサー。
▼デカール。黄色部分のリカバリー用デカールも付属。



■塗装とデカール

ほとんどの塗装をデカールで行うため塗装自体はシンプルですが、デカールの色調と塗り色を合わせる必要があります。またデカールを実際に貼った後、貼る前と色が違って見えるということがあるので、実際の塗装に入る前に水平尾翼に先にデカールを貼って確認しました。特に色調に変化はなく、塗り色もピン生のブラック（今回はガイアノーツのEx-02ブラックを使用）で問題ないようです。

というわけで全体にガイアノーツのブラック

を吹き、胴体後部の無塗装部はMr.カラースーパーメタリックシリーズのSM03スーパーアイアンで、脚柱および脚庫内部をMr.カラー316番ホワイトFS17875で塗り分けて、全体にクリアーを吹いて塗装完了です。

この後前述の大判デカールを貼りますが、位置決めをしてデカール軟化材を塗布したら、綿棒で押さえつけるようなことはできるだけせず、軟化材の力を信じて気泡処理に努めます。全てを貼り終えたら、塗装が剥がってないところや上手く貼れずに失敗してしまったところをリタッチしておきます。なおこのようなリカバリー

作業のため、親切なことに黄色部分の予備デカールも付属していますので、これを貼ってリカバリーすることも可能です。

その後スミ入れを行います。記念塗装機にスミ入れを行うのは個人的に好きではないので、無塗装部分や脚柱といったワンポイントに行うだけに止めておきました。後はいつものように細部を塗りわけ、全体につや消しクリアーを吹いて完成です。



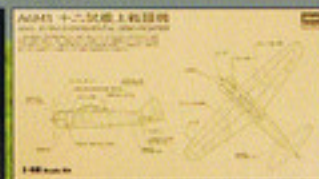
請勿以任何形式轉載至含替大陸

Persuit the Beauty

堀越二郎 戦闘機における“美”の追求

ハセガワ1/48 A6M1 十二試艦上戦闘機

「私は一瞬、自分がこの飛行機の設計者であることも忘れて、
「美しい!!」と、暗喩の底で叫んでいた」 ハセガワ65周年
記念リリースの零戦15型フルコンプリートセットから「十二
試艦戦」の伝説の初飛行をシズルモデリングで再現!



■ハセガワ1/48 A6M1 十二試艦上戦闘機
（「零戦全型フルコンプリートセット」より）
■製作・文：竹内規矩夫
■Hasegawa 1/48 A6M1 12-Shi Experimental Zero Fighter
（from "All Models of Zero Fighter Full Completer"）
■Modeled & Text: KIKUO TAKEUCHI

■零戦という“美”の創造

零戦の歴史を語る場合、その設計者である堀越二郎技師の名は欠かすことができません。「新機軸を打ち出すのは苦しくもあるが、また技術者冥利に尽きる楽しみ」と言い切る堀越技師のすぐれた能力は、零戦は言うにおよばず、前作の九六艦戦、初の局地戦闘機である雷電、日本海軍最後の艦上戦闘機烈風などにも発揮されています。

彼の才能は技術的な側面のみならず、スタイリングやフォルムの美しさにも表れています。美観の価値観は文化や人物などそれぞれに異なり、一概に決めることはできません。しかし国内の航空ファンはもとより、全世界からその美しさを称えられる零戦は、堀越技師が創造した新たな“美”でもあったのです。

■七試単戦の教訓

明治36（1903）年、ライト兄弟初飛行の年に群馬県で生まれた堀越二郎は、少年時代に当時第一次世界大戦で闘っていたニューボール、スパッド、フォッカー、ソビースなどの最新鋭戦闘機に興味をもち、航空機開発を一生の仕事と決意します。大正13（1924）年に東京帝国大学航空学科に進学、卒業後は中島飛行機と並ぶ大軍用機メーカーの三菱

内燃機（のちの三菱重工業）に入社、名古屋航空機製作所に配属されます。入社3年目の昭和4（1929）年にはヨーロッパ各国およびアメリカに渡り、現地の技術を吸収して帰国しています。

二郎は昭和7（1932）年、海軍から発注された七試艦上戦闘機の設計主任を命じられます。中島との競争試作となる新艦戦の開発は大きなプレッシャーでしたが、二郎は新しい技術を積極的に導入します。主流の複葉ではなく艦上戦闘機として世界初の単葉形式を採用、胴体は金属製セミモノコックという意欲的なデザインでしたが工作技術の問題から主翼は羽布張り、細部の設計も十分に行き届かず、全体のスタイルも悪く「鈍重なアヒル」といわれるほどでした。

昭和8（1933）年に完成した七試艦戦は1号機、2号機ともに墜落大破、中島機とあわせて不採用となります。「意欲して技伴わざる設計主任」と自嘲する二郎でしたが、この失敗の経験や設計チームの結束は、次の九試単戦の開発に生かされることになりました。

■九六艦戦の成功

翌年海軍は再び「九試単戦」の試作発注を各社に

行います。三菱では再び設計主任を二郎に命じます。欧米に比べエンジン開発で遅れていた日本の事情から、二郎は機体設計でこれをカバーするべく奮闘します。基本的には七試艦戦を踏襲しながら細部を大幅にリファイン、主翼も金属製となり機体の表面には空気抵抗を減少させる滑らかな「魚鱗」を世界に先駆けて使用したほか、徹底的な軽量化もはかられました。

昭和10（1935）年に完成した九試単戦は九六式艦戦より約100km/hも速い最大速度450km/hをマーク、模擬空戦でも運動性と上昇力で圧倒する驚異的な性能を発揮します。また楕円型的主翼と細い胴体からなるスタイリングも「まるで外国にいるようだ」と美しさを賞賛されることになります。

三菱の九試単戦は昭和11（1936）年秋に「九六式一艦上戦闘機」として制式採用され、設計者の二郎の名前は一挙に高まります。九六艦戦の成功は二郎個人や会社の成功にとどまらず、海軍の意欲でもあった日本航空技術の自立も意味していました。

■開発の苦闘

九六艦戦の大成功に自信を深めた二郎でしたが、昭和12（1937）年秋、海軍から次期戦闘機の要求書「十二試艦上戦闘機計画要求書」を手渡された二

請勿以任何形式轉載至貪婪大陸



部は、その内容にショックを受けます。大変な苦労をして開発した九六艦戦から最大速度をさらに50km/h以上アップ、航続力は2倍、武装は20mm機銃2挺を装備、それだけで空戦性能は九六艦戦に劣らないという過酷な要求が並べられていたのです。中島では競争試作を辞退し、二郎も「こんな戦闘機がほんとうに実現するのか」と暗中模索の状況が続きます。

あまりにも厳しい要求に対し二郎は海軍との会議で、要求性能をどれか1つでもゆるめられないか、と願い出します。しかし会議の出席者の中でもさまざまな意見の相違があり議論は平行線をたどります。二郎は「この交わることのない議論にピリオドを打つには、設計者が現実要求通りの物を作ってみせる以外にない」と決意を新たにします。

エンジンは三菱の瑞星（875ps）、プロペラは可変ピッチの定速プロペラと決まりましたが、機体の設計は茨の道が待っていました。まず重量軽減のため「機材全重量の10万分の1（約15g）まで徹底的に管理」というルールを打ち出し、設計変更による無駄な重量増加を抑えましたが「機体の重量はなかなか減らないのに、スタッフの体重はどんどん減っていく」という苦労の連続でした。主翼材には「超々ジュラルミン」という新しいアルミ合金を採

用し30kg軽量化、また細長い部材は曲げ強度に余裕があることに気がついた二郎は、一律だった安全基準の合理的な見直しにより大幅な軽量化に成功します。これらの地道な努力の結果、機体重量は計画を約20kg下回る1510.9kgに仕上がりました。

機体構造と同様に重要なのが空力設計でした。空気抵抗を少なく、かつ安定性や操縦性のよい機体とするため1/8模型で風洞実験を繰り返します。主翼は低速時の翼端失速を防止するため翼端に行くにしたがって主翼の迎え角を小さくする「ねじり下げ」を採用。また20mm機銃射撃時の安定性の確保のため胴体を長く、垂直尾翼を大きく取りました。落下式燃料タンクも世界に類のない抵抗の少ない流線型のものを作り出します。

秋から組み立ての始まった1号機は昭和14（1939）年3月に完成します。全体を灰緑色、カウリングを黒く塗った十二試艦戦は名古屋から牛車2台に分載されて岐阜県各務原飛行場へ輸送されました。

■十二試艦戦の初飛行

海軍での強度試験もパスし、4月1日、いよいよ初飛行が行われます。陸軍の飛行訓練が終了した午後4時から地上滑走を何度か繰り返し、午後5時半、主翼を出したまま高度10mで500mのジャンプ飛行を行いました。以後12日まで6回の飛行テストが行われましたがいずれも脚を出した状態で、低速の慣性飛行でした。

4月14日、初めて主翼を引き込んでの本格的な飛行テストが行われました。十二試艦戦は三菱のベテランパイロット志摩操艦士の搭乗により高い運動性を示し、従来の戦闘機とは明らかに違いを見せます。この時の様子を二郎は自著『零戦 その誕生と栄光の記録』でこのように記しています。「試作機は、やっと自由な飛行が許された若鳥のように、歓喜の声を上げながら、奔放に、大胆に飛行をくりかえした。びんと張りつめた翼は、空気を鋭く引き裂き、反転するたびにキラリキラリと陽光を反射した。私は一瞬、自分がこの飛行機の設計者であることも忘れて、『美しい！』と、暗喩の底で叫んでいた」。

テスト飛行ではいくつかの問題点も出てきましたが、振動問題はプロペラを当初予定の3個プロペラに交換することで収束、九六艦戦からの課題であった高速で昇降舵が効き過ぎる問題については、操縦系統の素材を伸び縮みのする剛性の弱いものに変更、高速で力がかかったときの舵の動きを少なくするという「剛性低下方式」という新しいアイディアで解決しました。

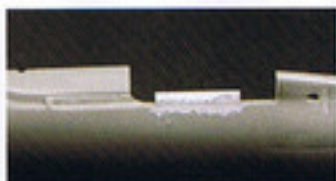
飛行回数119回、飛行時間43時間26分におよぶ社内テストは9月13日に完了し、翌日十二試艦戦は海軍に納入されます。各務原飛行場を飛び立ていく十二試艦戦を見送る二郎と三菱のスタッフはこれまでの努力とその成果に思いをはせ、我々の目にはいものがこみあげてくるのでした。

請勿以任何形式轉載至商業大陸
商業商業用途





▲シズル化の第1歩として胴体内に内寸3mmのパイプを仕込む。
▼1号機の機首下面を組んだところ。円型オイルクーラーのパーツがうれしい。



▲尾翼は開閉型とするため、プラバンで側壁を追加し後部の干渉部分を削る。
▼水平尾翼も右側が新規パーツ。左の通常版より幅が狭いのが特徴。



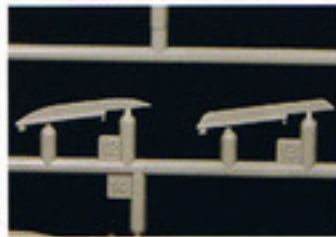
▲エンジンは無量一三型(右)が入っています。左は第一二型。
▼主翼上面。1号機の幅の狭い補助翼とするため両端をモールド修正。



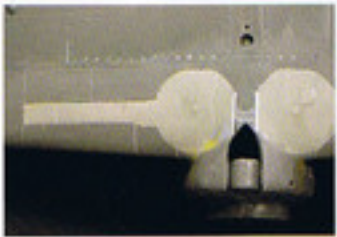
▲オイルクーラーダクトは1号機(左)と2号機(右)の2種類。
▼主翼下面。同様に補助翼を狭くするがその分フラップは広く修正。



▲ファインモールド九五戦からパイロットをスカウト。首をちょっと曲げる。
▼エンジン塗装はシリンドラーがエンジングレー。減速器はRUM76ライトグレー。



▲海軍での重演実験機に追加された下部のフィンも1号機(左)2号機(右)を用意。
▼44号のモデルページを参考にプライマーのフィギュアを樹脂技師に改造中。



▲同カバーはタミヤ電戦二型の余りパーツで閉じる。微調整でピッタリ。
▼今回は全部筆塗り。カラーはガイアノーツ灰緑色とMk.カラーライトエアクラフトグレーを半々に混ぜました。



▲排気管の位置はカウルフラップ1個分下げ。
▼今回登場のみなさん。地面はスチレンボードに養生シートを両面テープ張り。



▲プロペラは透明プラバン。もうちょっと幅広の方がソレっぽいです。
▼デカールはカルトグラフで貼り心地最高。3mmアクリル棒を差して飛ばす。



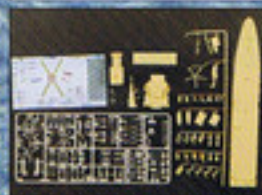
請の以任何形式轉載至有禁大陸
嚴禁商業用途

日本の海の安全を担う掃海艦艇

Mine Sweepers & Mine Sweeper Tender

いや〜春ですね！ 先の冬もほんとあったかくて助かりましたが、ここきて花粉が絶好調！ スギに続いてヒノキ花粉も……。アレルギー持ってる筆者は毎日したたる鼻水と止まらないくしゃみに悪戦苦闘しながら、シーラインシリーズのレジンキット、掃海母艦うらが型MST-464ぶんどを製作します。先月号の予告にと違ってごめんなさいです。

シーラインシリーズ1/700
海上自衛隊
掃海母艦うらが型
MST-464ぶんど



■シーラインシリーズ1/700
海上自衛隊 掃海母艦 うらが型
■製作・文：松永富夫
■Scale: Series 1/700
JMSDF MST-URUGA class
■Modeled & Text by
TOMO MATSUNAGA

■掃海母艦ぶんどについて

さて今回は掃海母艦 MST-464ぶんどです。この艦は文字通り掃海艇や掃海ヘリコプターの母艦で、機雷敷設能力と母艦機能を先の機雷敷設艦そうや、掃海母艦はやせから大幅に向上させたもので、1番艦のネームシップは「うらが」です。ぶんどはその2番艦にあたり、平成10（1998）年3月23日に就役しました。掃海母艦の名前は水道、または海峽名をとることとされており、ぶんどは四国沿岸と九州東岸の間を通過する太平洋と瀬戸内海をつなぐ「豊後水道」に由来しています。

スペックは全長141m、全幅22m、そして高さはなんと41m。基準排水量5,700t。主機はディーゼル2基19,500馬力、速力22kt（約41km/h）、乗員129名。なおうらがの場合78mm砲を装備していないため排水量は5,650tになります。うらがは機雷敷設艦、ぶんどは母艦に所属となります。なお取材、撮影したのはぶんどだったので、製作もぶんどしました。予告と違ってごめんなさい！

■現在も続く掃海活動

続いて掃海艇ですが、海上自衛隊の歴史は掃海部隊の歴史といっても過言ではありません。戦後、日本の沿岸には8-29が敷設した1万7000個の機雷と、帝国海軍が防衛敷設した5万5000個の

機雷が残存し、戦後7年間で機雷による沈没・損傷した船舶は166隻、20万tにものぼりました。この機雷の危険を排除するのが「掃海業務」で、運輸省、海上保安庁、海上自衛隊へと移管されていったのです。海の安全を守る掃海艦さん……といえは解りやすいでしょうか。昭和33（1958）年から湾岸戦争時の湾岸戦争の敷設機雷を処分するため、自衛隊の掃海艦が派遣されたところとニュースで大きく報道されていましたが、実は日本の沿岸部にもまだ機雷が残っており、神戸空港建設時に発見されたところの機雷がごろごろ発見され、実際に爆破もされています。いくら60年前の機雷とはいっても怖い現実でした。

掃海艦は機雷機雷の感知を防ぐため、基本木造です。よく体験航海で艦の敷甲板に立っていると風が強く感じた方もいると思いますが、掃海艦の敷甲板は鋼の板が敷設されるのです。そのため全長60m前後の小型艦ですが、外海にはたどきの揺れときたら平穏なものではないですよ。45度の傾斜なんて寝ることもできません……。

で、こういうときに活躍してくれるのが掃海母艦！ なんせデカイですから食料、燃料はもとより、隊員のケアや物資輸送、救急医療などなんかもばっちりこなせる、ありがた〜い艦なのです。



■キットの製作

今回のぶんごは、シーラインシリーズの1/700海上自衛隊 掃海母艦 うらが型 (品番HS-09、取り扱い/シーラインシリーズ <http://www1.mon.ne.jp/sealine/>) からの製作です。レジンキットですが、抜きが綺麗で油分も少ないです。うらがとの相違点の76mm砲やウォークウェイのデカールもしっかりセットされていますし、M工場のメタル製造通信アンテナまで入っています。合い良し、

出来良し、製作簡単で、実にグッドなキットでした！ あとアンテナは、やっぱりファインモールドの「海上自衛隊イージス型護衛艦用ホイップアンテナ」(4本入り、品番AM40) でディテールアップですね。

掃海艦MSC-688あいしまと掃海管制艦MCL-725かみしまは、ビットロードの護衛艦やまぐも、たかなみに入っていたオマケをチョイスしました。こちらはプラスチック成型ですが、キット本体の護衛艦に負けない、いやそれ以上のディ

テールが入った気合満点のキットです。ぶんご艦内で写真を見せていただき、外洋でぶんごの両脇に掃海艦が係留されているのに感動し、今回の作例としました。写真では本当はかみしまではなくて掃海艦MSO-303はちじょうだったのですが、新型ゆえキットがなくあきらめてしまいました。

最後に毎度おなじみ“いや～やっぱ艦はいい”！



▲レジンキットは洗浄が肝要。
▼小パーツの塗装。



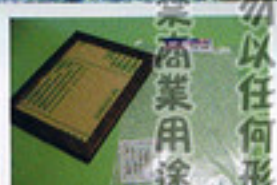
▲艦船キットを作るには、ピンセットは良いものを選びよう。



▼船体を持ち手に固定、タミヤエナメルカラーでスミ入れ。



▲試き取りはGSIクレオスの船枠で。



▲海図はタミヤ情景水面プレー(設定販売)を使用。



請勿以任何形式轉載至貪婪大陸

J.M.S.F.

MST-463「うらが」 MST-464「ぶんご」 実艦ディテール集

昨年7月、呉基地において掃海艇の集合訓練が実施された。基地港内で取材できたので、実艦写真を紹介しよう！なお取材後、呉の繁華街を隊員の皆さんとはしごし、朝方まで掃海の話に花が咲いた。海の男達は本当にいいのだ。海自のみなさん、ほんとうにありがとうございました。

▼「うらが」と「ぶんご」の間に挟み、船の損傷をなくす防敵材、巨大なゴムのボールにタイヤを巻いている。

▼「うらが」前甲板、76mm砲は常設砲。



▲「うらが」艦尾クレーン、ヘリ格納庫側にある。

▼掃海母艦が2隻集合した。左MST-463「うらが」、右MST-464「ぶんご」。



▼「ぶんご」艦橋上にある空中線基部、マストにつながる。

▼「うらが」マスト、後ろから。



▼「ぶんご」マスト、前から。



諸君以何形式轉載至商業大陸
嚴禁商業用途



▲「ぶんご」前甲板 70mm砲装備。他に白漆やざら土を入れた歩道ラインが「うらが」と異なる。
▼「うらが」煙突。前に防熱材が2箇所かれているのが解るだろうか？



▲「うらが」マスト。下の器が回っており、層内側は白色。中には掃除道具がいっぱいでした。
▼「うらが」船体中央の舷側スポット。ここからも荷物の上げ下げなどがおこなわれる

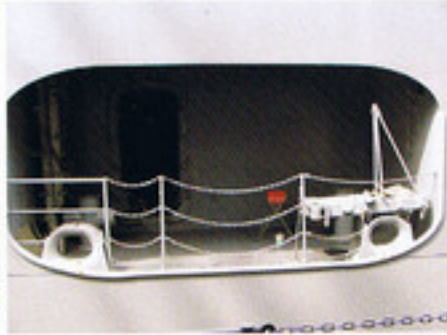


▲「ぶんご」搭載ボート。



▲「ぶんご」艦尾ドア内側。

▼「うらが」ヘリ格納庫。



▲「ぶんご」艦尾庫内にあった航空機格納庫MK105。ヘリコプターで引いて揚海する。「ぶんご」では同機をヘリ格納庫にも搭載していて、クレーンで海面に下ろしたそうだ。



▼「ぶんご」艦橋中のマット



▲「ぶんご」艦尾庫内、キットでも別パーツの参考用。
▼呉河内道賀船は大和ミュージアム様から出展されている友「ぶんご」と右「うらが」の艦尾もばっちり



請勿以任
何形式轉
載至各公
陸
嚴禁商業
用途

■タミヤ1/48 リパブリックF-84Gサンダージェット
 ■制作・文：前島敏彦
 ■Tamiya 1/48 Republic F-84G Thunderjet
 ■Modeled & Text by TOSHIO MAEJIMA
 ■制作日数：約1.5ヶ月



Tamiya 1/48 Republic F-84G Thunderjet タミヤ1/48 リパブリックF-84Gサンダージェット

■どんな機体色でも きれいな下地が絶対条件

パテの多用や異素材だらけのキットは別として、今回のような優秀なキットではペーパーの底地を2000番くらいまで丁寧にかけ（この「丁寧」がポイント）大きなスジ目跡を消しておけばOK。

次に全体にサーフェイサーをかけます。今回は後で赤いマーキング作業があるので、発色を考えホワイトサーフェイサー。GSIクレオスのMr.ベースホワ

イト1000を薄めてエアブラシ吹き。もし翼と胴体の付け根などにざらつく部分が出たら、シンナーをブラシで吹けばスベスベのお肌になります。下地はこれで充分。

■赤白ストライプをブラッシング

1951年、朝鮮戦争時にK-2（大鷲）を基地とした49FBG 9FBSのフライトリーダー機、尾翼や機タンに、なんともハデな赤白ストライプのマーキングをつけた機体をチョイス。

まずマーキング部全体にMr.カラーNo.114 RLM 23レッド+No.3レッド+微量のNo.44タンを吹き、赤帯の幅をマスキング。次に白部にNo.11ガウルグー+No.44タンを吹きます。その後、赤白マーク部全体をキッチリとマスキングしておきます。

■下塗り／上塗り、2種類のシルバー

下塗りシルバーとして、Mr.カラーのNo.82シルバーに、光沢クリアーを入れて全体に吹く。乾燥後（1時間もすればOK）広い面積はデコペンで

請勿以任何形式轉載至含禁大陸
 商業用途





パーで、細かい部分は綿棒で、やや強めにこすり磨く。これで完全平滑な金属色調になります。

次に当時Mr.カラーの金属特色は未発売だったため、アルクラッドII(取り扱い/ブラツ)のALC101アルミニウムを全体に吹きまします。微粒子のため磨かなくても問題はナシ! しかしそのための隠蔽力が弱く、いつまで吹いても地色が見えてしまうようで、コストも気付き。だから下塗り必須です。

■部位別に金属色の変化をつける

金属質による色の違いを表現しないと、それは単なるシルバードープ塗装。アルクラッドIIのALC103ダークアルミニウムやALC102ジュラルミン、その他混色といった2~3種類の色違いシルバーを用意。

ジュラルミンはゴールドのニュアンスがあるので、熱の発生する部位の金属色にグッド。ダークア

ルミはかなり暗いシルバーなので、アルミと混色し明度を調整する。また個人のイメージですが、クールなシルバーや機体上面などの青空反射シルバーなどに混色するブルーはクリアブルーがお薦め(ただし数滴にとどめること)。

この色違い作業でのポイントは、クッキリとしたコントラストにしないことです。コブは物足りないくらいに差にとどめること。吹きつけ中に角度を変えてチェックしましょう。濃過ぎの修正はめんどです。

■デカールの生色をスケールカラーに簡易修正

今回のようにシルバーの地色にデカールというケースでは、台紙の段階でブラシを吹きまします。国産マークの白い空にはバックのインシグニアブルーを含め、均一にNo.11ガルーグレー+No.44タンのホコリ

色を吹き重ねて色調の調整。シルバー以外の地色の機体では、デカールを貼ってから地色を吹き重ねます。そうやって全体の色調調整をするのがイロ道の鉄則。

■最後のクリアーは意見が分かれませんが

キャノピーと車輪のマスキ以外はがし、薄くした半ツヤのクリアーを全体に吹き付けます。微妙にシルバーの輝きが変化するのが嫌う人もいますが、私はアルクラッドIIではほとんど変化なしと感じています。むしろデカールや塗料のツヤ違いのほうが気になります。またエナメル汚しにも問題なし。

なお今ではGSIクレオスからも、Mr.カラー スーパーメタリックシリーズとして同様なタイプが発売になっています。



請勿以任何形式轉載至貪婪大
嚴禁商業用途

「Osprey Frontline Colour 3 F-84 Thunderjet Units Over Korea」(Osprey)
「世界の傑作機No.90 F-84サンダージェット/サンダーストリーク」(文林堂)
「航空ファン別冊Illustrated 27号 朝鮮戦争航空機」(文林堂)
「航空ファン別冊Illustrated 16号 アメリカ空軍ジェット戦闘機 1945-1963」(文林堂)
「モデルアートNo.634 飛行機モデルの塗装術」(モデルアート社)

今回は本誌AFV作例で活躍中の帯金肇（おびかね・はじめ）さん。模型メーカーが数多く集まるプラモ王国・静岡県から数々の名品を生み出す帯金氏の實像に迫る！

■お年、お住まいは？

35歳。静岡県静岡市に住んでいます。

■クラブ、サークルなどは？

同じ静岡県の模型仲間と作った“スティールボット”というクラブに所属。主に展示会などを中心に活動しています。

■どんなジャンルが好きですか？

大戦物、現用物問わず、AFVが本当に好きです。ただときどき車やバイクなど無性に作りたくなって製作することもあるので、そういう意味では“スケールモデル全般”が好きですね。

■いつ頃から模型を作り始めましたか？

小学校低学年にはタミヤのMMシリーズを作っていました。もちろん色んな塗料で塗りたくっていましたが、だんだんと組み上がっていくのがすごく楽しかったです。

■本格的に模型を作り始めたのは？

中学生くらいからでしょうか。ミニスケールのAFVを中心に、しっかり塗装をして作るようになりました。

■これまでに作った模型の中で印象に残るモノは？

イタレリのM24チャーフィーです。出来が良いキットだったということもあるのですが、とにかく完成後の姿がかっこよく、ずっと眺めていたいようなプロポーションがとても印象に残りました。軽戦車が大好きなんです、そのきっかけとなったのがこのイタレリのチャーフィーだったのかもしれない。製作に関してのこだわりは？

“できるだけ実車に近づけたい”という思いが強いので、細かい所も再現しようと心掛けています。ただ「車輪が何mm違う」とか「車体や砲塔のプロポーションが……」とかはこだわらないようにしています。そういうのは逆に“キットの個性”として大事にしたいと思っています。

■模型趣味の良いところ

たくさんあります！ 世の中にはコレクターという入場がありますが（古くは切手、最近では食玩とか……）私も大戦物から現用物まで、おおよそAFVと呼ばれるモノは全て集めたいと思っています。もちろんちゃんとキットを自分の手で作って完成したもの。WWIIドイツ戦車だけでも1号から始まり8号、11号……その中でもA型、B型……。さらには派生型やら特殊戦車などなど。それがアメリカ、ソ連、イタリヤ……現用……と、考えていって一体いくつあるのやら（笑）。これはもう一生楽しめる趣味だなと思うんです。

他にも展示会の楽しみや人との交流など、挙げ出すとキリがないくらいです。

■模型趣味のマイナス点

製作が進むにつれて汚れてくる作業机周り、特にプラの削りカスや塗料の汚れ……こういうことが日常化してもモデラー自身はあまり気にしないのですが、模型を作らない家族にとってはただの迷惑ですね。あえて言うところのあたりがマイナス点＝気をつけなければいけないところ、だと思います。

■模型に対するご家族のご理解は？

今のところ理解を得られていますが、甘えすぎると手痛いしっぺ返し……。模型一途にならないように気をつけています。

■その他の趣味は？

以前は釣り。自宅近くが海にも川にも恵まれている環境なので、それこそ毎日なんていることもあったのですが、最近は忙しくてほとんどやっていません。

■最後にひとことあればどうぞ。

もうすぐ毎年恒例の静岡ホビーショーが開催されます。同時開催の“モデラーズクラブ合同展”は、全国各地の素晴らしい作品が一堂に集まる本当に良いイベントです。私の所属する“スティールボット”も毎年参加していますので、ぜひ皆様静岡にお越しください！

■ありがとうございました。



▲作業机。製作が進むにつれゴチャゴチャに……。



▲完成品を収納する大さ目の組み立て式チェスト。たまに上に飾って眺めたり。



▼3月初めの“東海AFVの会”での展示。地元開催の各展示会にクラブで積極的に参加しています。



▲製作中の帯金氏。

▲塗料、ブールなどは作業机から手の届く範囲に配置。

▶最近の超便利ツール、ガス式平田こてとボンベ。ガス点火から数十秒でハンダ付けが可能。コードレスで取り回しが非常に楽！



▼キットのストックは比較的少ない方。その他実車の押入れにも数10点。



▲お気に入りの作品、トランベッカー105KV。▼お気に入りの最新作、ミニアートの105T-70。



【展示会】

●和歌山ノンフライトクラブ 「第20回プラモデル展示会」

和歌山県を中心に活動する「和歌山ノンフライトクラブ」が今年の春も恒例の「プラモデル展示会」を開催。テーマはジャンル別で、飛行機は「旅客機」「1/32スケール」、クルマは「真中にエンジン」「参戦最高！」。船舶作品もあり。ゲストコーナーを設けているので当日出品もOK。

■開催日 4月21日(土) 11:00～18:00
22日(日) 9:00～18:00

■会場 和歌山市民会館 4階 第1練習室
〒640-8204 和歌山市伝法橋南ノ丁7番地
南海和歌山駅より南西(正産出口を出て右)徒歩5分。
■問い合わせ 広報部 中村 073-444-2658
E-mail: big-pape-k@silver-plala.or.jp
HP: <http://nonflight2.pro.tok2.com/>

●「第12回鹿児島モデルズコンベンション2007」 開催＆参加者募集

毎年ゴールデンウィークに行われ、昨年は参加者77名、作品点数350点、来場者のべ5950名となった「鹿児島モデルズコンベンション」が今年も開催。参加者も募集。詳細についてはホームページ(http://www.geocities.jp/kagoshima_modelcon/)を参照。

■主催 鹿児島モデルズコンベンション実行委員会
■開催日 5月4日(金)～5日(土)
■会場 鹿児島県歴史資料センター黎明館
■参加資格 ご自身で製作された作品を持つ方なら、どなたでも参加できます
■参加費 高校生以上は1人2000円、
中学生以下は1人500円
■募集期間 3月1日(木)～31日(土)
■問い合わせ 広報担当 藤田 貞之
Tel: 099-36-2840 携帯: 090-5728-7834
E-mail: mtmark-x@tea.ocn.ne.jp
HP: http://www.geocities.jp/kagoshima_modelcon/

●「第13回 モデルワークス& M's PLUS 展示会」

大阪を中心に活動する「Model Works」が、例年通り作品展示会を開催する。

■開催日 4月21日(土) 12:00～18:00
22日(日) 10:00～18:00

■会場 大阪府立青少年会館 本館2F 第6会議室
JR環状線 森ノ宮駅
地下鉄中央線・長堀鶴見緑地線 森ノ宮駅下車
■問い合わせ 伊藤直之 072-638-3007

●「ストール 30th 記念展示会」

モデルクラブ「ストール」が結成30周年の記念展示会を開催する。

■開催日 4月29日(日) 11:00～18:00
30日(月) 10:00～18:00

■会場 有楽町 東京交通会館 2F ギャラリー
JR 有楽町線 銀座側正面
東京メトロ有楽町線 有楽町駅 A8 出口
丸の内線 銀座駅 C9 出口
■問い合わせ 田中 大 048-465-3654

●ミニ四駆 25 周年記念 「ミニ四駆まつり」開催

1982年の発売から25年を経て、幅広い年齢層のファンに愛されている「ミニ四駆」シリーズ。タミヤではファンへの感謝の気持ちを込めた25周年記念イベント「ミニ四駆まつり」を開催。会場では新製品や歴代モデル、関連資料など、ミニ四駆の過去、現在、未来を楽しめる展示物を用意。さらにファン参加型の「ヒストリックカーミーティング」や記念セレモニーを実施。25周年記念特別モデル「レーサーミニ四駆第一弾 ホットショット」など会場限定商品を販売するコーナーもあり。入場は無料。イベントについての詳細情報は公式サイト「ミニ四駆オンライン」(<http://mini4wd.jp/>)を参照。

■開催日時、会場 3月25日(日) 東京会場 浅草 RMX3 スーパーマルシェコート(東京都台東区)
3月24日(土)～25日(日) 愛知会場 トヨタ博物館(愛知県長久手町)
3月25日(日) 岡山会場 おもちゃ王国(岡山県玉野市)

3月31日(土) 兵庫会場 アステル西(兵庫県川西市)
※岡山会場 おもちゃ王国のみ、別途案内資料(大人700円・小人500円)が必要。ただしミニ四駆持参の中学生以下の方は無料。
■問い合わせ タミヤ カスタマーサービス TEL 054-283-0003(平日8:00～20:00/土日8:00～17:00)
ミニ四駆オンラインHP: <http://mini4wd.jp/>

●「上州モデルズエキシビジョン JME2007」開催＆参加募集

群馬県前橋市にて、クラブ、ジャンルの枠にとらわれず広域的なモデルの交流の場をめざして企画された、一般公開による模型展示会「上州モデルズエキシビジョン(JME2007)」を開催。見学は無料、出展参加は1000円。参加希望者は4月10日までに申し込むこと。

■開催日 プレ展示: 4月20日(金) 17:00～21:00
一般展示: 21日(土) 9:00～18:00
22日(日) 9:00～18:00

■会場 群馬県生涯学習センター
群馬県前橋市文京町2-20-22
■問い合わせ JME2007実行委員会事務局 山崎正
Tel: 027-231-5949 携帯: 090-3149-6067
Fax: 027-269-2952
HP: <http://www.h2.dion.ne.jp/jme/>

●「第2回 おおいたんモデルズ作品展」

大分県下の4模型クラブ協賛のオールジャンル模型作品展。今回のテーマは「対 VS/TWIN」。また2日連続または単日でも、当日に作品を持参できる方なら誰でも参加できる(参加無料、事前に展示数を通知のこと)。

■開催日 6月23日(土) 12:00～18:00
24日(日) 10:00～18:00
※作品持ち込みの方は23日は10:00から可

■会場 大分県立総合文化センター
B1F 泉鏡花ホール
大分駅から竹町商店街徒歩15分
有料駐車場あり
■問い合わせ おおいたんモデルズ作品展事務局 鈴木
090-8357-8289 e-mail: ban@ctb.ne.jp
HP: <http://www.ctb.ne.jp/ban/>

●格納庫およびYS-11 機の公開

埼玉県の所沢航空発祥記念館では、普段は未公開の格納庫およびYS-11 機の内蔵を特別公開する。格納庫には14機の実機および復元機を収蔵し、当日はヘリコプターやウルトラトライトブレーンの操縦室に入ることもできる。航空公園駅前のシンボルの存在であるYS-11 機については、機体内部を公開し操縦室、客室を見学可能。

■開催日 格納庫公開:

4月7日(土) 8日(日) 10:00～18:00

YS-11 機公開:

4月7日(土) 8日(日) 10:00～18:00

4月21日(土) 10:00～15:00

※雨天時はYS-11 機公開は行わない。

■料金 格納庫およびYS-11 機の公開にかかわる料金は無料。

■会場 所沢航空発祥記念館(所沢市所沢航空記念公園内)
〒359-0042 埼玉県所沢市並木1丁目13番地
電車: 西武新宿線「航空公園」駅東口より徒歩8分
車: 関越自動車道 所沢ICから国道463号を所沢市街方向へ約6km
■問い合わせ 所沢航空発祥記念館 04-2996-2225
HP: <http://tam-web.jsf.or.jp>

●第28回「岐阜コクビットクラブ展示会」

岐阜県各務原市の模型サークル「岐阜コクビットクラブ」の展示会。今年のテーマは「本土防空戦」。小松Gクラブ、富山サンダーバース、アサヒ倶楽部が協賛。作品の持ち込みも歓迎。付近の市民公園では模擬戦も開催中。

■開催日 4月7日(土) 10:00～17:30
8日(日) 10:00～18:30

■会場 各務原市産業文化センター
■問い合わせ 森定好 058-251-0467

●第20回 ハンズ大賞作品展

(株) 東京ハンズでは、手作り作品コンテスト「第20回ハンズ大賞」の作品展をBunkamura ザ・ミュージアム(東京・渋谷)にて開催する。応募総数1412点の中から1月下旬に行われた第2次審査を通過した、さまざまな素

材を使った創造性あふれる手作り作品約140点を一堂に展示。入場は無料。

■開催日 3月30日(金)～4月1日(日)

10:00～20:00

■会場 Bunkamura ザ・ミュージアム
東京都渋谷区道玄坂2-24-1
東京百貨本店本館
渋谷駅ハチ公口より徒歩7分

■問い合わせ ハンズ大賞事務局 03-5484-7986(受付時間 10:00～18:00、土・日・祝を除く)



▲グランプリ「無からの造形」野田友幸さん(80歳)

【ショップ情報】

●「B's Hobby (ビーズホビー) 京都店」好評営業中

昨年11月25日、京都府東山通ブックスストアのG-FIELDがパワーアップして「B's Hobby 京都店」として新装オープン。スケールモデル、ディテールアップパーツ、工具、素材、塗料は京都市内最大級の品揃えを誇る。輸入品にも力を入れ、塗料も国内主要メーカーはもちろん、フィニッシャーカラー、ソフビカラーまで取り揃えている。既存のキャラクター商品とミニカーも増強。

■営業時間 10:00～22:00(金曜のみ～22:30) 年中無休
■場所 京都府京都市下京区西京橋通南東入
ブックスストア京都店 地下1階
「大丸百貨店」東側
阪急京都線丸太駅より徒歩2分 地下鉄丸太線丸太駅より徒歩2分
■問い合わせ B's Hobby 京都店 075-267-5607



【アイテム情報】

●究極のSWミニチュアモデル解説書 「スター・ウォーズ スカルプティング・ア ギャラクシー ミニチュアモデル完全ガイド」

(株) 小学館プロダクションは3月下旬、SF映画の大作「スター・ウォーズ」公開30周年を記念しSW全作品の撮影に使用されたミニチュアモデルにスポットを当てた解説写真集を刊行。著者はSW全作品のミニチュアモデル制作に携わったローン・ピーターソン。解説写真も多数収録し、細かいディテールまでクリアに表現されているためモデルラーは必見の内容。

■タイトル 「スター・ウォーズ スカルプティング・アギャラクシー ミニチュアモデル完全ガイド」
■発売予定日 2007年3月下旬
■価格 5985円(税込)
■発行 (株) 小学館プロダクション

●完全保存版「スター・ウォーズ キャラクター&クリーチャー」

(株) 小学館プロダクションは4月下旬、「スター・ウォーズ」公開30周年記念第2弾として、以前に刊行され

大好評を博した4冊の「スター・ウォーズ キャラクター&クリーチャー」を1冊にまとめ、映画全6作をコンプリートした完全永久保存版を刊行。キャラクター、衣装、ドロイド、アイテムを完全網羅し、解説と写真もアップデート、1000点以上のスチール写真を収録する。限定5000部。
■タイトル 「スター・ウォーズ キャラクター&クリーチャー 完全保存版」
■発売予定日 2007年4月下旬
■価格 5775円(税込)
■発行 (株)小学館プロダクション

●完全保存版 「スター・ウォーズ クロスセクション」

(株)小学館プロダクションは5月下旬、「スター・ウォーズ」公開30周年記念第3弾として、以前に刊行された大好評を博した4冊の「スター・ウォーズ クロスセクション」を1冊にまとめ、映画全6作をコンプリートした完全永久保存版を刊行。映画に登場する宇宙船、ビークルを完全網羅。タイ・ボマー、インペリアル・シャトル、Aウィング、Bウィングなどの最新イラストを追加、着下ろしも含め60点以上の精密なイラストを収録。限定3000部。
■タイトル 「スター・ウォーズ クロスセクション 完全保存版」

■発売予定日 2007年5月下旬
■価格 5775円(税込)
■発行 (株)小学館プロダクション

●リアルファクトリー、3DCGモデル からの立体出力サービス開始

(株)リアルファクトリーは2月19日より3DCGデータのABS樹脂を素材とした積層加工機「DimensionBST」による立体出力サービスを開始した。1辺が10cmの立方体の中に入るモデリングデータで1万9800円(税別、送料別)から造形が可能。サービス利用に関する注意事項(データ形式/作成、立体物の著作権など)はホームページに掲載予定。
■問い合わせ
 (株)リアルファクトリー info@rfactory.co.jp
 HP: <http://www.rfactory.co.jp/>

●ニンテンドーDS用RPGゲーム 「フロントミッション ザ・ファースト」発売

(株)スクウェア・エニックスは3月22日(木)にニンテンドーDS用ゲームソフト「フロントミッション ザ・ファースト」を発売。「フロントミッション ザ・ファースト」はシリーズ累計300万本を売り上げた人気シリーズの7作品(1995年発売)をリメイクした最新作。近未来の世界観とロボットファンタジーが融合する戦場を舞台に、陰謀渦巻く人間ドラマが展開される。従来のファンはもちろん、フロントミッション初心者でも楽しめる作品として注目が集まっている。

■商品名 FRONT MISSION 1ST (フロントミッション ザ・ファースト)
■対応機種 ニンテンドーDS
■ジャンル ドラマティックシミュレーションRPG
■希望小売価格 5040円(税込)
■問い合わせ スクウェア・エニックス インフォメーションセンター
 0570-003-399 PHSから: 03-5333-1860
 月～金(土・日・月・祝・当社指定休日を除く)
 11:00～19:00
 HP: <http://www.square-enix.co.jp/fm/fm1ds/>



●ヒストリカル フィギュア 「織田信長」発売

(株)建信はビュート製1/15フィギュア「織田信長」の受注を開始した。斬新な発想と大胆な戦術で戦国末期を駆け巡った彼の先進性を、商品開発をふりひろったマントを馬上で飛躍と闘う姿で表現。また黒、赤、金の色彩を一部加えて当時の華やかな南蛮装束を演出している。数量は500体限定、シリアルNo.プレート付き木製台座が付属。価格は2万6250円(税込)。発売は5月予定。詳細はHPを参照。
■問い合わせ (株)建信 03-5537-6928
 HP: <http://www.art-of-war.co.jp/>

【作品募集】

●ミニ四駆25周年記念企画 「タミヤ ミニ四駆デザインコンテスト」

「ミニ四駆」シリーズ誕生25周年を記念して、ミニ四駆のボディデザインを広く一般から募集します。最優秀作品の製品化を前提としているため、ボディと組み合わせるシャーシは「ミニ四駆PROシリーズ」に使用の「MSシャーシ」に限定します。デザイン評価の基準は「オリジナリティ」と「コンセプト」の2つ。ブームを駆け抜けたかつてのミニ四駆レーサー、今もなおレース界中の現役レーサー、そして日本中のミニ四駆ファンのご応募をお待ちしております。

■主催 株式会社タミヤ

■応募資格 企業、団体あるいは個人やグループ、年齢、性別、職業、国籍は問いませんが、日本国内在住者に限定させていただきます。なお、応募作品は国内外未発表のものに限ります。

■応募期間 2007年3月24日～2007年5月8日(当日必着)

■応募点数制限 1人(1グループ)・5作品まで

■応募方法と提出物 イラストレーション、画像データ、実物大模型のいずれかで受け付けます。応募方法など詳細は公式サイト「ミニ四駆オンライン」をご覧ください。
<http://mini4wd.jp/>

■審査/発表 すべての応募作品の中から、主催者による審査委員会が公正な審査を行います。2007年5月に審査会開催予定。入選者には本人に直接連絡するほか、ミニ四駆オンラインなどで発表する予定。その他、タミヤ主催のイベント会場などでも発表・展示を行います。

■賞典 ・最優秀賞(1作品) 副賞: 賞金40万円およびミニ四駆PROシリーズとして製品化。ミニ四駆オンラインゲームへの登場、イベント会場などでの発表・展示
 ・優秀賞(2作品) 副賞: 賞金10万円およびミニ四駆オンラインゲームへの登場、イベント会場などでの発表・展示

・佳作(5作品) 副賞: 賞金1万円、イベント会場などでの発表・展示

特別賞(2作品) 15歳以下の応募作品より選出。副賞: オーバルホームサーキットとミニ四駆のセット

■応募のお問い合わせ、作品送付先 株式会社タミヤ ミニ四駆デザインコンテスト事務局

〒422-8610 静岡県静岡市駿河区田原3-7 FAX 054-287-7335

公式サイト「ミニ四駆オンライン」上から問い合わせフォームをご利用下さい。

電話でのお問い合わせはできません。



※本コーナーに情報を掲載希望の方は、毎月30日までに郵便またはE-mailでお送りください。当月発売号にて告知させていただきます。



請 勿 以 任 何 形 式 轉 載 至 資 料 大 陸

問い合わせ先

■記事内容などに関する問い合わせ

編集部 Tel 050-2011-5940

E-mail: mm@geibunsha.co.jp

■広告に関する問い合わせ

広告部 Tel 03-5992-2052

■購読・取り扱いに関する問い合わせ

販売部 Tel 03-5992-2051

■FOR OVERSEAS PURCHASES

Readers should contact HobbyLink Japan at
www.hlj.com. MASTER MODELERS
is available for shipping anywhere in the world
through this mail-order service.

■FOR PURCHASES IN HONG KONG

Chong Fung Toys House
G/F&1/F No.33 Yin Chong Street,
Legend Court, Mong Kok,
Hong Kong
Mail order service in Hong Kong (Wholesale is
welcome)Readers should contact through our
e-mail: trismodel@oxygen-hongkong.com
or fax to: (852)-2435-4586

■香港銷售服務

創刊役員

香港九龍彌敦道三十三號軒軒軒地下及一樓
郵和服務 (歡迎批發)

讀者可電郵至:

trismodel@oxygen-hongkong.com

或傳真: (852)-2435-4586

■COMMENTS and QUESTION

We request that all comments or questions
about the editorial content of this magazine be
directed to us by fax, or by e-mail.

Fax: +81-3-5956-7168

E-mail: mm@geibunsha.co.jp

●広告のご案内

タミヤ	表2
GSIクレオス	表3
ハセガワ	表4
ミッションモデルズ	1
トリスタージャパン	2
イシダモデルズ	57
ホビーリンクジャパン	60
インターアライド	63
ホビーデポットG	64
レオナルド	98
地球堂	99
MSモデルズ	100
ホビーステーション	101
ミニチュアパーク	101
文教堂	102
オリオンモデルズ	103
バウマン	104
ラッキーベイフォート	105

■次号マスターモデラーズVol.46■

■AFVモデリング■

特殊車両大会の巻

戦車もいいけど、特殊車両もおもしろいぞ!

- トランベッター1/35 カール自走臼砲
- トランベッター1/35 IV号弾薬運搬車
- タミヤ1/35 チャーチル・クロコダイル
- アカデミー1/35 M4A3シャーマン/ドーザーブレード
- ニューコネクション1/35 III号地雷除去車

さらに●今月落ちちゃったけど次こそ掲載!

ドラゴンモデル1/35 III号突撃砲G型 & III突撃砲G型 実車ディテール写真

●注目の新製品 ドラゴンモデル1/35 マーダーIII対戦車自走砲

●「石井優二の気まぐれAFVモデリング」は

ドラゴンモデル1/35 フェルディナント重駆逐戦車

■AIR&SEAモデリング■

デカ専K2の大冒険。なんと、

●タミヤ1/32 F-16改造 三菱F-2A Part1

●注目の新製品 タミヤ1/48 ロッキードマーチンF-16CJブロック50 ファイティングファルコン

●松本州平の、イシダモデル1/16 日本海軍搭乗員、塗装術

●ジオラマ野郎 佐藤太一、テレ玉出陣2念! 漁船

●ハセガワ1/48 零戦五四/六四型

●ユーロモデルは1/72 AV-8Aハリヤー

●イベント・レポート 第14回 喜屋敷戦車模型コンテスト「キャコン2007」各賞発表!

1/10戦艦「大和」大模型製作への軌跡展

本誌モデラー加藤氏直伝のプラモデルスクール開講!

※内容が変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

携帯サイトで

マスターモデラーズ関連の情報配信開始!

注目の新製品、イベント・展示会情報、本誌最新号の内容&
次号予告などを観ることができます。

マスターモデラーズ携帯サイトアドレス

<http://kmaga.jp/geibunsha/mm/>

請 勿 以 任 何 形 式 轉 載 本 誌 内 容

マスターモデラーズ Vol.45

編集後記

■発行所 株式会社文芸社

〒170-8427

東京都豊島区東池袋3-7-9

Tel 03-5992-2052

■発行人 中西吉永 ■編集人 堀越昌嗣

■編集 石井栄次

■編集/デザイン 今井孝幸デザイン事務所

■撮影 星野一史 内山公人 (インタビュ)

■印刷 三晃印刷株式会社

©2007 GEIBUNSHA PUBLISHING CO.,LTD.

本誌掲載の記事・写真の無断転載を禁じます

●今月は引越して大忙しでした。やっぱり引越しては業者頼むべきです。ケチって頼まなかったおかげで筋肉痛がひどい。引越しては無事に終わったんですが、新居に段ボールの山が……。あれどうやって片付けようかな。あと2、3ヶ月はかかりそうなお勢いです。でも新居はいいですよー、眺めが最高です。毎日5号線を通るのが楽しみな今日この頃です。[カメラ男ウッチー]

●あー、もう春か……。よし、マスターモデラーはKとTに託してまた旅に出るから。今度は北アフリカへgo! [S]
●エフトイズ「フェンダーギターコレクション」のキレイな1/8ギターの撮影。全部欲しいー!と思うとともに、本物のギターも欲しくなりました。今狙っているのはギブソンSG。本誌編集長には形も音もダサッ!と不評のSGの中でも特にダサイ66年以降のラージピックガードモデルが

お気に入り。このギターでブルーイスターカルト「ME262」を弾くのが目下の夢ナリ! [オカルト宣言]
●春は卒業シーズンですが、子供の頃の人生設計では、プラモデルはいつか卒業し、ラジコン飛行機大学を卒業、今度はYS-33やF-2を作っているはずでした(笑)。結局、プラモデル高校留年10年。くわばらくわばら [K]

■飛行砲艦モンテッコリ
第19話：接収された記録機

■製作・文：今井邦孝
■Modeled & Story：KUNITAKA IMAI



技術者だったピットリオ・ヤルノが私財を投じ、さらに資金援助獲得に成功して完成させた速度記録機バルケッタは、当時としては最大出力を誇ったショートストローク液冷V型8気筒、610馬力のポーラ・エンジンを搭載した。しかしこのエンジンは重く、徹底的な軽量化こそが成功の鍵であると信じたヤルノは、重量がかさむ引き込み脚方式を捨て、降着装置を整流カバーで覆った。この形状の試作を重ねて完成した機首形状は船の船先を思わせた。この形から機体はバルケッタ（小舟）と名付けられた。ぎりぎりの軽量化が図られたバルケッタはチューブフレームにごく薄い合板布張り、降着装置はサスペンションにゴムを使い、乾燥重量で700kgを切る機体となった。そして初飛行から7回目の飛行で499.66km/h/100mの記録を樹立した。しかし、さらに軽量化を施し、記録を更新しようとしていた矢先、1941年の機体を用いた。隣国のザラが対岸のカドルナ進攻の空軍を起せ始めたのだ。まともな軍備を持たない軍は慌て、同盟国が戦争を始めたこの期に及んで航空機の国産化を画策したのだ。そして白羽の矢が当てられたのが、国内唯一と言えていい高性能機、バルケッタだった。だがバルケッタは純粋な記録機であり、実用実戦機たるには、あまりに脆弱だった。それでも軍はバルケッタの戦闘機化を図り、改造を重ねた。

G-1 Barchetta Monopost





C.G.L.T.A. RAYMOND MONTECUCCOLI

■ヤン・アッカーマン技術少尉

「素晴らしい。だが、こんなにビークーな機体は初めてだ」

今日が初の軍試験飛行、離陸から20分が経ち、ようやく機体に慣れたアッカーマン少尉は思った。そもそも、その離陸が大変だった。極度に軽いバルケッタは横風の影響を受けやすく、また、プロペラが地面を叩いてしまうため、急な機首上げは禁

物だった。おまけに降着装置の主脚はトーションバー、前輪はゴムという申し訳程度のサスペンションで、整地された滑走路にもかかわらず、地面を離れるまではシェーカーの中にいるようだった。しかし一度、宙に舞い上がってからのバルケッタは凄かった。馬力重量比の高い機体はみるみる加速し、普段は最高速度160km/h程度の機体に乗るアッカーマン少尉にしては、永久に加速し続けるかのようにさえ思えた。

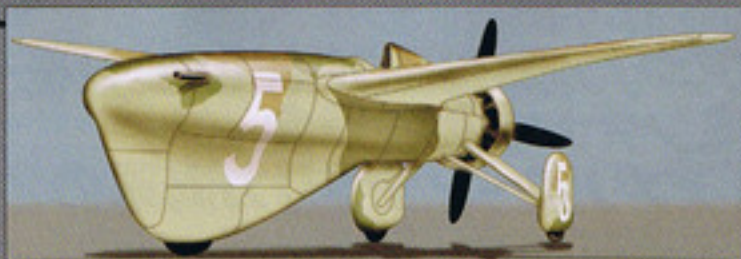
しかし、今日の試験に向けて多少の構造的補強が施されたにもかかわらず、機体は明らかに強度不足だった。1本桁構造の主要な特定速度域で軽いブラッターを起こし、縦方向の動きには、はっきりそれと判るほどにしまった。しかも、機体の軽さも手伝って、250km/hを超すあたりから空気密度が緩かくいらい判るかのようにピッチ、ヨー、ロールを繰り返す。350km/h近くなると機体が破壊してしま

うのではないかとさえ思えるほどひどくなった。つまり、真っ直ぐ飛ぶのが難しく、急激な運動で大きなGをかければ翼が折れるという機体だった。本来、軍用機の記録機なのだから当然だが、旧式の実験機32機がすべての戦力、しかも情報によって他国からの兵器、特に輸入機は絶望的という軍にとり、戦時機自国開発の原型機と同等に選択肢は無かった。それなのに、この機体はいける」と少尉は思った。「構造を見直して補強し、あとは速度低下がどの程度か」と問題と考えた。また、もともとチューブフレーム、合板布張りという機体は量産が容易で、さらに幸いなことに500馬力級航空機エンジンの量産にも見通しがついていた。

少尉はゆっくりと機首を基地に向け、帰路についた。この日は増した燃料タンク満載で飛行2時間、最高速度は355 km/hを記録し、エンジンがややオーバーホール気味だったことを除けば好結果だった。

そしてこの後、バルケッタの運用機化が招く運命について少尉はもちろん、誰も予想することは不可能だった。





●今回は先にスケッチを描いてから製作。タフネンドリング付き定油エンジン、前輪後輪両方に主翼、フイレットなど、空域モデルには適う部分もあるけど、作りながら設定を変えました。そこが立体作りの醍醐味ってか(笑)。本来ミッドシップエンジン(?)、フロントラジエター、パイロットの下方視界確保のため、主翼付け前後方をえぐったハインケルタイプとしたけど、胴体のイメージは異議できてる? なんとってバスケッタ(イタリア語で小舟)って名前先行モデリングなわけだ。



▲スケッチを切り抜いたプラバンを胴体に、なんとなく断面形を貼り付け……
▼そこからあった真を型紙、取り付けます。ちなみに主翼はP-39、尾翼はF-4。



▲心材にスタイロフォームを貼り、カッターでザクザクと小さめに削ります。
▼安定板/主翼は、プラバンに半輪をくっつけ、ポリバテ張り、所りだし発射。



▲塗化剤多めのポリバテを手早く塗ります。当然スタイロは削けますが、その間に硬化ね。
▼コックピットを型紙、安定板も取り付けて、だいたいの全体型が出来ました。



▲形を修整しつつ、ほぼポリバテのみの胴体が出来上がります。
▼ラジエター、キャブレター・スクープなどをバテで作って、だいたい完成。



請け人任何形式轉載至貧窮大陸
嚴禁商業用途

BARCETTA (monopost)

- Engine Bora N6 : 600hp/1000 m
- Weight 1,090kg / clean
- Load 200kg
- Range 300km/clean
- Speed 499.66km/h/100m/clean
480km/h/SL/clean
- Crew 1



アメリカ海軍200年の歴史を一望！ ミンダナオ会展示会 「アメリカ艦〜アメリカ海軍の200年」

■2005年2月10日〜12日 船の科学館 羊蹄丸アドミラルホール
主催：艦船模型サークル「ミンダナオ会」、船の科学館

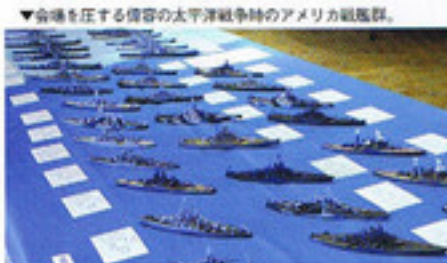
2月10日（土）11日（日・祝日）12日（月・振替休日）の3日間、東京お台場にある船の科学館 別館、もと青函連絡船「羊蹄丸」内のアドミラルホールにて、今年も艦船模型サークル「ミンダナオ会」第12回展示会が行われました。今回のテーマは「アメリカ艦〜アメリカ海軍の200年」。ペリー提督の黒船来航以来150年間、近代日本の歩みの中で大きな足跡を残しているアメリカ海軍が、1/700洋上模型作品を中心とした展示で紹介されていました。



▼1050の新鋭2空母。巡洋戦艦改造空母サラトガと準空母エンタープライズ。



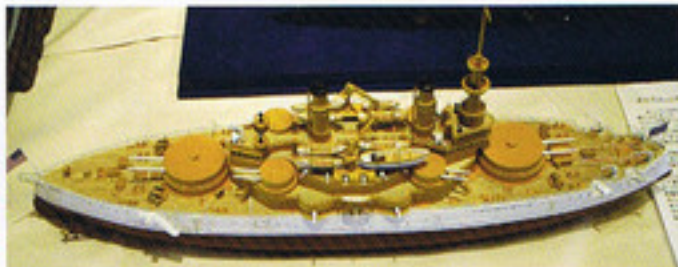
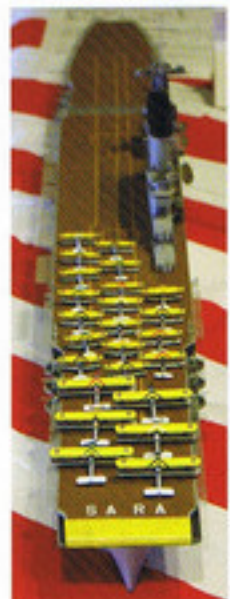
▲米海軍の代表的な艦船が並ぶメインテーブル。1050戦艦ミズーリと大和の比較。



▼会場を圧する偉容の太平洋戦争時のアメリカ艦隊群。



▲太平洋戦争時、故ケネディ大統領の軍医で有名なPT-109魚雷艇。
▼艦マストを前後に配置した太平洋戦争初期の戦艦ウェストバージニア。



▲モニターvsバージニア。世界初の甲鉄艦同士の砲撃戦を再現したジオラマ。
▲サラトガは選手な搭載機「イエローウイング」を載せた戦時時の状態。
▼戦後の海上自衛隊に供与されたリパモ級駆逐艦はたかぜ。



▲アイオワ級に続き計画された幻の超戦艦モンテレー級もラインナップ。
▼昭和18年、魚雷艇PT-109と駆逐艦天霧の衝突を再現したジオラマ。

▼駆逐艦を中に入れて修理できる自航浮きドックARD-2。

請勿以任和形式轉載至會替大陸
嚴禁商業用途



▲昭和16年12月8日の真珠湾内にあった艦隊群を再現したジオラマ。
▼昭和33年、マルサンが日本で初めて発売したプラモデル原船ノーチラス号。



▶弾道ミサイル発射！のシズルジオラマ、1050 SSBN-726 オハイオ。



▲その反対側のテーブルにはハワイ作戦に参加した空母機動部隊を展示。



▲南北戦争に登場、敵艦の撃沈に成功した初の潜水艦HLハンレイ。

▼初期アメリカ空母、ラングレーとレキシントン級2隻。



◀CV-1ラングレーから現用のニミッツ級まで隔った空母コーナー。



▲アングルドデッキに改造された戦後のエセックス級アンティータム。
▼1975年の就役以来、いまだに同型艦が建造されつづける傑作空母ニミッツ。



▲エセックス級を拡大、装甲甲板を持った竣工時のミッドウェー。
▼輸送艦としても活躍した諸君空母。ボーズ級コアは陸軍艦を満載。



▲1998年にキティホークと交替、日本にもなじみのあるインディペンデンス。
▼初の太平洋横断航行に挑戦中、荒波にもまれる威風凛々。



▲巡洋戦艦として完成した姿を再現したレキシントン。

▼巡洋艦テーブルも軽、重、航空などのさまざまなタイプが揃った。



▲現在横濱港を母港とする空母キティホーク。

▼巡洋戦艦レキシントンと並ぶのは3段甲板時代の空母赤城。



▲強襲揚陸艦に改造された状態を再現したエセックス級ホークサー。
▼スイート1/144キットを利用した護衛空母とF4Fワイルドキャットのジオラマ。



Crashed Marines UH-1N

Italei 1/72nd Marines UH-1N

湾岸戦争でクラッシュした海兵隊ツインヒューイ

ヘリコプターの傑作機の1つに必ず挙げられるベルUH-1ヒューイ。軍用、民間を問わず各国で使用され、特にヘリ好きでなくとも存在は知っているはず。スペイン人激闘モデラーのディエゴ・キハノ氏が湾岸戦争を題材に、エンジンを双発にしたUH-1Nツインヒューイ海兵隊所属機をクラッシュモデルで製作！



■イタレリ1/72 UH-1Nツインヒューイ
■製作・文：ディエゴ・キハノ
■Italei 1/72 UH-1N Twin Huey
■Modeled & Text by Diego Quijano
■Photography by Luciano Rodriguez

■UH-1Nツインヒューイについて

“歴史上最も偉大なヘリコプター”といえ、1960年代から現在まで、軍用から民間型に至るさまざまな型に発展した“ヒューイ”が挙げられることは間違いない。ターボプロップエンジンを装備した最初の量産ヘリコプターでもあるヒューイは、各型合計1万6千機以上が生産されている。

モデル204がアメリカ陸軍に汎用ヘリ“HU-1A”として採用されたのは1959年のことで、この型式名から“ヒューイ”という通称がつけられた。なお1963年にHU-1は“UH-1”に型式名が変更された。以後エンジンを強化しメインローターを大型化したUH-1B、機銃やロケット弾を装備しガ

ンシップ化されたUH-1C、INFANTセンサーシステムを備えた夜間戦闘型UH-1Mが陸軍向けに生産された。また海兵隊や空軍にもそれぞれUH-1E、UH-1Fが採用された。またUH-1Cをベースに攻撃ヘリAH-1ヒューイコブラが開発されている。

動力系を強化し輸送能力を高めたUH-1DおよびUH-1H（モデル205）はサイドの扉の窓が2つになったのが特徴で、汎用性の高さから約20年間も生産されることになった。これらのヒューイたちはベトナム戦争などに多数が投入され、大きな役割を果たしている。日本でもUH-1HがUH-1Jとして富士重工でライセンス生産された。

1970年に登場したUH-1Nツインヒューイ（モデル212）はUH-1Dのエンジンを双発にし高出力にすると同時に安全性を高めた型で、陸海空3軍

に採用されている。また出力の高い単発エンジンにしたモデル214ヒューイプラスがいくつかの国で採用された。

今回の作品はUH-1Nで、双発のモデル212の軍用型で海兵隊所属機としている。現在海兵隊で使用されているUH-1Nは近代化改裝としてアヴィオニクス機器の更新、IRジャミング、チャフディスベンサーの装備などが行われている。1991年、中近東の大国イラクが隣国の産油国クウェートへ侵襲したことから始まった湾岸戦争中に破壊、基地に回収された状態としている。最近のイラク戦争などからもこの作品と同様の状況や題材が見受けられるだろう。



請勿以任何形式轉載至貪婪大陸
嚴禁商業用途



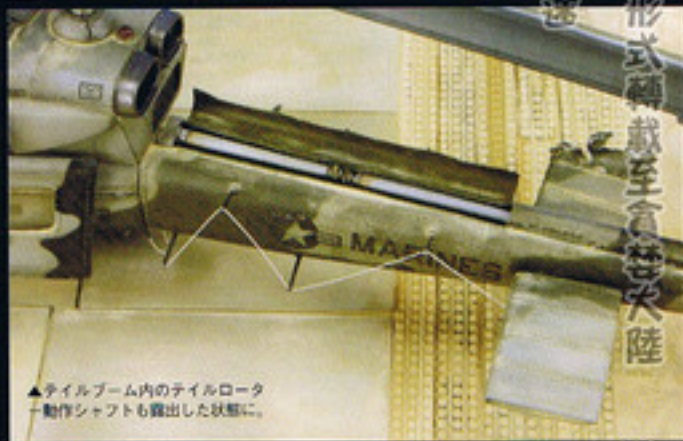
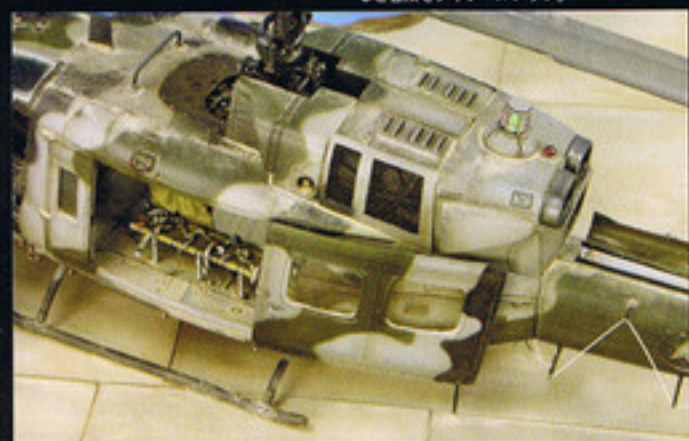
◀破損した部分は右側に集中しており、クラッシュの様子が想像できる。

▼左側は対照的に破損部分はほとんどなく、本来の姿を見せている。



請勿以任何形式轉載至商業大陸
嚴禁商業用途

▶側面のドアは開状態となっており、内部まで詳細に再現されている。
▼上部もメインローター基盤、エンジングリルなど各部をディテールアップ。



▲テイルブーム内のテイルローター駆動シャフトも露出した状態に。

■クラッシュ状態の工作



▲機首を少しづつ外れた状態にするため、塩ビ板でヒートプレス。
▼足掛けパネルをドリルで開けナイフで仕上げ。フレアラチャーも開く。



▲テイルブーム内部をリューターと先のナイフで深く削る。
▼先のナイフでパネルを削り、アルミ板の自作パネルにヘコミをつけて接着。



▲この内部にリブなどの構造をプラバンで追加していく。
▼胴体にヘコミをつける方法。リューターで削り耐水ペーパーで仕上げる。



■内部のディテールアップ



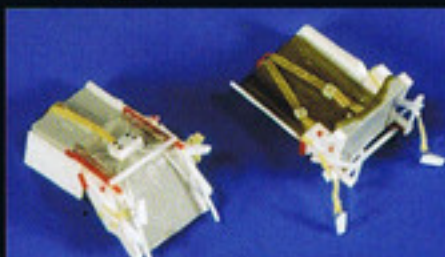
▲計器盤やコンソールをプラバン、伸ばしランナーなどでボリューム付け。
▼キットのシートをさまざまな厚みのプラバン、プラ棒でディテール追加。



▲床板には機材固定用のポイント穴を開け、床より少し低いプラ棒で建てる。
▼後部座席の布張りシートはマスキングテープで作成し両面接着剤で固定。



▲天井パーツは、特にコクピット部分をディテールアップしておく。
▼左側のドアは衝突によるヘコミを付ける。内側のディテールも作り込み。



■内部の塗装



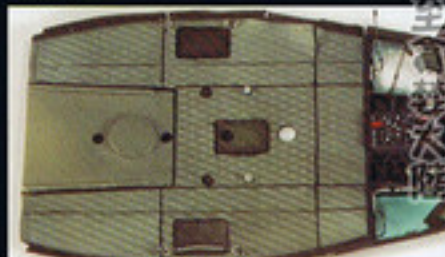
▲基本塗装はフルホ・モデルエアー。ドライブラシのあと平ツヤクリアーがけ。
▼ホワイトで塗装したところに赤や黄色などで色をつけていく。



▲緑色のコクピットのシミ入れには製図用インクとブラックを混ぜた色で。
▼最後の仕上げに油彩のブラック、ブラウン、オーケルでウェザリング。



▲黒以外の色を塗る箇所をホワイトで下塗り。はみ出しは黒でレタッチ。
▼ヒートプレスの天井窓をはめ込み、周辺のケーブル類を取り付ける。



請ふ以任何形式轉載至
嚴禁商業用途



▲後部座席は布部分をグリーンで塗装し顔面付け。ベルトはグレー。

▼前部キャノピーもヒートプレスで作成。右側は割れた状態に。



▲ドア内側も内部色。コクピット裏のみウェザリングを強めにする。

▼キットのメインローターは良い出来だが、さらにディテールアップ。



▲前後シートや後座席などをセットすれば、内部工作は完了だ。

▼複雑な構造のローターをさまざまな素材を使って再現した。



機体の工作

▲エンジンカウルは金属メッシュに置き換え。特にターブを使用。

▼テイルブームの破損部分はアルミ板でスクラッチした。



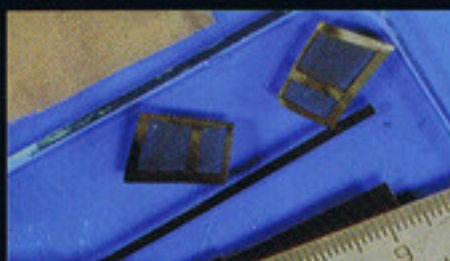
▲メッシュを通して見えるエンジン主要部を自作。

▼胴体下部には懸吊リング、ドレインパイプなどを追加。



▲各パーツを組み付け。上部のHJジャミングベース、下部の懸吊リングに注意。

▼塗装前に窓と内部をしっかりとマスキングしておく。



機体の塗装

▲金属色を塗装し表面状態のチェック。このまま塗装に行けそう。

▼塗料の色はブラックに054ダークグレーブルーを混ぜ明るく調色。



▲まず049ミディアムシーグレーで全面を塗装。

▼クリアがけした後、油彩による「フィルタリング」を行う。絵の具を少々乗せて筆でぼかす。



▲013イエローオリーブで塗彩。マスクの境界は練り消ムを使用。

▼油彩の色は下地の塗料色によりブラウン、オークラックを使い分け。



請み任何形式
商業用途

至言大



▲クリアーがけの後、他キットから持ってきた海兵隊マーキングを貼る。
▼パネルラインのスミ入れ。ただし明色部分はシャープペンシルで行う。



▲テイルブームのリベット再現。穴開きプラバンを当ててエアブラシ。
▼バステル粉を擦り付けて塗装汚れや土まじりを表現。



▲作業しづらい部分はシャープペンシルでリベットを描き込む。
▼経年による塗料の剥がれをナイフの先に付けた金属色を塗って再現。



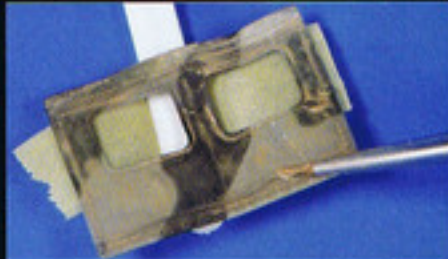
▼ブレードの1本は欠けた状態に。フィレット部分は塗装を変えている。



▼MGプロダクションのピグメントを混ぜてネコリ色を作成。



▼ピグメントは水で溶いてウェッシングするのが私のスタイルだ。



▶テイルブームのリベットは塗装で表現。ちぎれた安定板が凄々しい。
▼工作精度の高さに加え、塗装とウェザリングにより堅固力が増している。



請勿以任何形式轉載至商業大陸
嚴禁商業用途

■ 欧州各国からモデラーが参加 チェコでもっとも有名な模型イベント

E-DAY 2006

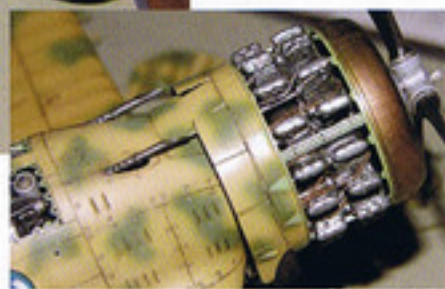
■ 2006年9月16～17日開催 チェコ共和国/プラハ
 ■ リポート・写真: プルヰェミスラウ・スクルスキ
 ■ Photos & Text by Przemysław Skulski

昨年9月16/17日の両日、チェコ共和国の首都プラハにおいて「E-Day 2006」が開催された。この模型コンペティションはチェコの有名メーカー、エデュアルドが主催している。「E-Day」ではジャンル、スケール、製作方法など50部門に分かれており、地元チェコをはじめ、スロバキア、ポーランド、フランス、ハンガリー、ドイツ、ノルウェー、イギリス、アメリカの各国からモデラーが参加した。



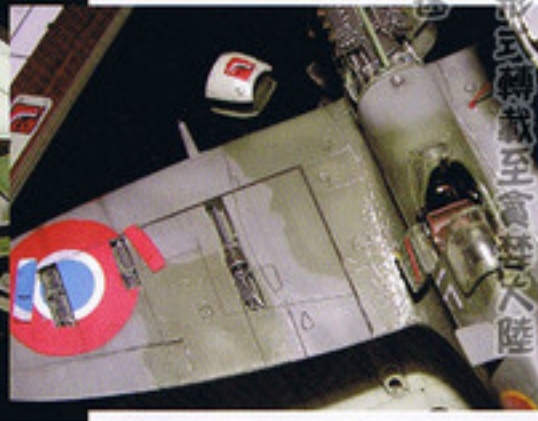
■ マック C.200 サエッタ
 1/32
 Zdenek Sebesta氏製作

東欧の有名モデラー、Z.Sebesta氏ならではの素晴らしい作品。エンジン、コクピットの丁寧な工作と仕上がりに、もう何も言うことはありません。



■ スーパーマリン・シーファイア III
 1/72
 Francois-Regis Binder氏製作

フランス人モデラーらしくフランス海軍塗装が仕上げられている。エンジン、コクピット、翼内機銃など1/72とは思えないほど、細かく作り込まれている。複雑な主翼の作り込みも素晴らしい。

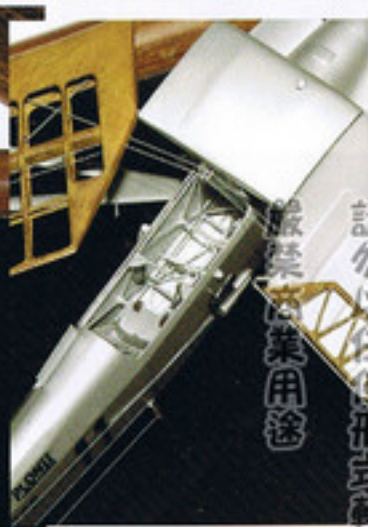


■ ロッキードF-104J スターファイター 1/48
Jiri Broz氏製作

コクピットや機首周辺のアクセスポネルを開けて内部を徹底工作した力作。この作品は148飛行機マスター部門の最優秀作品に選ばれている。



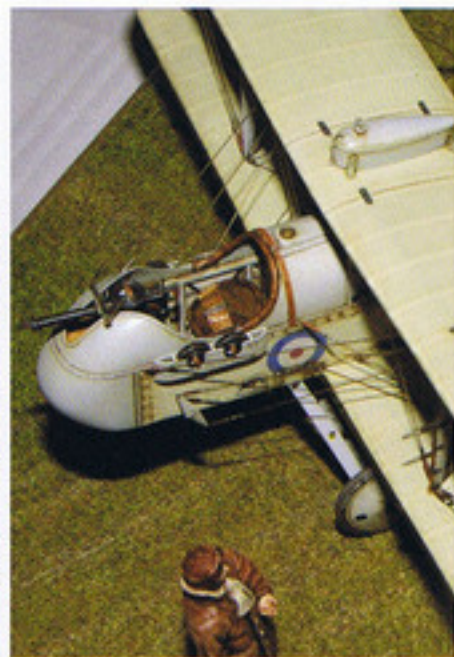
RWD - 8 pws
34-368, 2 Pułk Lotniczy w Krakowie
08-09.1939r.



■ RWD-8練習機
スクラッチビルド1/48
Jerzy Prochoruk氏製作

大戦直前に造られたポーランドの練習機。機体各部、コクピットの内部の仕上がりはもちろん、主翼骨組みの再現は見事としか言いようがない。

請勿以任何形式轉載至貴陸
嚴禁商業用途



■エアコDH-2 1/48
Miroslav Vanous氏製作

コックピット内部や機体各部をディテールアップ。全体の塗装&マーキングのみならず、細部の塗装も丁寧にリアルに仕上がっている。



■HH-46D 1/48 Jaromir Senft氏製作

1/48ヘリコプター部門の準優勝作品。固定翼機とは異なっどヘリ特有の色調を上手く再現している。もちろん、各部のディテールアップも抜かりない。

請勿以任何形式
嚴禁商業用途
轉大



■エレファント駆逐戦車 1/72
Jaroslav Vanik氏製作

1/72スケールでありながら、ハッチ開状態とし、インテリアを再現した力作。

■マウス超重戦車 1/72
Ladislav Lacina氏製作

こちらのビネットのマウスも内部を再現した力作。模型では、1/72飛行機キットのみならず、1/72 AFVでも内部再現は当たり前になっている。



■M4A1シャーマン 1/35 Michal Pelikan氏製作

1/35 AFVマスター部門の最優秀作品に選ばれたM4。これまた砲塔内、操縦室、エンジンルームにいたるまで細かく内部を再現。



請勿以任
何形式轉
載至商業
用途

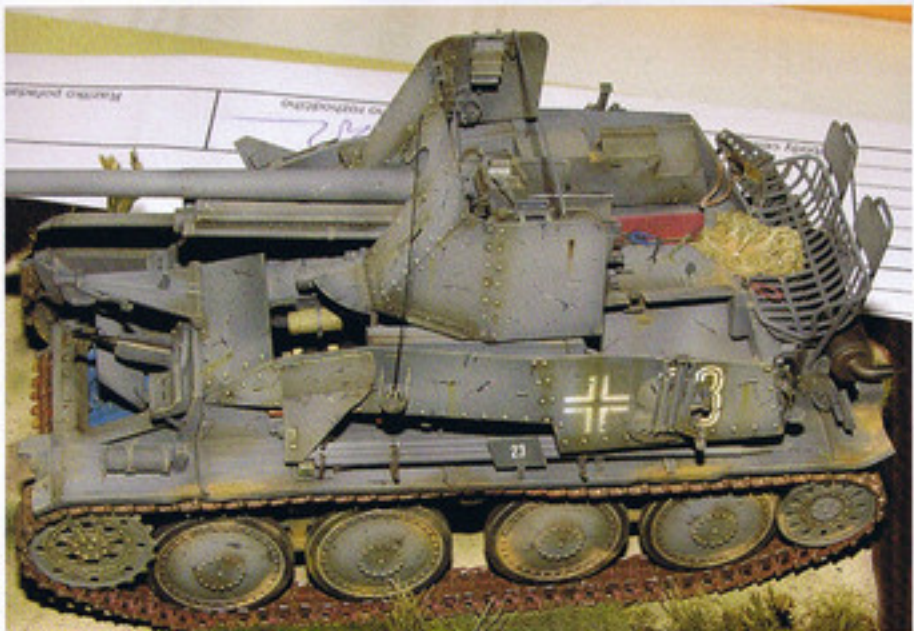


■ マーダーIII 1/35
Petr Vorobok氏製作

1/35 AFV/マスター部門のもう一つの優秀作品。タミヤのマーダーIIIをディテールアップ。何気なく作り込まれたトランスミッションの注目。汚し控えめで塗装も丁寧に仕上げられている。

■ ソ連装甲トラック「プロントザウルス」 1/35 Jan Patera氏製作

「プロントザウルス」という名が付いたソ連の装甲トラック。当然1/35キットはないのでスクラッチビルドによる力作だ。こんな車両があるということを知っている方は超ソ連AFVマニアに違いない。ぜひキット化してほしいものだ。



■ ダッジWC56 1/35 Pavel Svejda氏製作

放浪したWC56の様子を再現したビネット。ベースサイズはコンパクトにまとめられているが、車両のディテールアップや小物にまで凝った作品である。



請勿以任何形式轉載至商業用途

■ Zil-157 1/35 Tomas Svoboda氏製作

ソ連の代表的な軍用トラックZil-157をチェコ陸軍仕様で再現。全体の仕上がり良好、さらにエンジンルーム内部も再現。



■ ジオラマ "Souvenir from Russia 1941" 1/48 Milan Zatkovic氏製作

"1941年 ロシアからの贈り物"と題されたジオラマ。地面に配置された153や156の個々の仕上がり、再現が通っていて面白い。どれも丁寧に作り込まれている。



■ ジオラマ "Russian Victory" 1/35 Martin Schuster氏製作

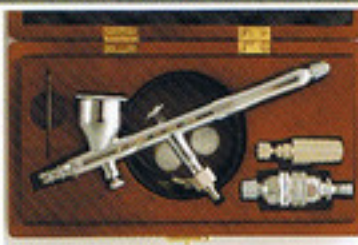
BT-7戦車と随伴ソ連兵に投降するドイツ兵を再現。雪の質感がよく再現されている。



請勿以任何形式轉載至商業大陸
嚴禁商業用途



プロコンBOYシリーズ中の最高級仕様型プラチナver.2を木製ケースに収納してお届けします。エアブラシ本体に加え、ドレン&ダストキャッチャー、エアホースも付属した、豪華な内容となっています。ケースには、椅子などの家具に用いられる「ビーチ材」を使用。高級感あふれる仕上がりとなっています。



PS-289W

プロコンBOY WA 0.3mm
プラチナver.2 木製収納ケース入り
¥17,000/17,850(税込)

【セット内容】 ■プロコンBOY WA 0.3mmプラチナver.2
■ドレン&ダストキャッチャー ■エアホース
■エア圧調整ネジ・パッドセット



DISPLAY BASE

無味乾燥なプラスチックと違い、重量感と共に柔らかい印象を与える木製ベース。ぜひあなたの大切なコレクションを飾ってください。丸型はフィギュアなどに、角型は戦車などのスケールモデルに最適です。天然バイン材使用、裏面フェルト張り加工済み。



DB103 木製ディスプレイベース丸型
¥500/525(税込)



DB104 木製ディスプレイベース角型 ¥900/945(税込)

本体寸法：長さ292mm×幅168mm×高さ20mm/天面寸法：長さ250mm×幅148mm/重量560g

本体寸法：直径140mm×高さ15mm/天面寸法：直径117mm/重量110g

商用用途
以任何形式轉載至貪婪大陸

最新情報はこちらで

<http://www.mr-hobby.com/>

1:35 新部品追加



車体上面新規。サイドアーマープレート新規。アルミ製砲身。マントレット新規。エッチングパーツ。マジックトラック。メタル製牽引ケーブル。ドライバーズハッチ新規。エンジンデッキカバー新規。カルトグラフィックデカール。その他。

6359 SU-100 駆逐戦車 (プレミアムエディション) ¥4,253 (本体価格 ¥4,000)

H.M.S. Liverpool Type42 Destroyer Batch 2

1:700



ウォーターライン1フルハル選択式。エッチングパーツ。カルトグラフィックデカール。他多数。

7069 イギリス海軍 タイプ42駆逐艦 H.M.S.リヴァプール (プレミアムエディション) ¥2,783 (本体価格 ¥2,550)



HVSSシステム新規。車体下面新規。T66 HVSSキャタピラ新規。スプロケットホイール新規。30-cal MG新規。カルトグラフィックデカール。他多数。

7302 M4A3E8 (76) W シャーマン ¥1,575 (本体価格 ¥1,500)



ANA2R-1ARS観測システムボット新規。主翼。飛行状態/収納状態選択式。AIM120付属。カルトグラフィックデカール。

4597 F/A-18F スーパーホーネット エアタンカーセット (2機セット) ¥1,365 (本体価格 ¥1,300)



60285 Sd.Kfz. 251/2 Ausf.C 8cm自走迫撃砲 (リベットタイプ) ¥2,415 (本体価格 ¥2,300)

● 価格は、標準小売価格です。
 ● ドラゴンの製品は、輸入品のため発売時期が変更となる場合がございます。



60288 Sd.Kfz. 165 フンメル初期型 第19装甲師団 第19装甲砲兵連隊 東部戦線 1944 ¥2,415 (本体価格 ¥2,300)

(輸入販売元) 株式会社 ハセガワ 〒425-8711 静岡県 焼津市 八幡 3-1-2 TEL (054) 628-8241 FAX (054) 627-8046